



京都市図書館に関するアンケート調査 《調査結果報告書》

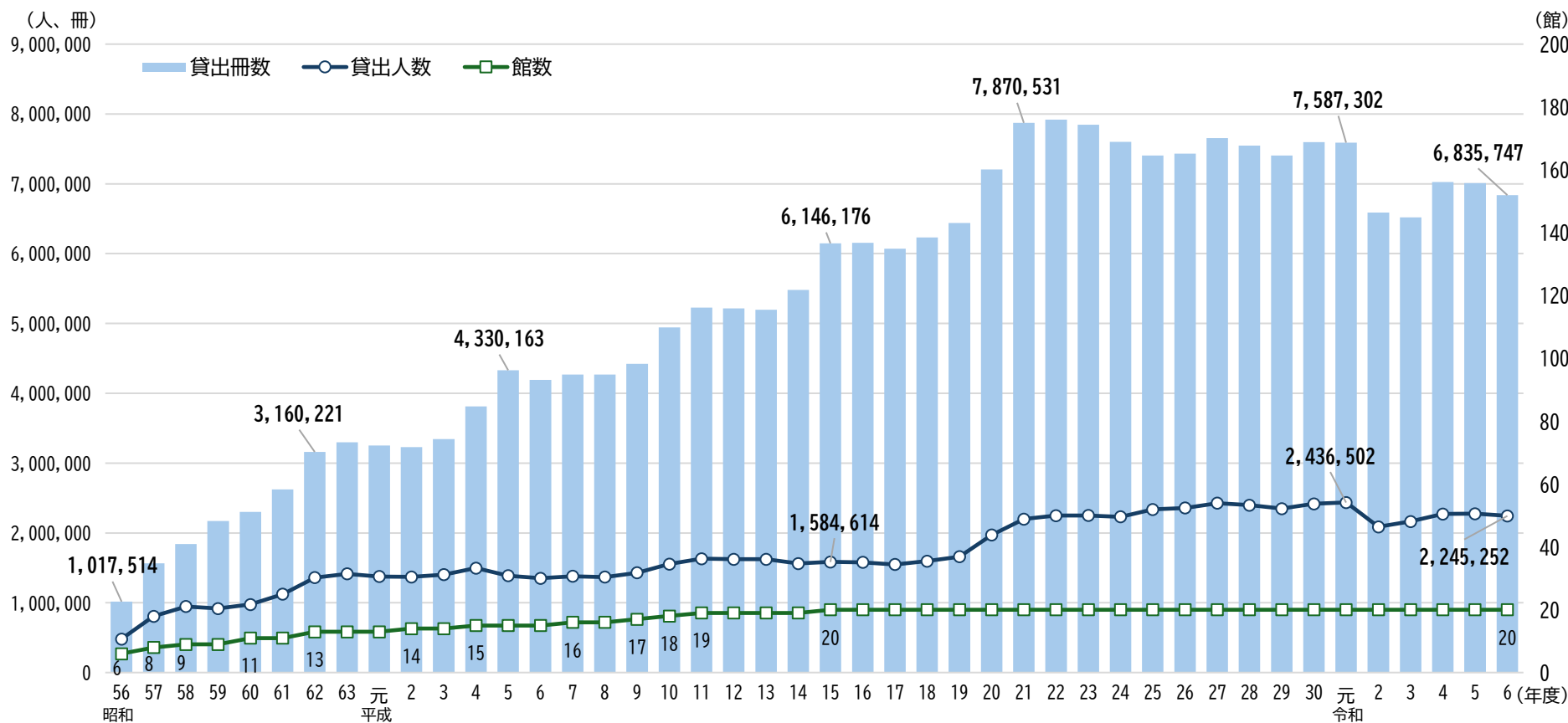
令和8年3月 京都市



(1) 京都市図書館の概況

京都市図書館は、平成15(2003)年度から市内に20館を整備しており、昭和56(1981)年以降は、開設館数の増加に伴い、貸出冊数や貸出人数は増加傾向となっています。

平成21(2009)年度以降は、貸出人数が200万人を超え、貸出冊数も750～800万冊程度で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2(2020)年に減少しています。以降は増加傾向となっていたものの、令和4(2022)年度以降は減少傾向となっており、令和6(2024)年度は貸出人数が約225万人、貸出冊数は約685万冊となっており、コロナ禍前の状況までには戻っていない状況です。

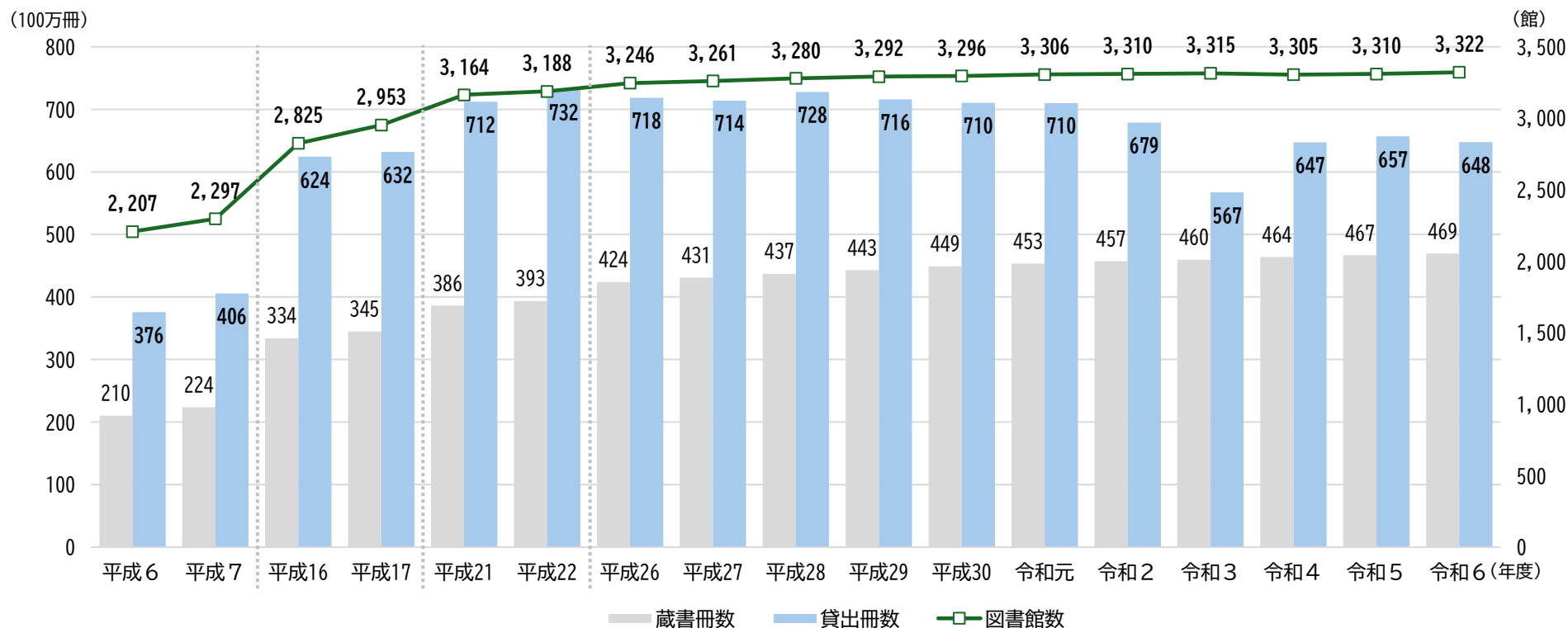


※貸出冊数は、個人貸出・団体貸出を合計した冊数。
【資料】京都市図書館統計概要

(2) 公共図書館の状況

図書館統計をみると、私立図書館を含む公共図書館は、年々増加しており、令和6(2024)年度には、3,322館となっています。

蔵書冊数は、図書館数の増加に伴い増加傾向となっているのに対し、貸出冊数は新型コロナウイルス感染症が拡大した令和3(2021)年度に減少し、それ以降は約6.5億冊前後で推移しています。



※貸出冊数は、個人貸出・団体貸出を合計した冊数。
【資料】日本の図書館統計(日本図書館協会)

(3) 次世代型図書館の登場

近年では、人口減少、利用者減少、公共施設の再編といった複合的な社会構造の変化を背景に、図書館は、従来の「本を読む場所」から「多機能スペース」へと変化してきています。

令和2(2020)年3月には、「図書館実践事例集～地域の要望や社会の要請に応えるために～」が文部科学省より発行されました。そこには、「これからの図書館には、知識基盤社会における知識・情報の拠点として資料の充実を図るとともに、利用者及び住民の要望や社会の要請に応えるための図書館サービスの充実を図ることが望まれています」とも示されています。

また、令和4(2022)年1月策定の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」や、令和5(2023)年3月策定の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」においては、日本語指導が必要な児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒、相対的貧困状態にある子どもといった多様な子どもたちへの対応や、一時的に学級になじめない子どもの「居場所」としての学校図書館の役割も重視されています。

このような状況を受け、公立図書館は、地域活性化の観点から、地域における情報拠点・文化拠点としての役割を果たすことなどが期待されています。

図書館は、「本を読む場所」から「共に考え、共に過ごす場所」へ、単なる本の集積体ではなく、住民の日常生活と学びを豊かなものとするための場として、知的出会いと社会的交流を促し、コミュニティの文化、歴史、つながりを保持するリアルな場としての図書館の価値が再認識されはじめています。

II アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的

現在、市内に20館と移動図書館1台を整備し、地域に密着した図書館サービスを展開している一方で、図書館施設の老朽化が進み、全国ではカフェや市民交流スペースが併設された図書館や先端技術を駆使した図書館が整備されるなど、図書館サービスの新たな形が求められつつあり、多様な市民の居場所となる公共空間としての図書館のあり方が問われています。

このため、「これからの図書館のあり方」や「図書館のさらなる可能性」を検討していくための資料として、図書館を利用していない方も含めた幅広い市民からの多様な意見・要望を把握するため実施しました。

(2) 調査概要

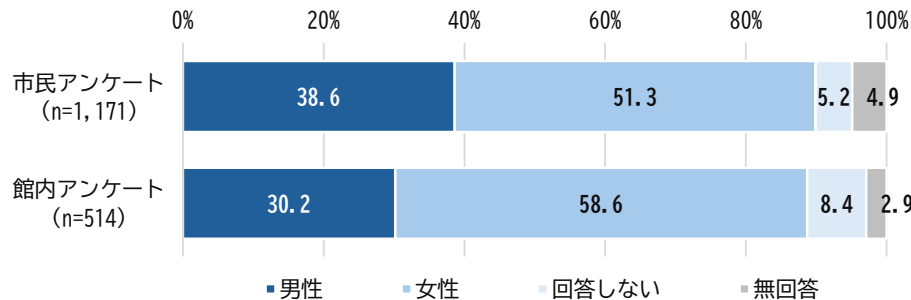
	市民アンケート調査	館内アンケート調査
調査対象	①市内在住の満18歳以上の男女から無作為抽出 ②市内施設での調査協力依頼チラシの配布	京都市図書館（20館＋移動図書館）利用者
調査方法	①郵送配付－郵送・WEB回答 （調査期間中、お礼状兼督促状を1回発送） ②チラシ配布－WEB回答	チラシ配布－WEB回答（一部、紙調査票での回答）
調査期間	令和7（2025）年7月31日～令和7（2025）年9月5日	
有効回収	1,171 サンプル	514 サンプル

(3) グラフ等の見方

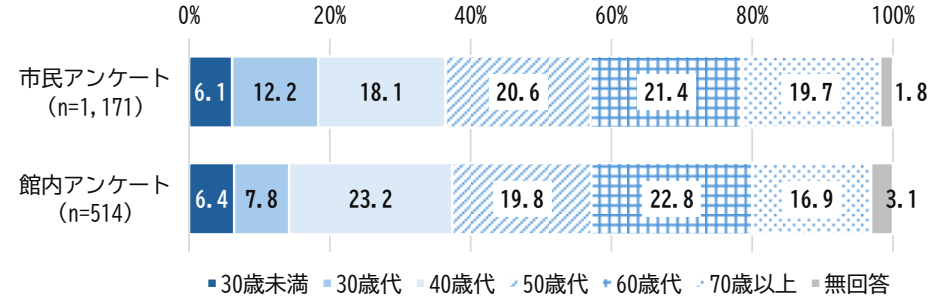
- ・ 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入しました。
（比率の合計が100.0%にならない場合があります。）
- ・ 図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

(4) 回答者の属性

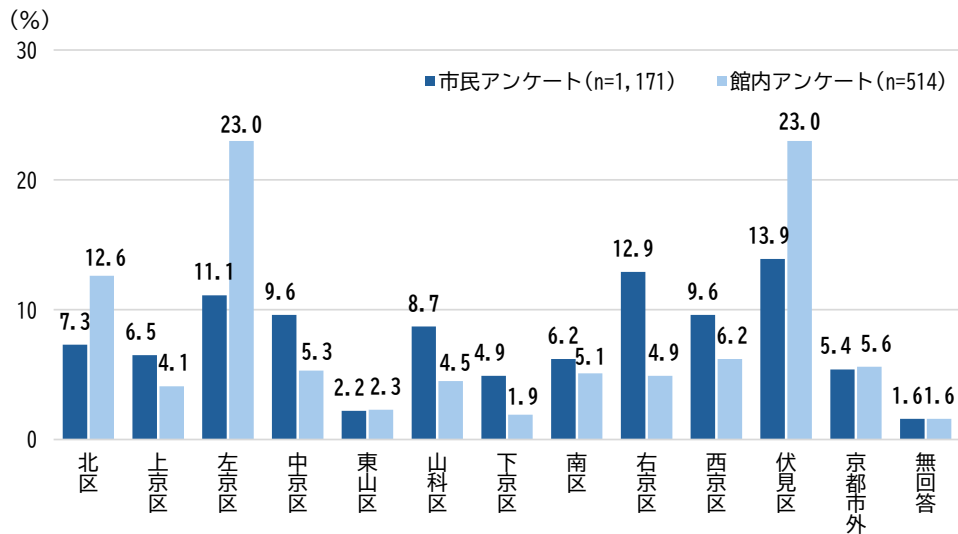
① 性別



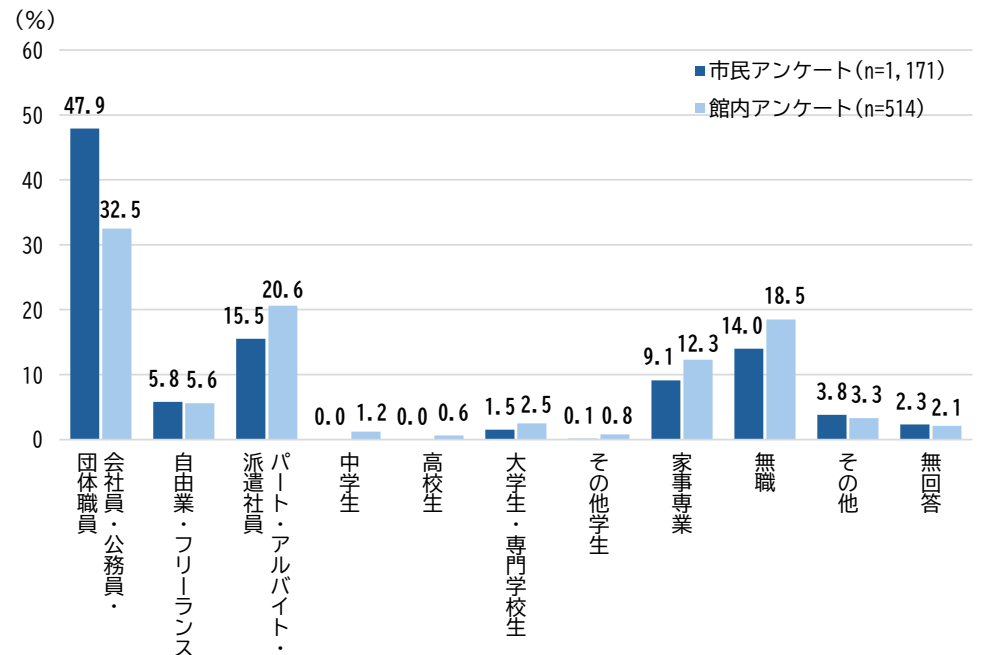
② 年齢



③ 居住地



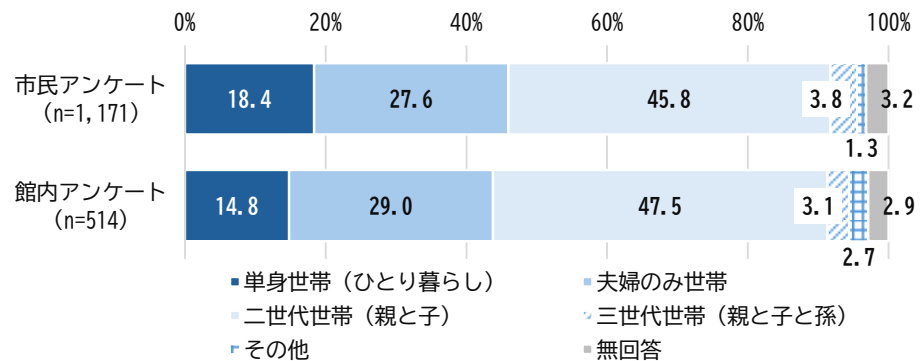
④ 職業



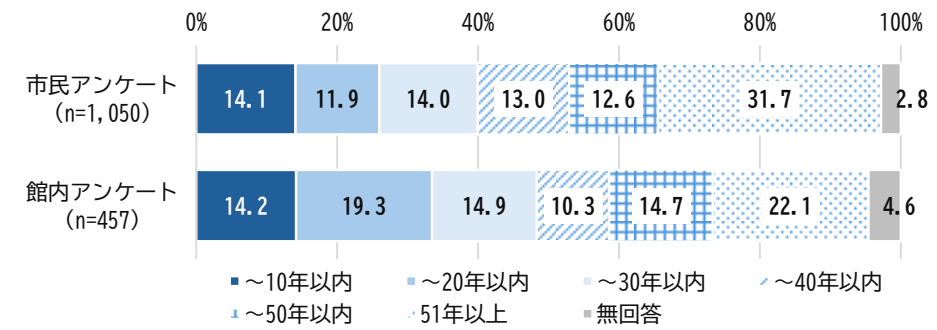
II アンケート調査の実施概要

(4) 回答者の属性

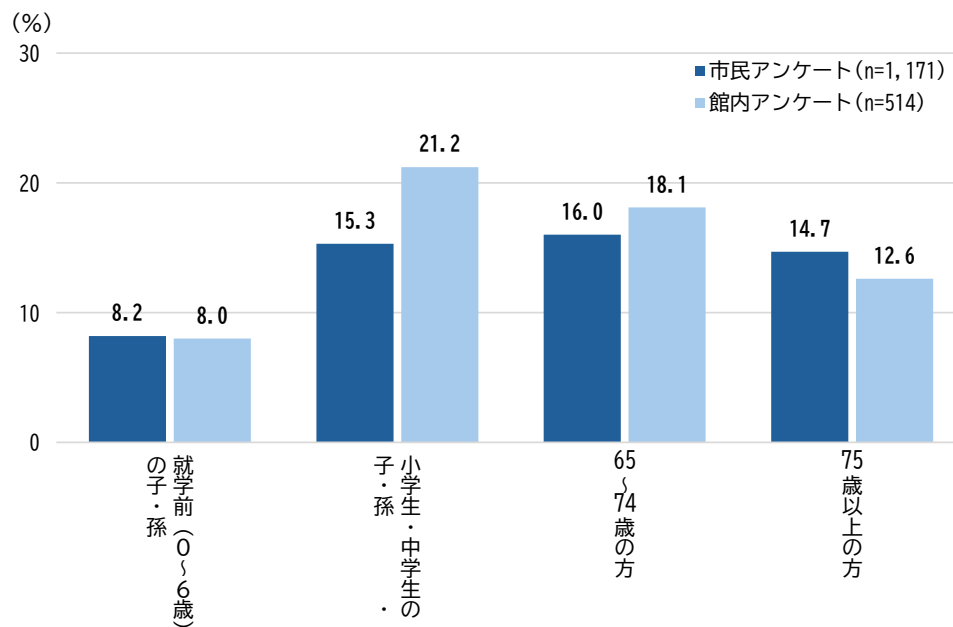
⑤ 世帯構成



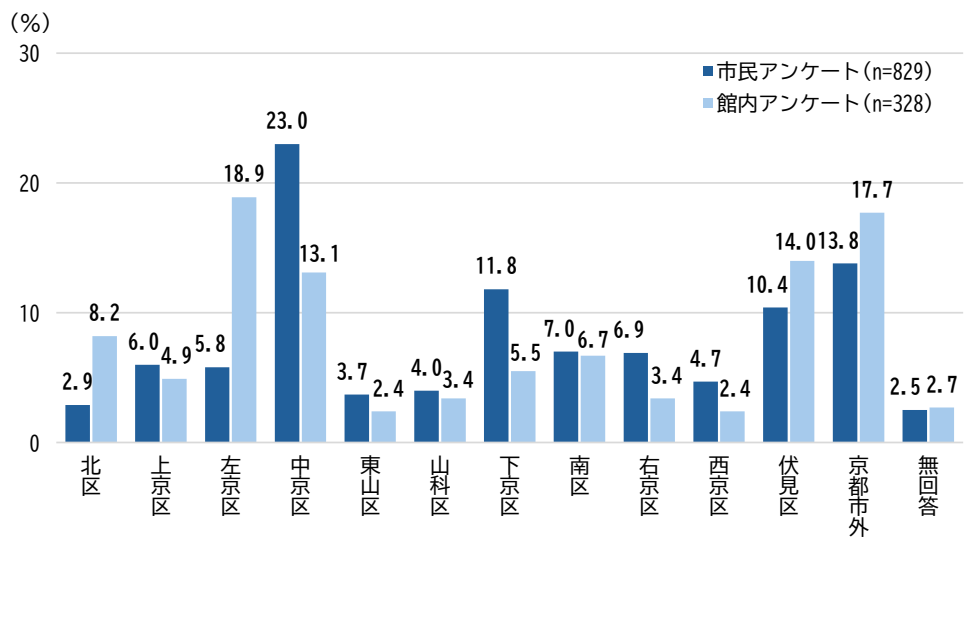
⑥ 居住年数 ※京都市内居住者のみ



⑦ 同居家族の中にいる人 ※該当者のみ

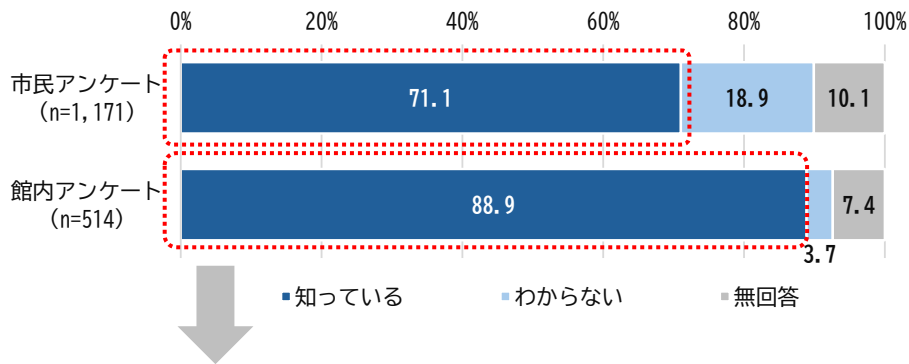


⑧ 勤務地・通学地 ※④で就労・就学していると回答した人のみ



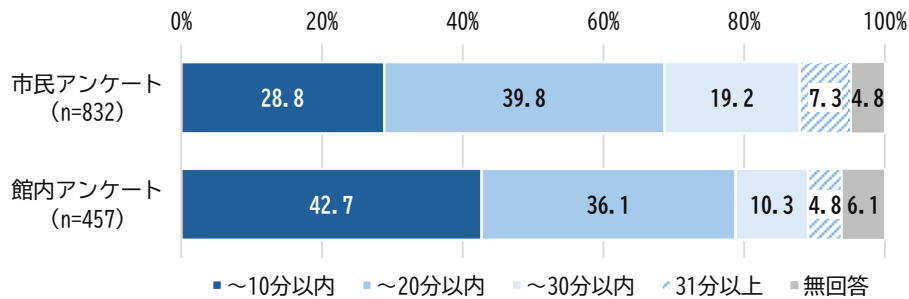
(4) 回答者の属性

⑨ 自宅や勤務地・通学地から最も近い京都市図書館の認知

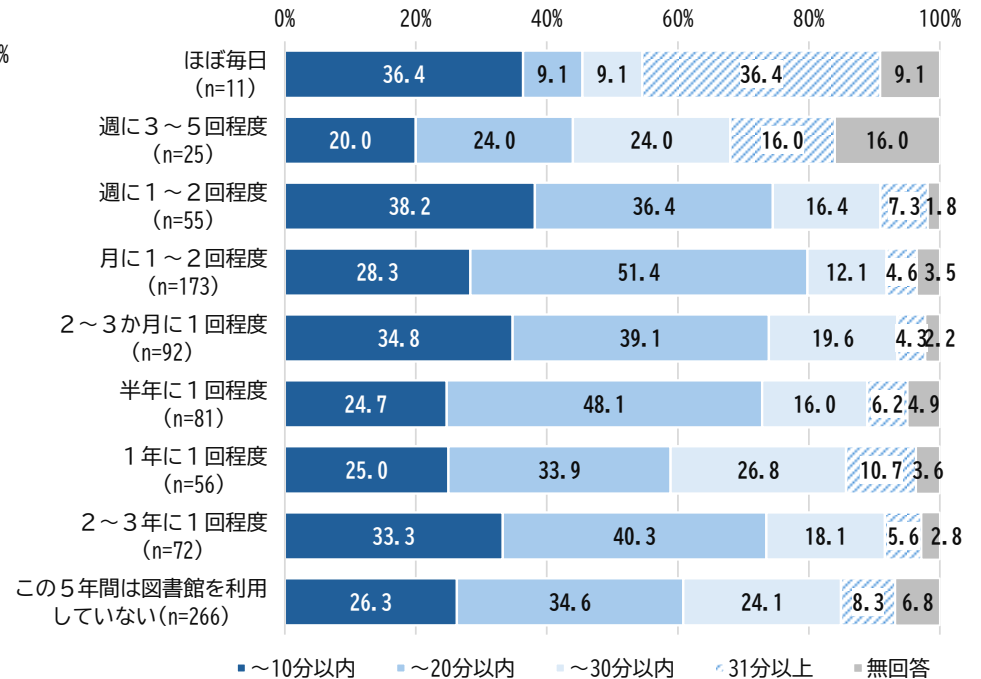


- 自宅や勤務地・通学地から最も近い京都市図書館を知っている人は、市民アンケートでは約7割、館内アンケートでは約9割となっています。
- 最も近い図書館までの所要時間は、市民アンケートでは10分以上20分以内が約4割、館内アンケートでは10分以内が4割を占めています。概ね、20分圏内の図書館が認知されています。利用頻度別にみると、市民アンケートでは「20分以内」（～10分以内と～20分以内の合計）は週に1～2回程度から半年に1回程度で6割を超えています。

《最も近い京都市図書館までの所要時間》



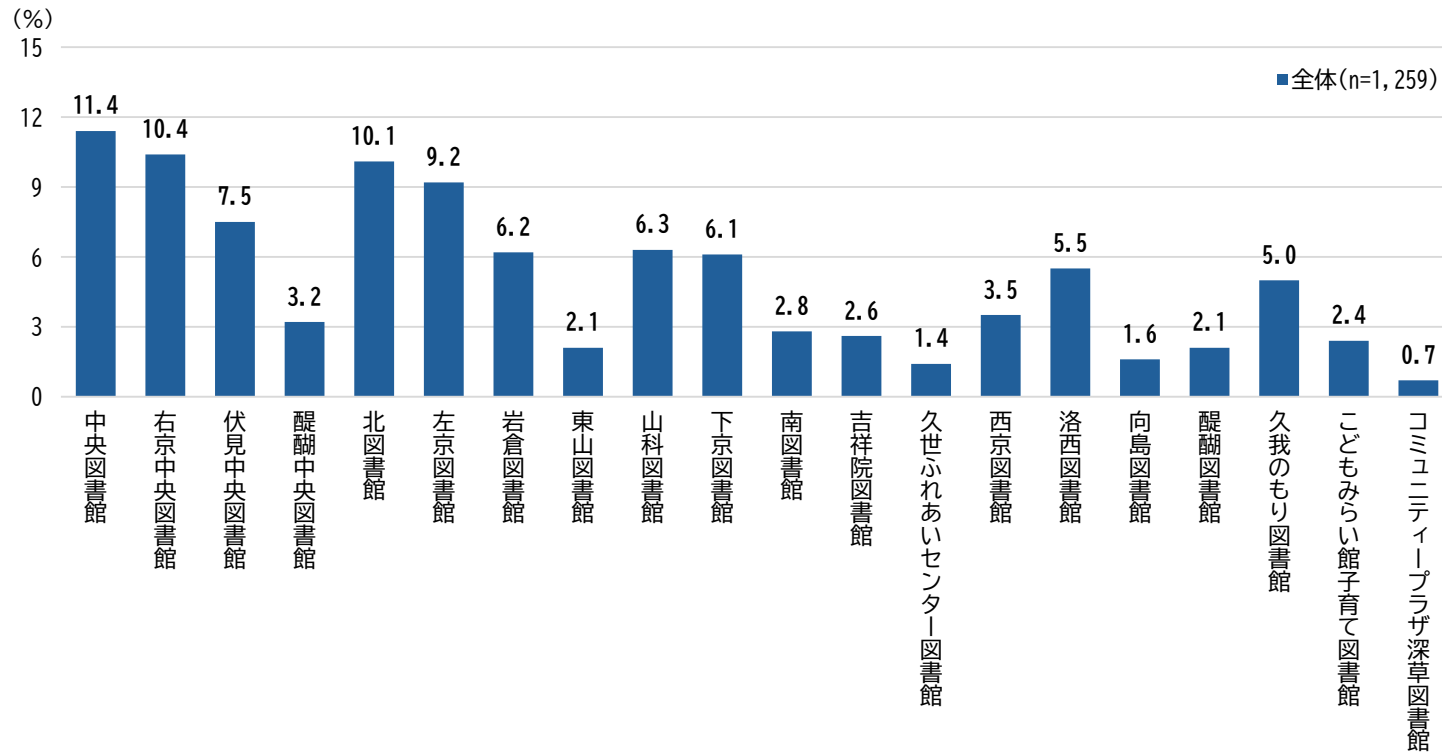
《利用頻度別クロス集計》※ 市民アンケート



(4) 回答者の属性

⑨ 自宅や勤務地・通学地から最も近い京都市図書館の認知

《最も近い京都市図書館（回答者のみで集計）》

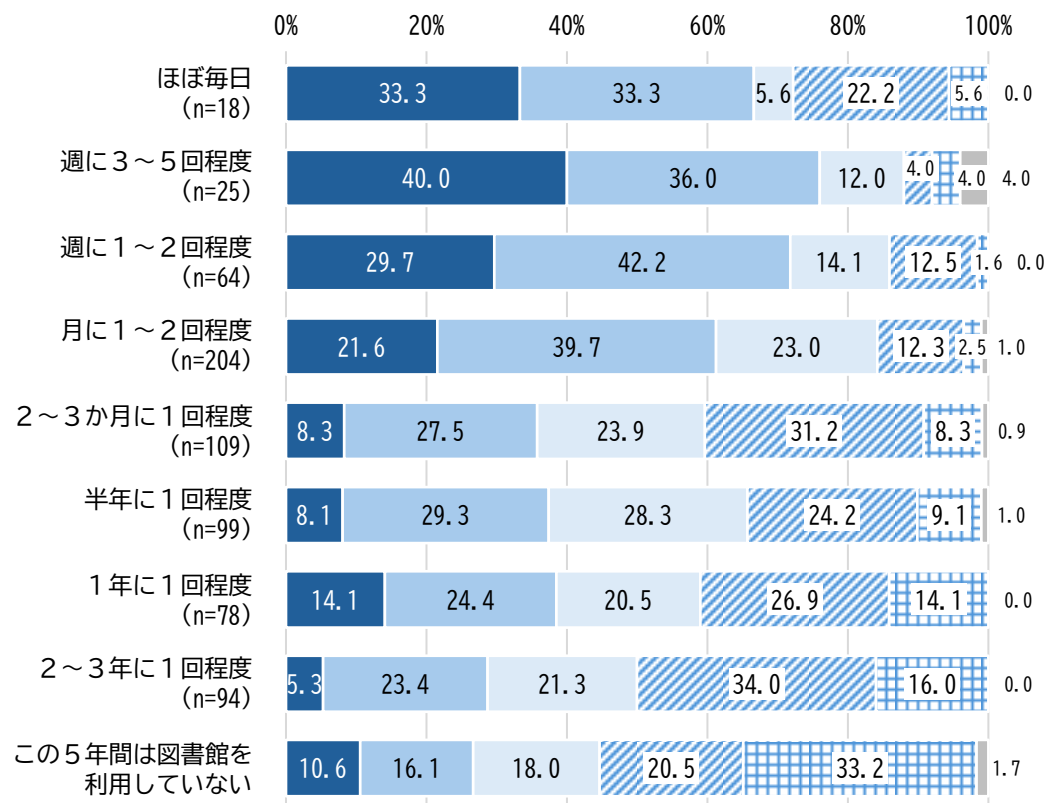
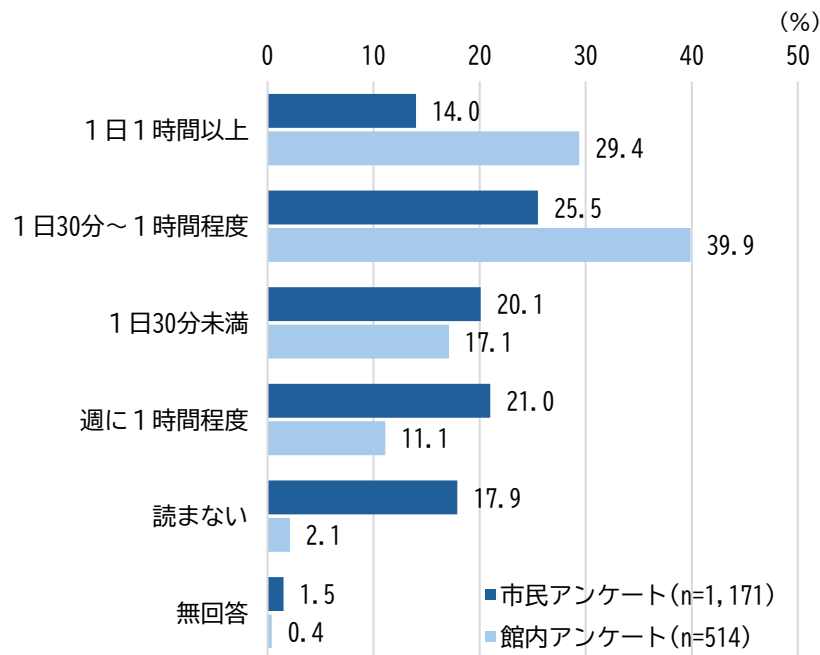


➤ 最も近い京都市図書館は、中央図書館、右京中央図書館、北図書館、左京図書館の回答が多くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 1. 普段の暮らしや生活について

問1 普段の読書時間について

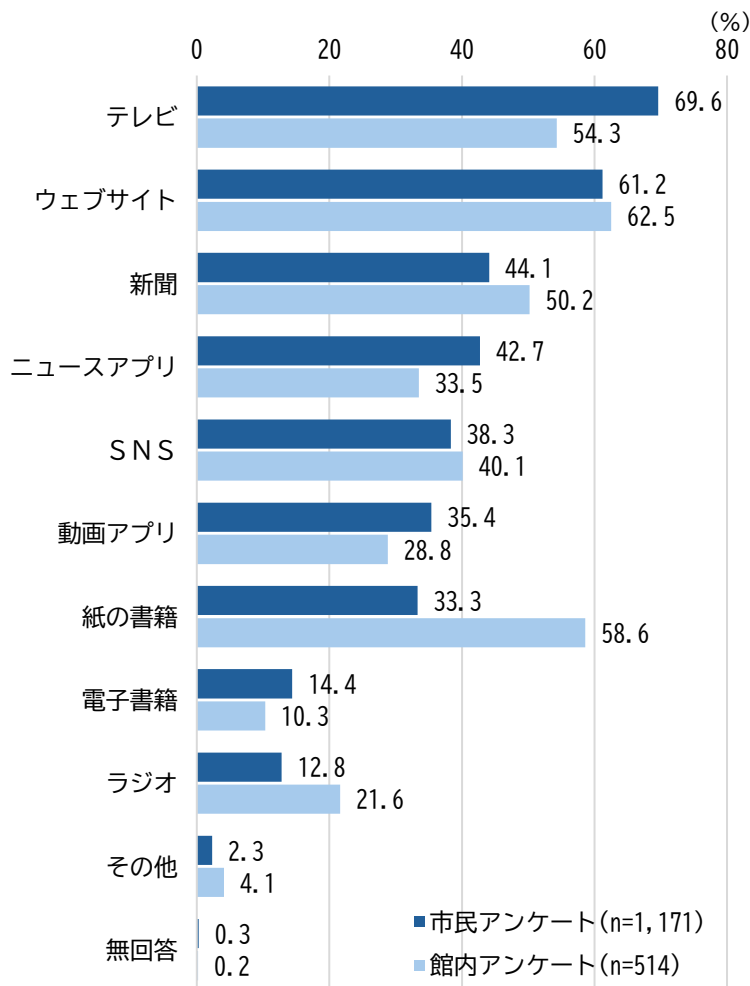
《利用頻度別クロス集計》 ※市民アンケート



■ 1日1時間以上 ■ 1日30分～1時間程度 ■ 1日30分未満 ■ 週に1時間程度 ■ 読まない ■ 無回答

- 普段の読書時間については、1日に読書時間がある人（「1日1時間以上」＋「1日30分～1時間程度」＋「1日30分未満」）が、市民アンケートでは約6割（59.6%）となっているのに対し、館内アンケートでは8割以上（86.4%）となっています。
- 市民では「読まない」が2割近く（17.9%）を占めています。
- 利用頻度別でみると、「読まない」は利用頻度が少ないほど割合が高くなる傾向がみられます。

問2 情報の入手手段（複数回答可）



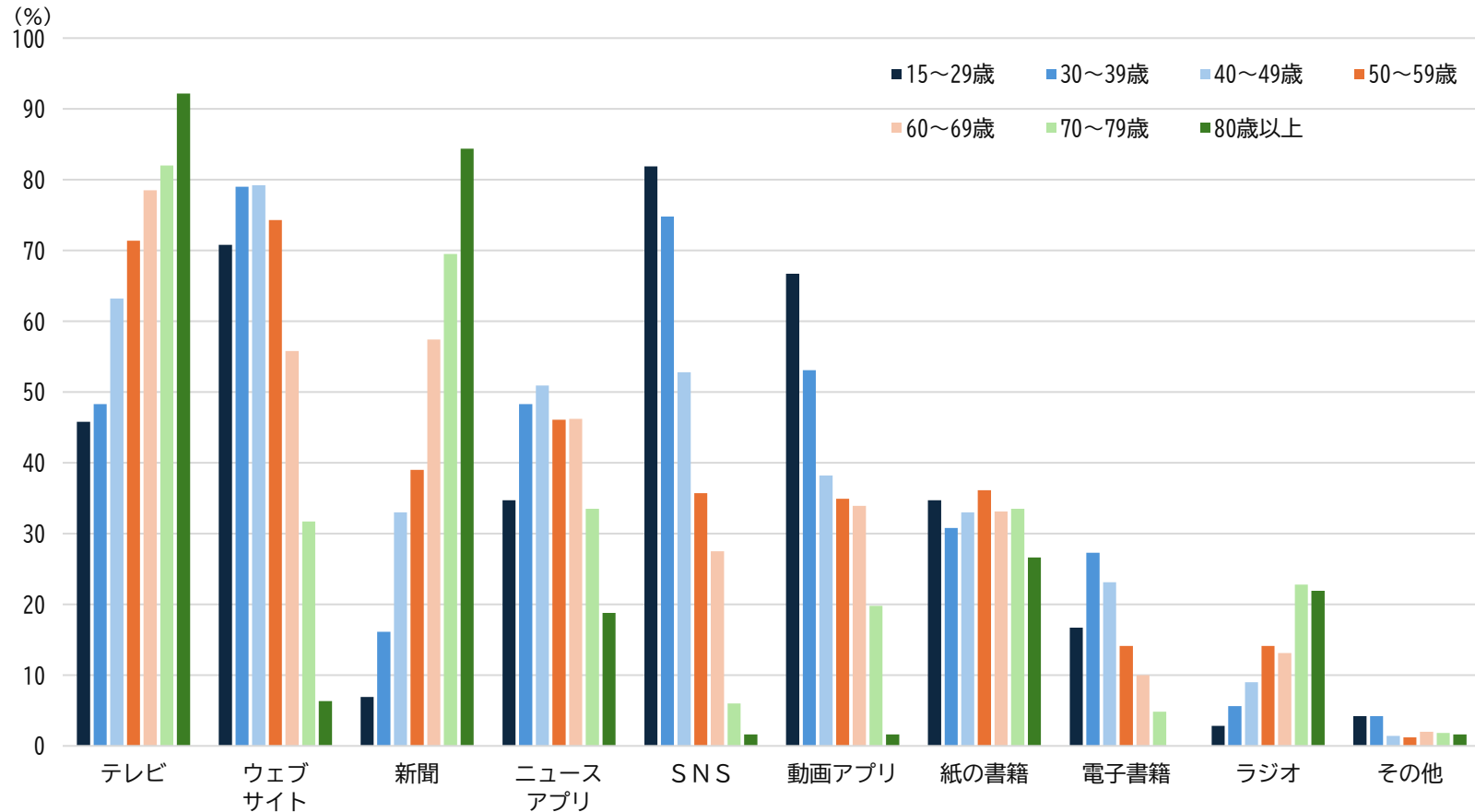
《利用頻度別クロス集計》※市民アンケート

	n	テレビ	ウェブサイト	新聞	紙の書籍	ニュースアプリ	SNS	動画アプリ	ラジオ	電子書籍	その他
ほぼ毎日	18	61.1	72.2	38.9	50.0	50.0	33.3	66.7	16.7	5.6	5.6
週に3～5回程度	25	64.0	92.0	44.0	24.0	44.0	48.0	56.0	12.0	16.0	4.0
週に1～2回程度	64	59.4	71.9	50.0	34.4	37.5	34.4	53.1	9.4	17.2	1.6
月に1～2回程度	204	57.4	70.1	43.6	42.2	43.6	34.3	50.0	16.2	15.7	2.5
2～3か月に1回程度	109	64.2	66.1	47.7	43.1	46.8	38.5	33.9	18.3	14.7	1.8
半年に1回程度	99	76.8	65.7	49.5	41.4	42.4	29.3	30.3	12.1	7.1	2.0
1年に1回程度	78	69.2	62.8	39.7	37.2	41.0	38.5	33.3	14.1	14.1	3.8
2～3年に1回程度	94	75.5	67.0	39.4	55.3	51.1	44.7	29.8	14.9	12.8	4.3
この5年間は図書館を利用していない	473	76.1	51.2	43.8	43.8	30.0	34.0	22.4	14.2	11.8	1.7

- 情報の入手手段では、市民アンケートでは「テレビ」「ウェブサイト」「新聞」の順となっています。
- 「紙の書籍」は市民では3割程度と低く、館内アンケートとの差が大きくなっています。
- 市民アンケート調査の結果を利用頻度別でみると、図書館の利用頻度が多い人では「ウェブサイト」が最も多くなっていますが、利用が半年に1回以下の人では「テレビ」が最も多くなっています。

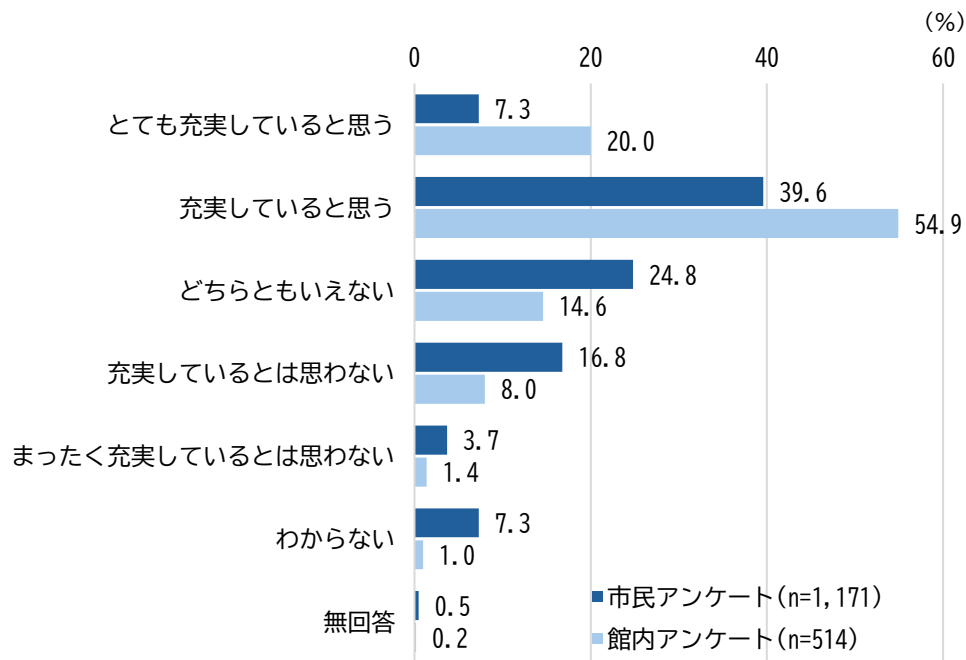
問2 情報の入手手段（複数回答可） ※市民アンケート

《年代別クロス集計》

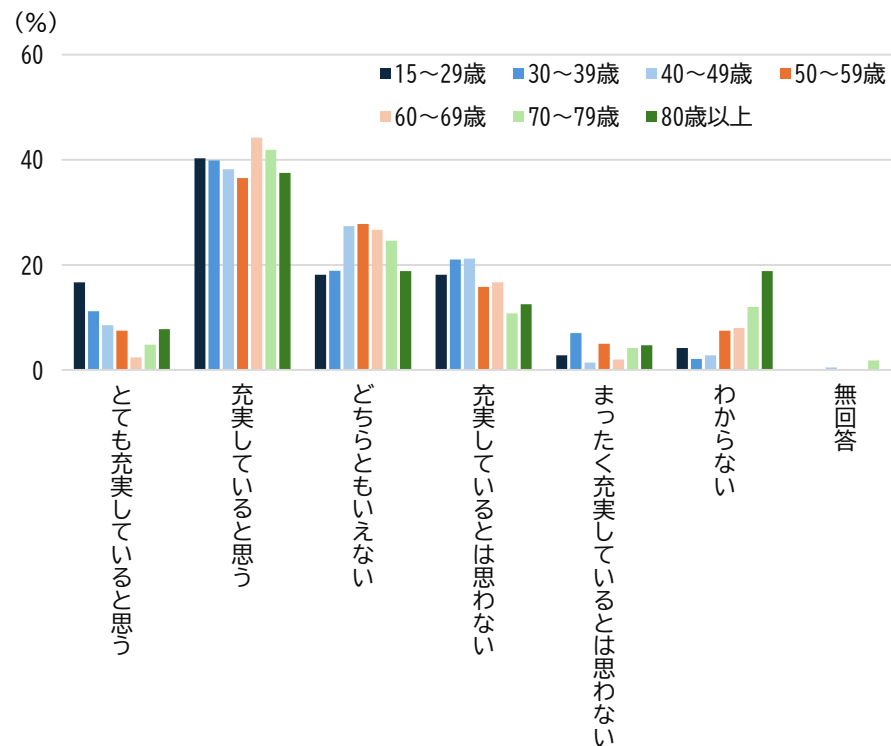


- 市民アンケート調査の結果を年代別にみると、年代が高くなるほど「テレビ」や「新聞」が高くなり、年代が低くなるほど「SNS」や「動画アプリ」が高くなる傾向がみられます。
- 「紙の書籍」では、年代別での大きな差はみられず、すべての年代で概ね3割程度となっています。

問3 読書環境の充足感

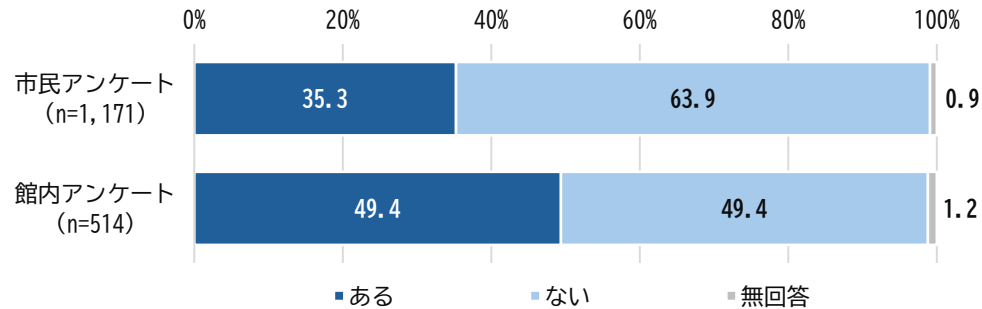


《年代別クロス集計》※市民アンケート

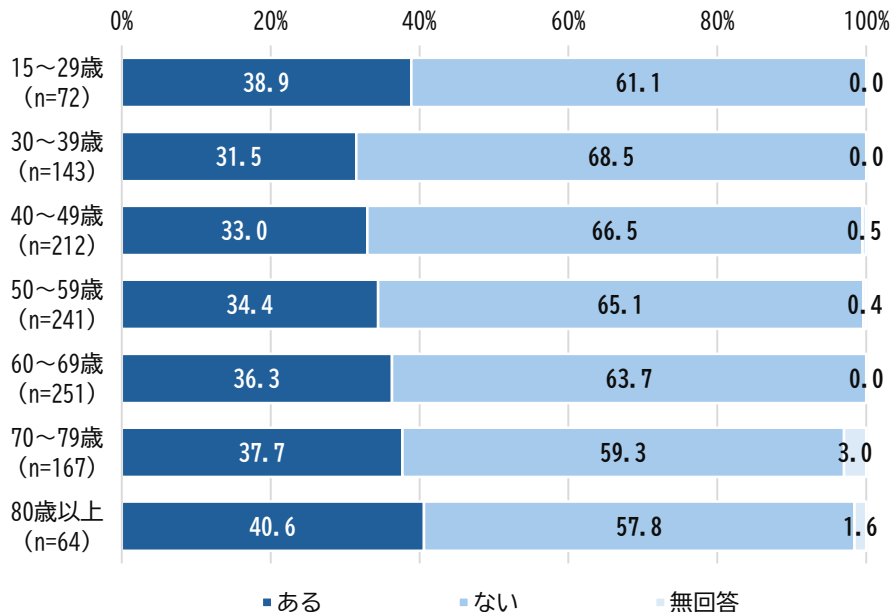


- 読書環境の充足感では、市民アンケートでは『充実していると思う』（「とても充実していると思う」＋「充実していると思う」）が半数未満となっているのに対し、館内アンケートでは7割以上となっています。
- 一方で、『充実しているとは思わない』（「充実しているとは思わない」＋「まったく充実しているとは思わない」）が市民アンケートでは約2割（20.5%）とやや高くなっています。
- 市民アンケート調査の結果を年代別で見ると、『充実していると思う』は15～29歳が57.0%で最も高く、次いで30～39歳が51.1%となっています。

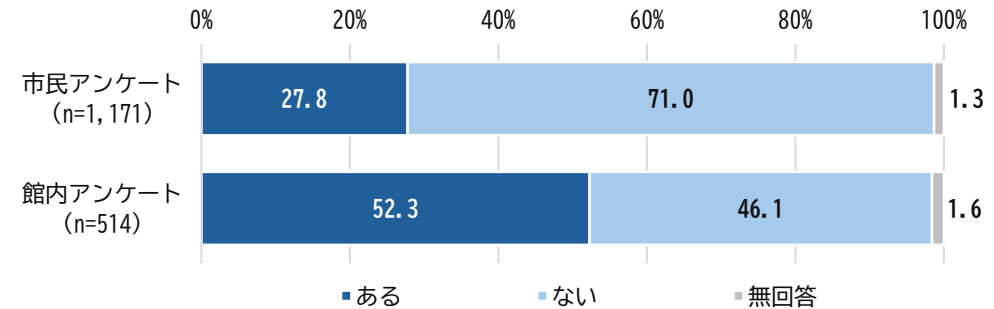
問4 サードプレイスの有無



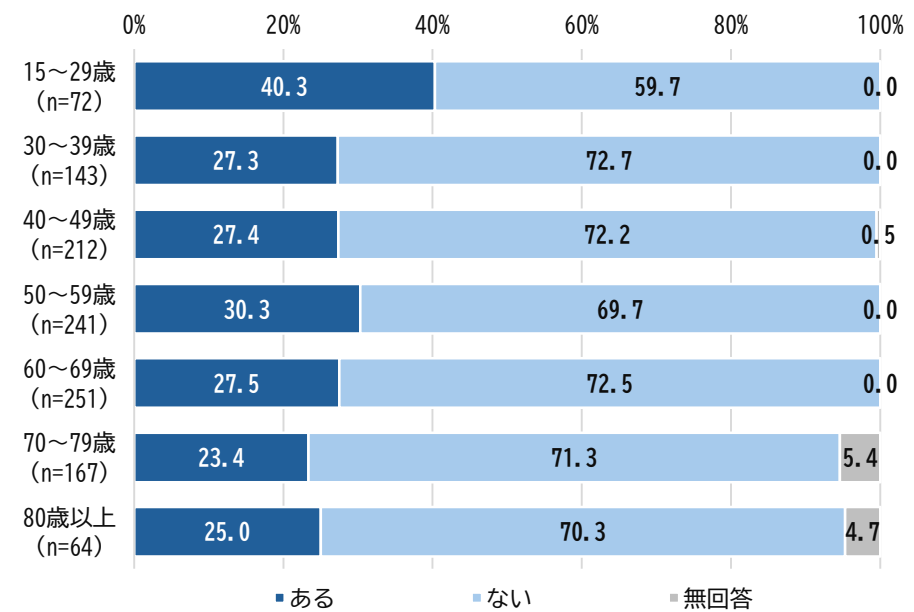
《年代別クロス集計》※市民アンケート



問5 図書館をサードプレイスと感じることの有無



《年代別クロス集計》※市民アンケート

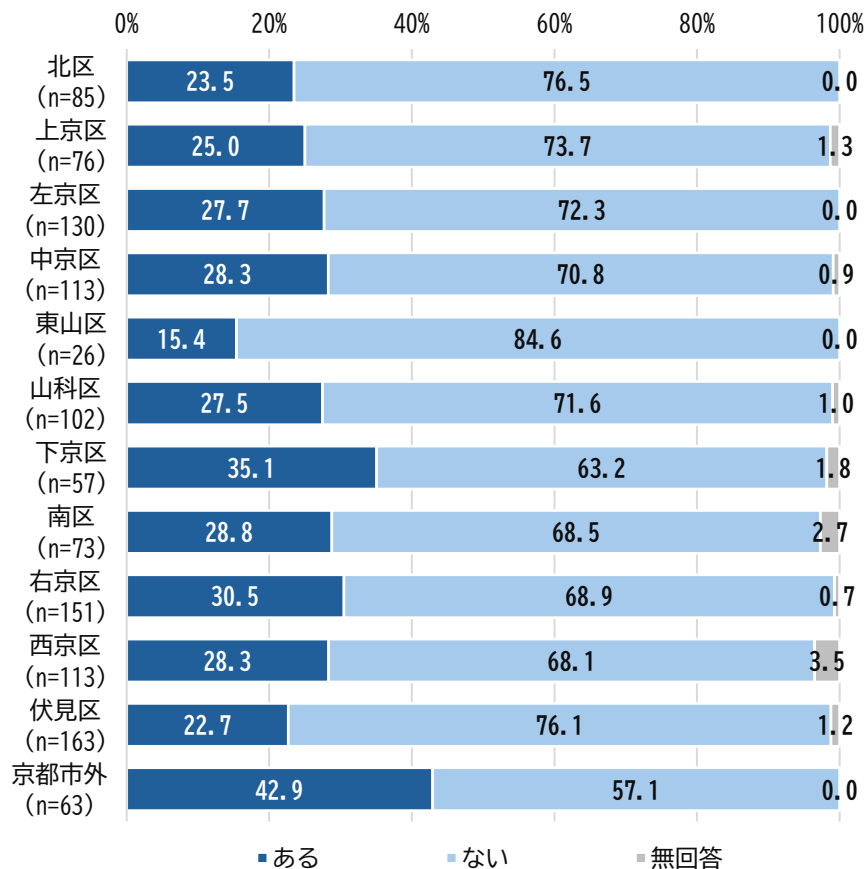


- サードプレイスの有無については、サードプレイスと思える場所が「ある」は市民アンケートでは3割程度、館内アンケートでは約半数となっています。
- 市民アンケート調査の結果を年代別で見ると、30～39歳では「ある」が3割程度で最も低く、以降は年代が上がるほど割合が高くなっています。

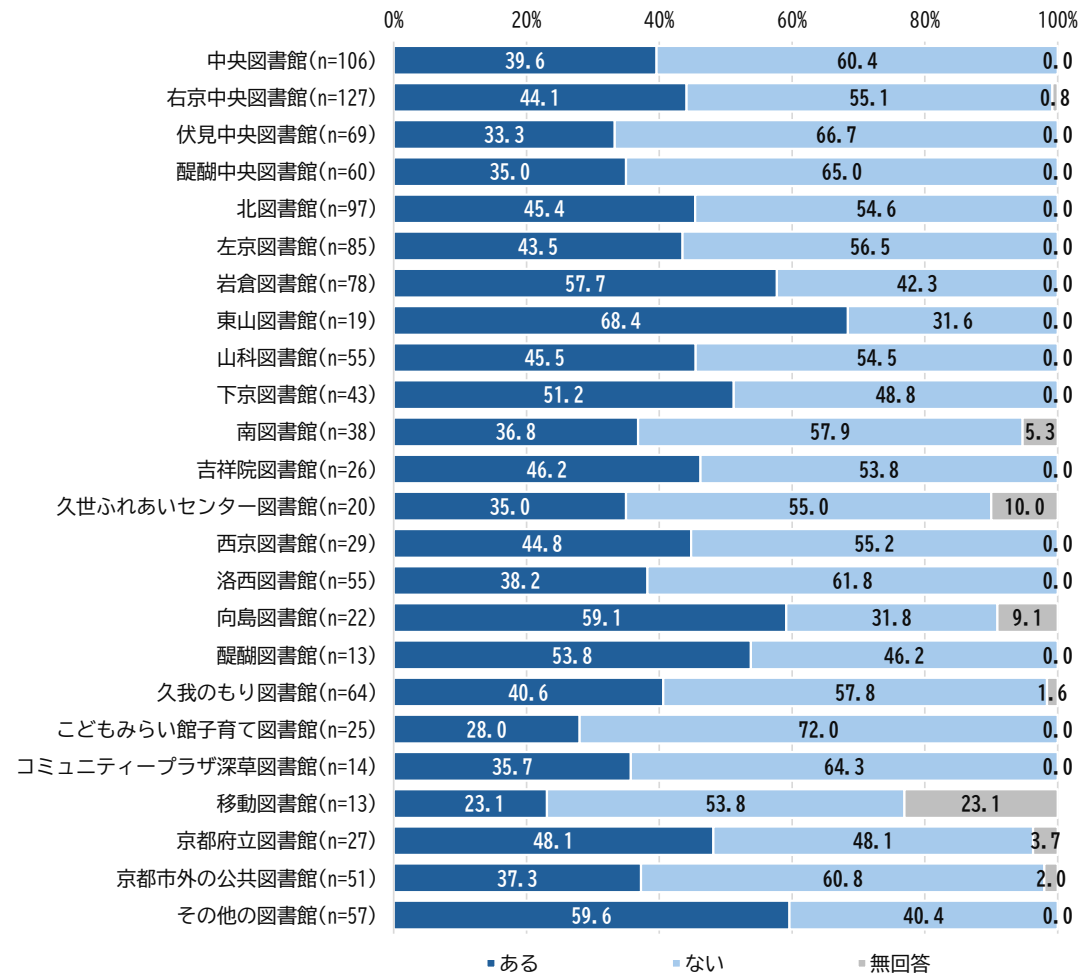
- 図書館をサードプレイスと感じている人では、市民アンケートでは3割未満となっているのに対し、館内アンケートでは半数以上の人を感じています。
- 市民アンケート調査の結果を年代別で見ると、「ある」は15～29歳で約4割と最も高くなっていますが、その他の年代では3割程度となっています。

問5 図書館をサードプレイスと感じることの有無

《住まいの地域別クロス集計》※市民アンケート

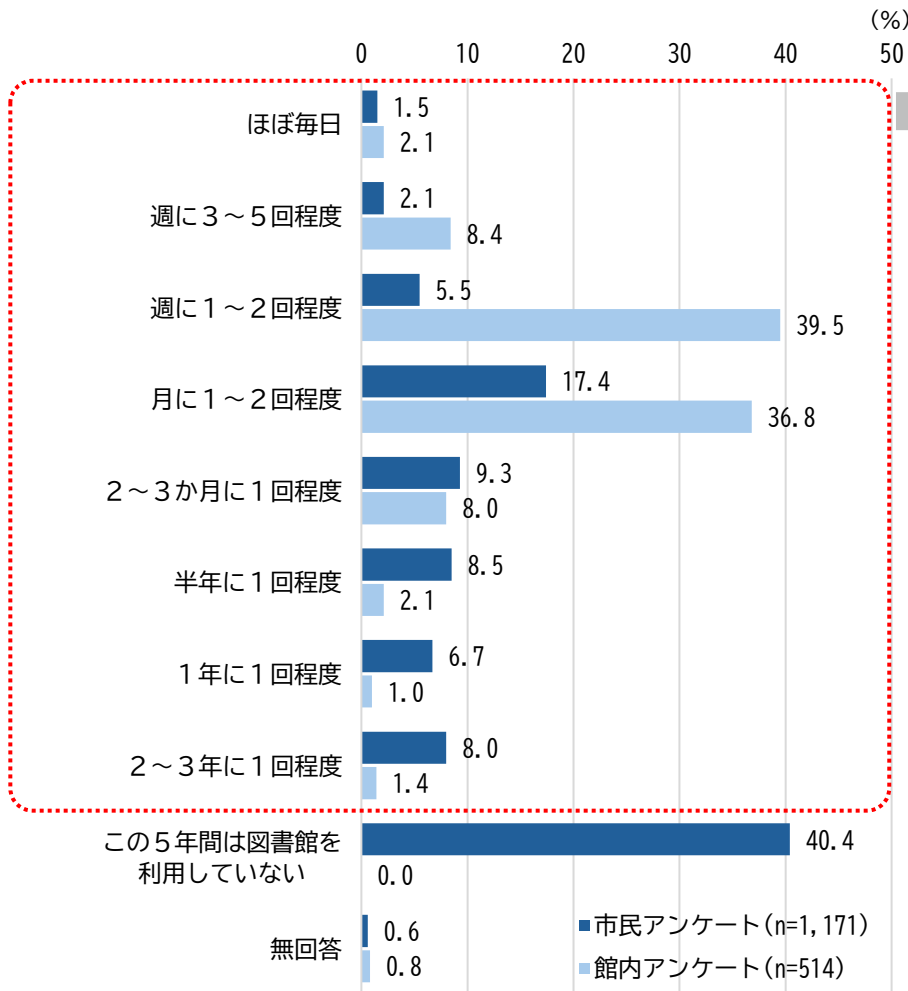


《利用している図書館別クロス集計》

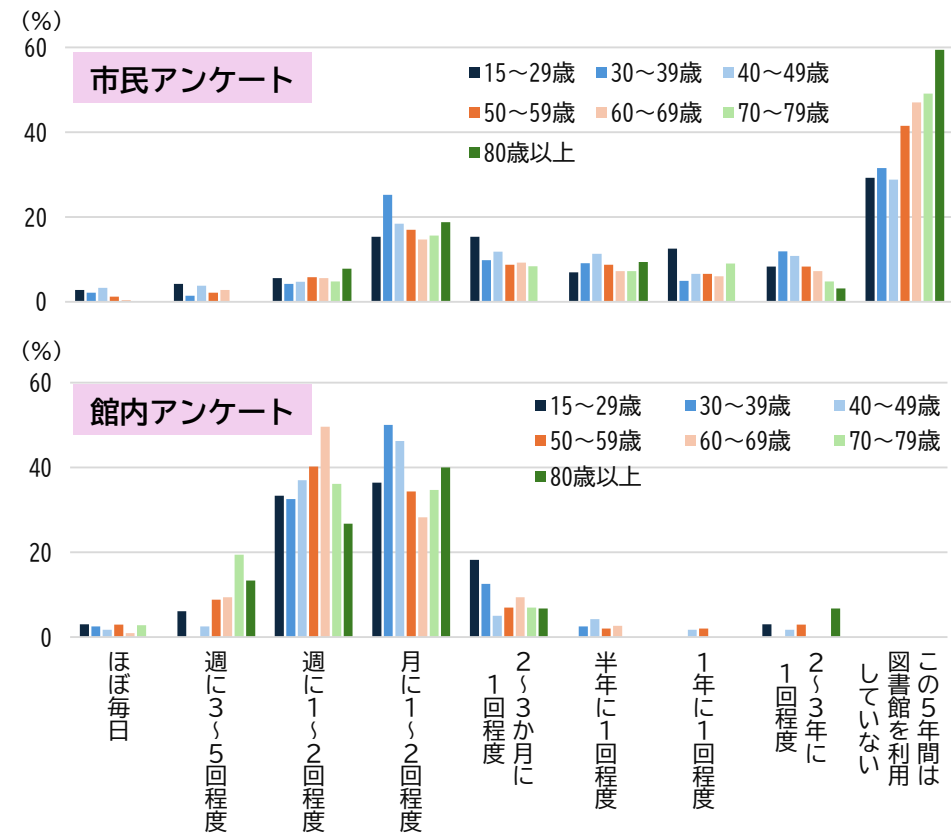


- 住まいの地域別で見ると、「ある」は京都市外で4割を超えて最も高く、次いで下京区、右京区となっています。
- 利用している図書館別で見ると、「ある」は東山図書館で7割近くを占めて最も多く、岩倉図書館、下京図書館、向島図書館、醍醐図書館、その他の図書館で5割を超えています。

問6 直近5年間の図書館の利用状況

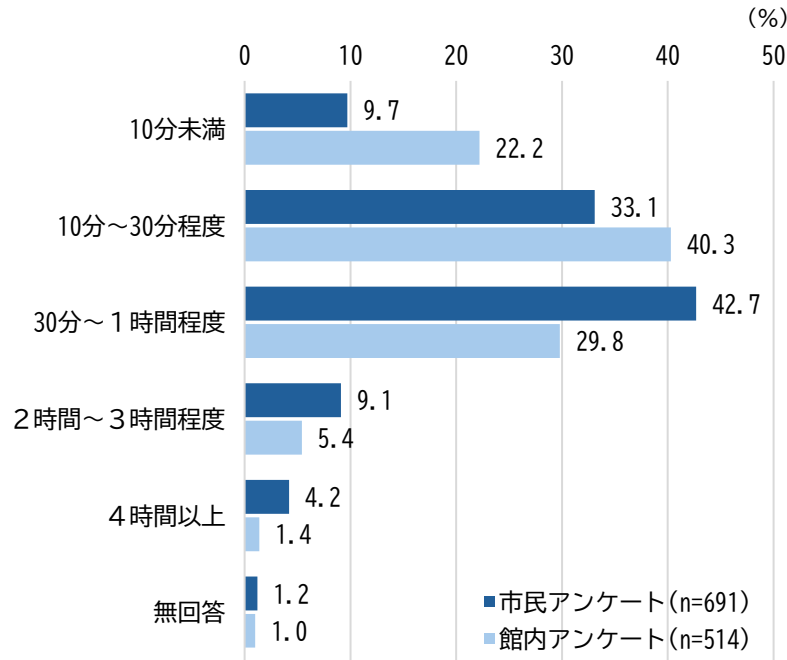


《年代別にみた利用者の利用頻度》

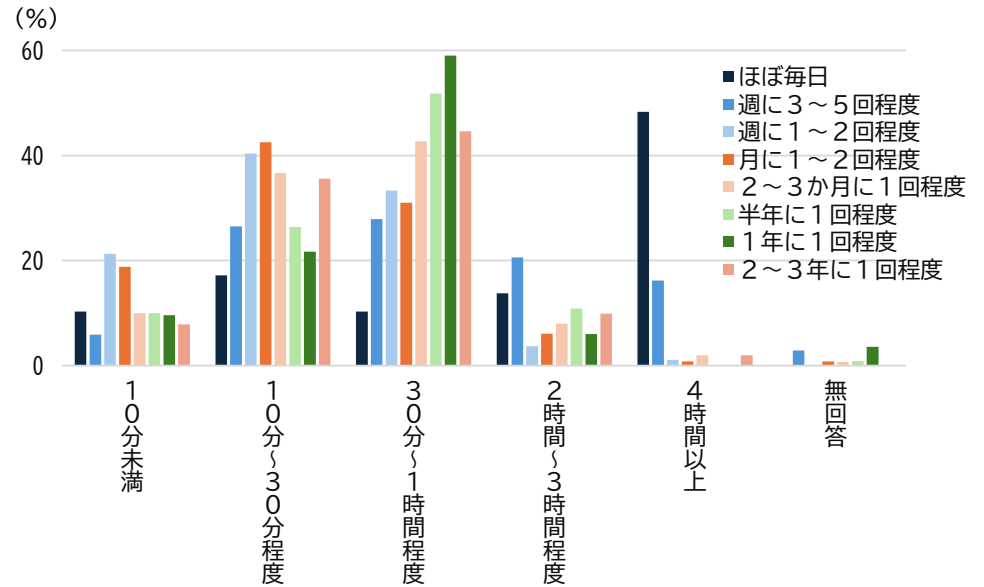


- 市民アンケートでは、「この5年間は図書館を利用していない」が約4割を占め、図書館利用のある人は6割未満となっています。館内アンケートでは「週に1～2回程度」「月に1～2回程度」の利用が多くなっています。
- 利用者の利用頻度を年代別にみると、週1回以上の頻度で利用している人は、市民アンケートでは40歳代が最も多いのに対し、館内アンケートでは50歳代以上で多くなっています。

問8 図書館の滞在時間 ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ



《利用頻度別にみた滞在時間の状況》

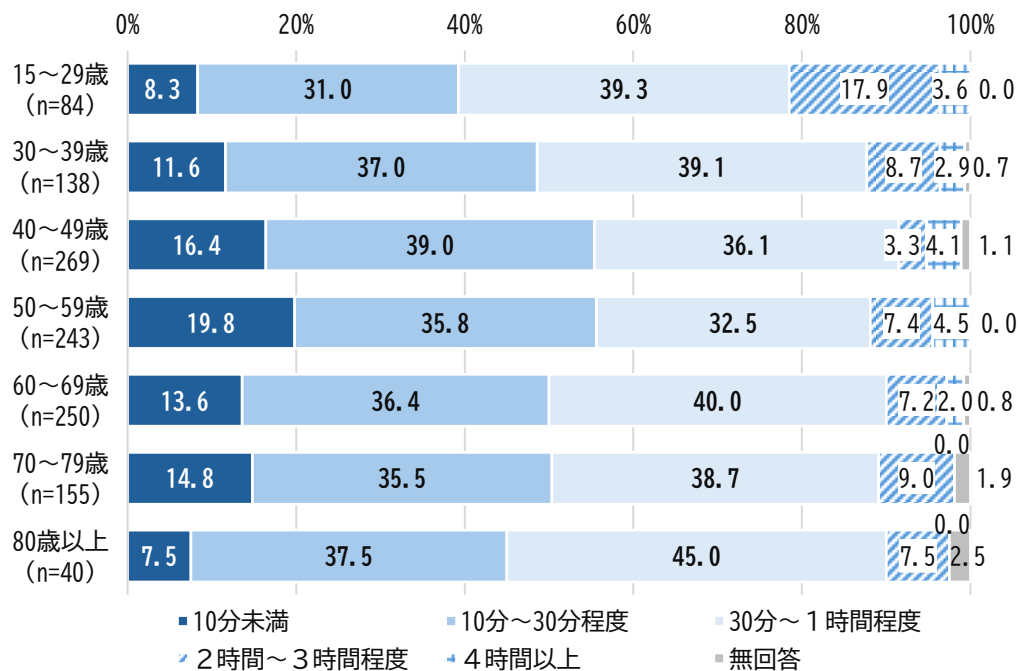


- 市民アンケートでは、「30分～1時間程度」が4割を超えて最も高く、館内アンケートでは「10分～30分程度」が約4割を占めて最も高くなっています。
- 利用頻度別にみると、「30分～1時間程度」の滞在時間は利用頻度が少ないほど高くなる傾向がみられ、「4時間以上」の滞在時間では利用頻度が多いほど高くなる傾向がみられます。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問8 図書館の滞在時間 ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ

《年代別クロス集計》



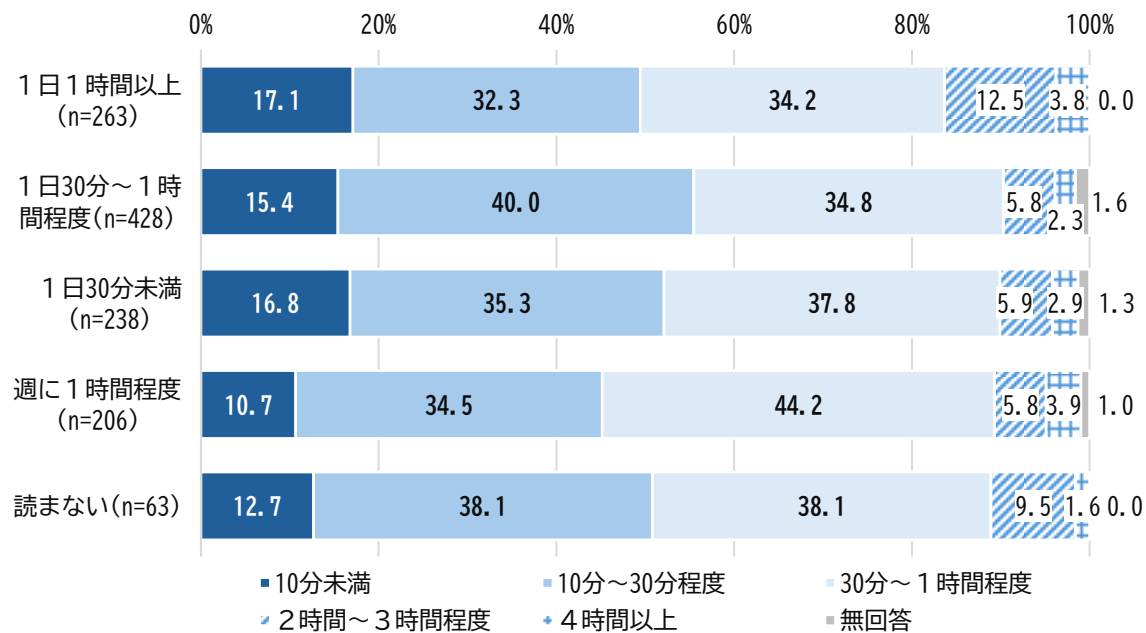
《利用している図書館別クロス集計》

	n	10分未満	10分～30分程度	30分～1時間程度	2時間～3時間程度	4時間以上	無回答
中央図書館	106	11.3	37.7	34.0	14.2	2.8	-
右京中央図書館	127	4.7	37.0	49.6	7.1	1.6	-
伏見中央図書館	69	23.2	39.1	31.9	4.3	1.4	-
醍醐中央図書館	60	13.3	36.7	43.3	1.7	5.0	-
北図書館	97	19.6	42.3	32.0	5.2	1.0	-
左京図書館	85	18.8	38.8	35.3	7.1	-	-
岩倉図書館	78	14.1	42.3	34.6	3.8	5.1	-
東山図書館	19	26.3	26.3	36.8	5.3	5.3	-
山科図書館	55	5.5	36.4	47.3	7.3	3.6	-
下京図書館	43	11.6	41.9	34.9	2.3	7.0	2.3
南図書館	38	28.9	34.2	26.3	2.6	2.6	5.3
吉祥院図書館	26	19.2	34.6	38.5	7.7	-	-
久世ふれあいセンター図書館	20	20.0	10.0	50.0	5.0	15.0	-
西京図書館	29	13.8	41.4	41.4	-	-	3.4
洛西図書館	55	25.5	43.6	30.9	-	-	-
向島図書館	22	27.3	36.4	22.7	13.6	-	-
醍醐図書館	13	23.1	30.8	38.5	7.7	-	-
久我的もり図書館	64	26.6	50.0	18.8	-	4.7	-
こどもみらい館子育て図書館	25	40.0	40.0	8.0	8.0	4.0	-
コミュニティプラザ深草図書館	14	21.4	28.6	42.9	7.1	-	-
移動図書館	13	15.4	53.8	15.4	-	-	15.4
京都府立図書館	27	-	22.2	51.9	22.2	3.7	-
京都市外の公共図書館	51	2.0	25.5	54.9	13.7	3.9	-
その他の図書館	57	-	8.8	49.1	33.3	8.8	-

- 年代別にみると、40～50歳代では「10～30分程度」が最も高くなっているものの、それ以外の年代では「30分～1時間程度」が最も高く、15～29歳では「2時間～3時間程度」の割合が30歳以上に比べて高くなっています。
- 利用している図書館別にみると、概ね1時間までが高くなっていますが、その他の図書館では「2時間～3時間程度」が3割を超えて高くなっています。

問8 図書館の滞在時間 ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ

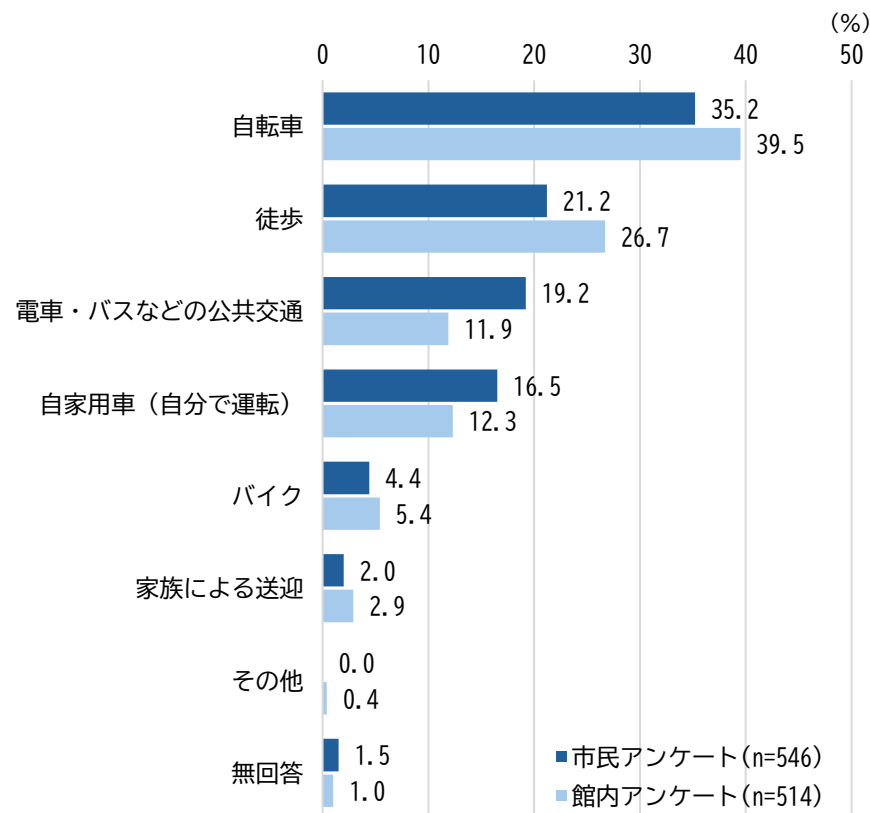
《普段の読書時間別クロス集計》



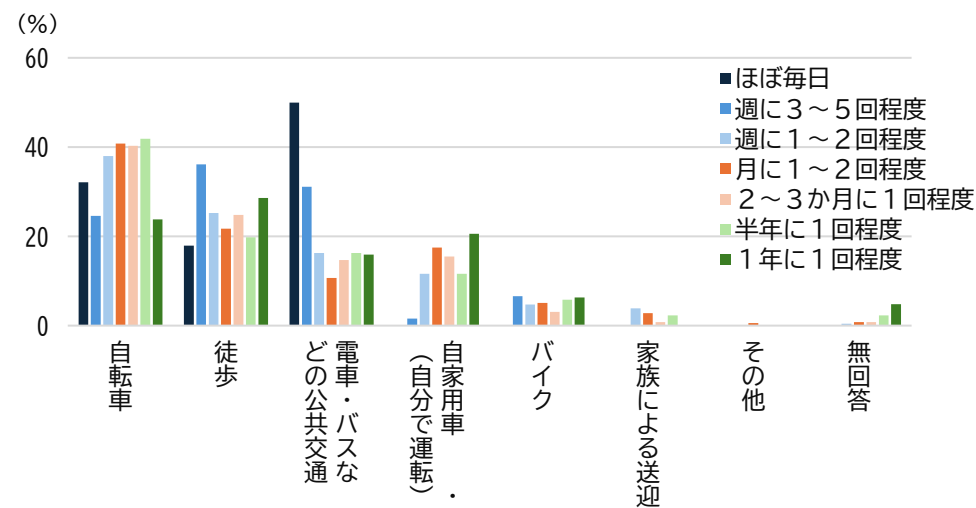
➤ 普段の読書時間別にみると、「2時間～3時間程度」は1日1時間以上読書している人で最も高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問9 図書館へのアクセス方法（複数回答可） ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ



《利用頻度別にみたアクセス方法》



- 市民アンケート・館内アンケートともに、「自転車」が最も高く、次いで「徒歩」「電車・バスなどの公共交通」「自家用車（自分で運転）」の順となっています。
- 館内アンケートでは、「自転車」「徒歩」が市民アンケートに比べて高く、市民アンケートでは「電車・バスなどの公共交通」「自家用車（自分で運転）」が館内アンケートに比べて高くなっています。
- 利用頻度別にみると、「電車・バスなどの公共交通」では概ね利用頻度が多いほど高くなる傾向がみられ、「自家用車（自分で運転）」では概ね利用頻度が少ないほど高くなる傾向がみられます。

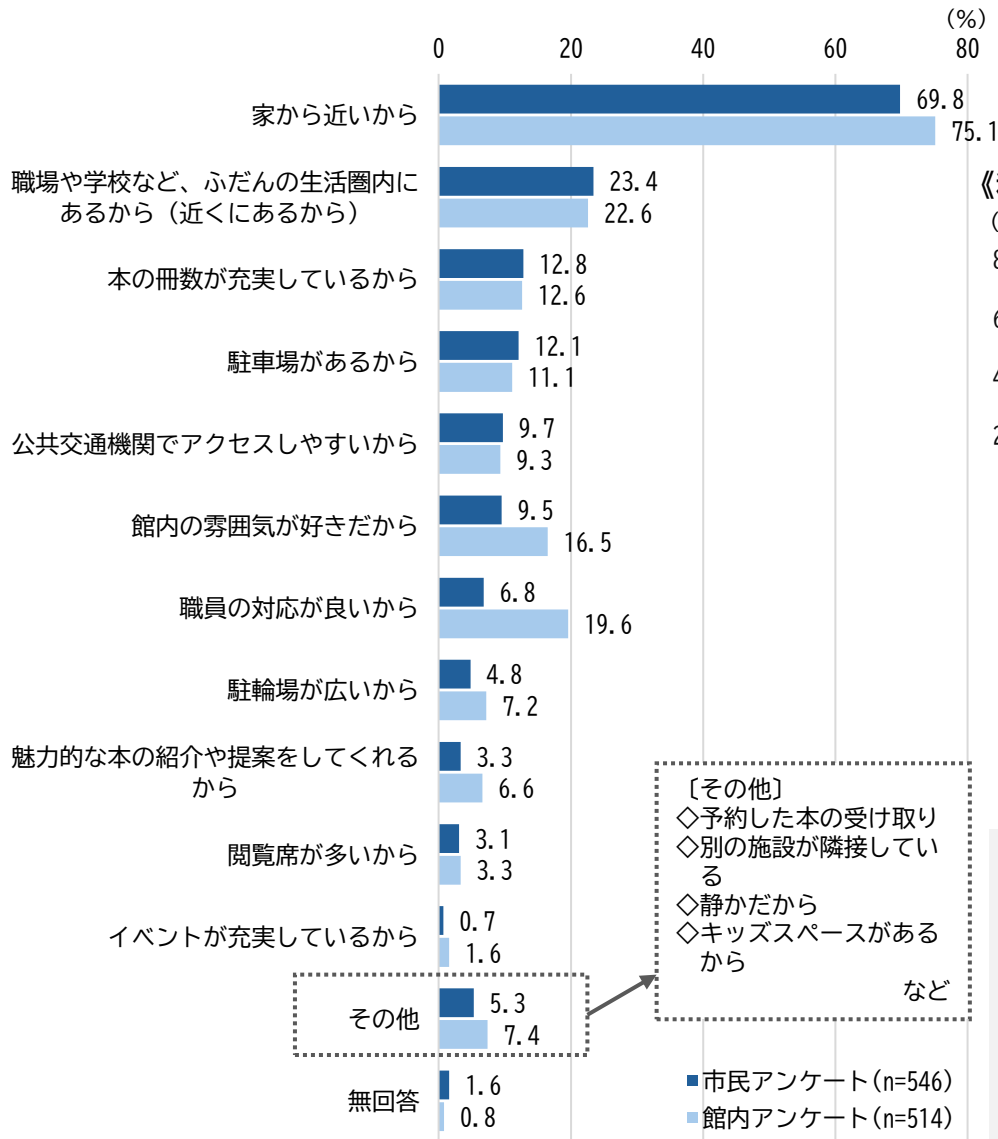
問9 図書館へのアクセス方法（複数回答可） ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ

《利用している図書館別クロス集計》

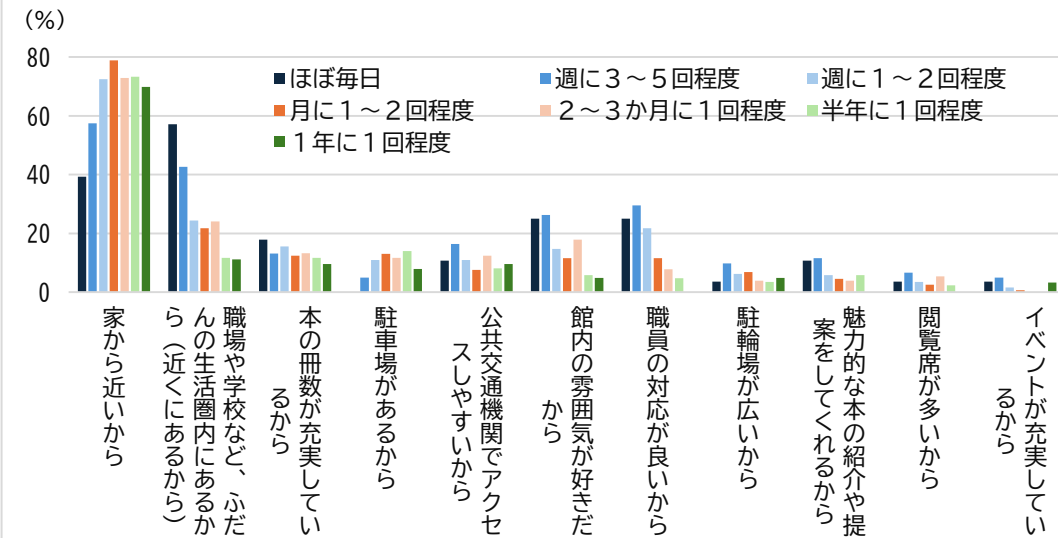
	n	徒歩	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	家族による送迎	電車・バスなどの公共交通	その他	無回答
中央図書館	106	19.8	45.3	6.6	6.6	0.9	20.8	-	-
右京中央図書館	127	13.4	34.6	5.5	11.8	0.8	33.1	-	0.8
伏見中央図書館	69	27.5	29.0	5.8	15.9	-	18.8	1.4	1.4
醍醐中央図書館	60	28.3	6.7	1.7	31.7	6.7	25.0	-	-
北図書館	97	24.7	54.6	4.1	2.1	1.0	11.3	-	2.1
左京図書館	85	21.2	67.1	2.4	1.2	2.4	4.7	1.2	-
岩倉図書館	78	26.9	34.6	1.3	21.8	5.1	10.3	-	-
東山図書館	19	15.8	42.1	-	-	-	31.6	-	10.5
山科図書館	55	30.9	29.1	5.5	16.4	3.6	12.7	-	1.8
下京図書館	43	32.6	39.5	2.3	-	2.3	20.9	-	2.3
南図書館	38	28.9	21.1	2.6	15.8	2.6	23.7	-	5.3
吉祥院図書館	26	7.7	50.0	-	34.6	3.8	3.8	-	-
久世ふれあいセンター図書館	20	10.0	40.0	10.0	30.0	-	10.0	-	-
西京図書館	29	17.2	48.3	3.4	24.1	3.4	-	-	3.4
洛西図書館	55	25.5	12.7	9.1	38.2	1.8	10.9	-	1.8
向島図書館	22	36.4	50.0	4.5	4.5	4.5	-	-	-
醍醐図書館	13	30.8	15.4	7.7	15.4	7.7	23.1	-	-
久我のもり図書館	64	21.9	32.8	14.1	21.9	4.7	4.7	-	-
こどもみらい館子育て図書館	25	36.0	44.0	4.0	-	4.0	12.0	-	-
コミュニティープラザ深草図書館	14	57.1	14.3	7.1	14.3	-	7.1	-	-
移動図書館	13	38.5	15.4	-	30.8	-	7.7	-	7.7

➤ 利用図書館別にみると、山科図書館、南図書館、醍醐図書館、コミュニティープラザ深草図書館、移動図書館では「徒歩」、醍醐中央図書館、洛西図書館では「自家用車（自分で運転）」、それ以外の図書館では「自転車」が最も高くなっています。

問10 図書館をよく利用する理由（複数回答可） ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ



《利用頻度別にみた図書館をよく利用する理由》



- 市民アンケート・館内アンケートともに、「家から近いから」が最も高く、次いで「職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）」となっています。
- 館内アンケートでは、「職員の対応が良いから」や「館内の雰囲気が好きだから」が市民アンケートに比べて高くなっています。
- 利用頻度別にみると、「職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）」「本の冊数が充実しているから」「職員の対応が良いから」「館内の雰囲気が好きだから」で概ね利用頻度が多いほど高くなる傾向がみられます。

〔その他〕
 ◇予約した本の受け取り
 ◇別の施設が隣接している
 ◇静かだから
 ◇キッズスペースがあるから
 など

問10 図書館をよく利用する理由（複数回答可） ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ

《年代別クロス集計》

(%)

	n	家から近いから	職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）	職員の対応が良いから	館内の雰囲気が好きだから	本の冊数が充実しているから	駐車場があるから	公共交通機関でアクセスしやすいから	駐輪場が広いから	魅力的な本の紹介や提案をしてくれるから	閲覧席が多いから	イベントが充実しているから	その他	無回答
15～29歳	58	65.5	29.3	12.1	15.5	20.7	8.6	12.1	3.4	6.9	5.2	3.4	6.9	-
30～39歳	112	83.0	22.3	3.6	8.9	8.9	10.7	6.3	1.8	1.8	2.7	0.9	6.3	0.9
40～49歳	247	74.5	27.9	13.0	12.6	10.9	12.1	4.9	6.1	5.7	1.6	2.0	6.9	0.4
50～59歳	211	72.5	25.6	11.4	13.3	12.8	14.2	8.1	8.5	5.7	2.8	-	6.2	0.5
60～69歳	228	71.9	24.1	12.7	12.3	13.2	11.4	11.0	4.4	3.1	3.9	0.9	4.4	0.4
70～79歳	143	72.7	11.9	21.0	14.7	12.6	10.5	16.1	7.7	5.6	5.6	1.4	7.7	1.4
80歳以上	38	50.0	5.3	21.1	13.2	21.1	10.5	26.3	10.5	7.9	2.6	-	7.9	7.9

- いずれの年代も「家から近いから」が最も高くなっています。
- 年代別でみると、「職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）」は69歳までの年代で2割台と高く、「職員の対応が良いから」「本の冊数が充実しているから」「公共交通機関でアクセスしやすいから」「駐輪場が広いから」「魅力的な本の紹介や提案をしてくれるから」は80歳代で最も高くなっています。

問10 図書館をよく利用する理由（複数回答可） ※直近5年間で京都市図書館の利用がある人のみ

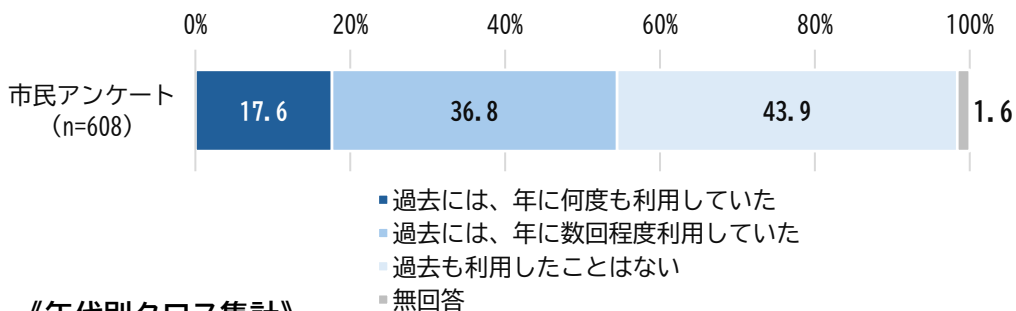
《利用している図書館別クロス集計》

(%)

	n	家から近いから	職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）	職員の対応が良いから	館内の雰囲気が好きだから	本の冊数が充実しているから	駐車場があるから	公共交通機関でアクセスしやすいから	駐輪場が広いから	魅力的な本の紹介や提案をしてくれるから	閲覧席が多いから	イベントが充実しているから	その他	無回答
中央図書館	106	59.4	32.1	11.3	5.7	29.2	6.6	11.3	10.4	5.7	6.6	-	7.5	0.9
右京中央図書館	127	62.2	24.4	3.9	16.5	29.9	11.0	26.8	11.0	4.7	7.9	-	5.5	0.8
伏見中央図書館	69	79.7	14.5	13.0	10.1	13.0	5.8	7.2	1.4	2.9	2.9	1.4	4.3	-
醍醐中央図書館	60	60.0	21.7	13.3	18.3	31.7	31.7	18.3	11.7	5.0	8.3	5.0	6.7	-
北図書館	97	83.5	20.6	13.4	4.1	1.0	1.0	7.2	1.0	3.1	-	1.0	1.0	1.0
左京図書館	85	87.1	24.7	11.8	10.6	7.1	-	2.4	8.2	2.4	-	-	7.1	-
岩倉図書館	78	83.3	19.2	23.1	29.5	3.8	24.4	5.1	6.4	7.7	3.8	1.3	5.1	-
東山図書館	19	42.1	47.4	5.3	-	5.3	-	15.8	5.3	-	-	5.3	5.3	10.5
山科図書館	55	80.0	23.6	7.3	10.9	3.6	16.4	9.1	1.8	7.3	1.8	1.8	7.3	-
下京図書館	43	51.2	34.9	4.7	9.3	4.7	-	4.7	2.3	-	-	-	4.7	4.7
南図書館	38	63.2	21.1	10.5	7.9	2.6	13.2	7.9	2.6	2.6	2.6	-	13.2	5.3
吉祥院図書館	26	65.4	34.6	7.7	7.7	11.5	23.1	-	7.7	7.7	3.8	3.8	-	-
久世ふれあいセンター図書館	20	80.0	15.0	5.0	20.0	-	15.0	-	-	5.0	-	-	10.0	-
西京図書館	29	75.9	17.2	10.3	10.3	-	13.8	-	3.4	6.9	-	-	6.9	3.4
洛西図書館	55	80.0	20.0	21.8	12.7	9.1	36.4	12.7	3.6	3.6	3.6	1.8	7.3	1.8
向島図書館	22	90.9	-	27.3	27.3	13.6	18.2	-	13.6	22.7	4.5	-	4.5	-
醍醐図書館	13	69.2	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	-	7.7	15.4	-
久我のもり図書館	64	81.3	14.1	25.0	14.1	7.8	9.4	1.6	3.1	1.6	-	-	3.1	1.6
こどもみらい館子育て図書館	25	64.0	32.0	20.0	24.0	16.0	-	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	16.0	-
コミュニティープラザ深草図書館	14	78.6	28.6	21.4	14.3	7.1	-	-	-	7.1	-	-	14.3	-
移動図書館	13	61.5	15.4	7.7	7.7	-	7.7	7.7	-	15.4	-	-	23.1	7.7

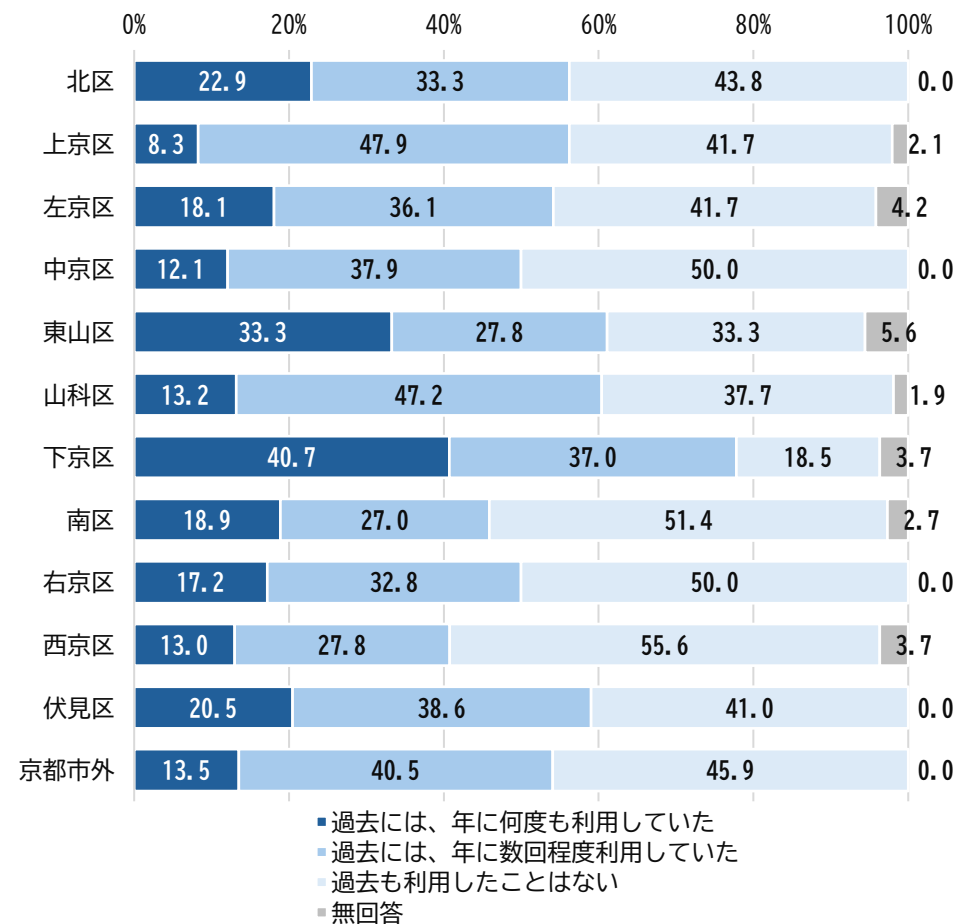
- 利用している図書館別で見ると、東山図書館は「職場や学校など、ふだんの生活圏内にあるから（近くにあるから）」が最も高く、それ以外の図書館では「家から近いから」が最も高くなっています。
- 「館内の雰囲気が好きだから」は岩倉図書館が最も高く、「駐車場があるから」は洛西図書館、「公共交通機関でアクセスしやすいから」は右京中央図書館が最も高くなっています。

問11 京都市図書館の過去の利用有無 ※過去5年間で図書館の利用がない人及び京都市図書館をあまり利用していない人のみ



《年代別クロス集計》

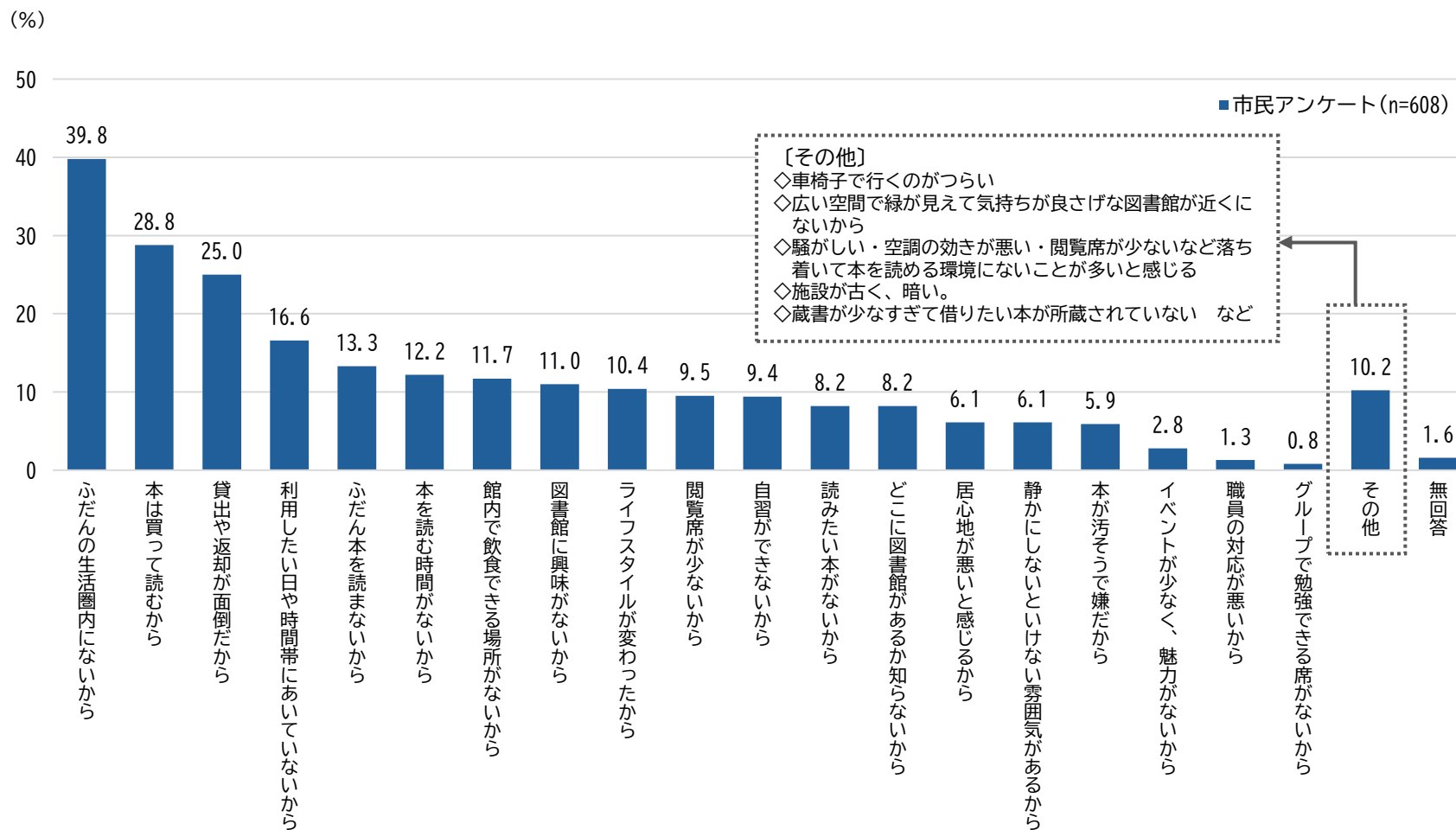
《居住地別クロス集計》



- 過去の京都市図書館の利用では「過去も利用したことはない」が4割を超えて高くなっています。
- 年代別にみると、40～50歳代では過去に利用したことがある人が6割を超え、その他の年代に比べて高くなっています。
- 居住地別にみると、下京区では過去に利用したことがある人が8割近くを占め、その他の地域に比べて高くなっています。一方で、中京区・南区・右京区・西京区では「過去も利用したことはない」が半数以上を占め、その他の地域に比べて高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

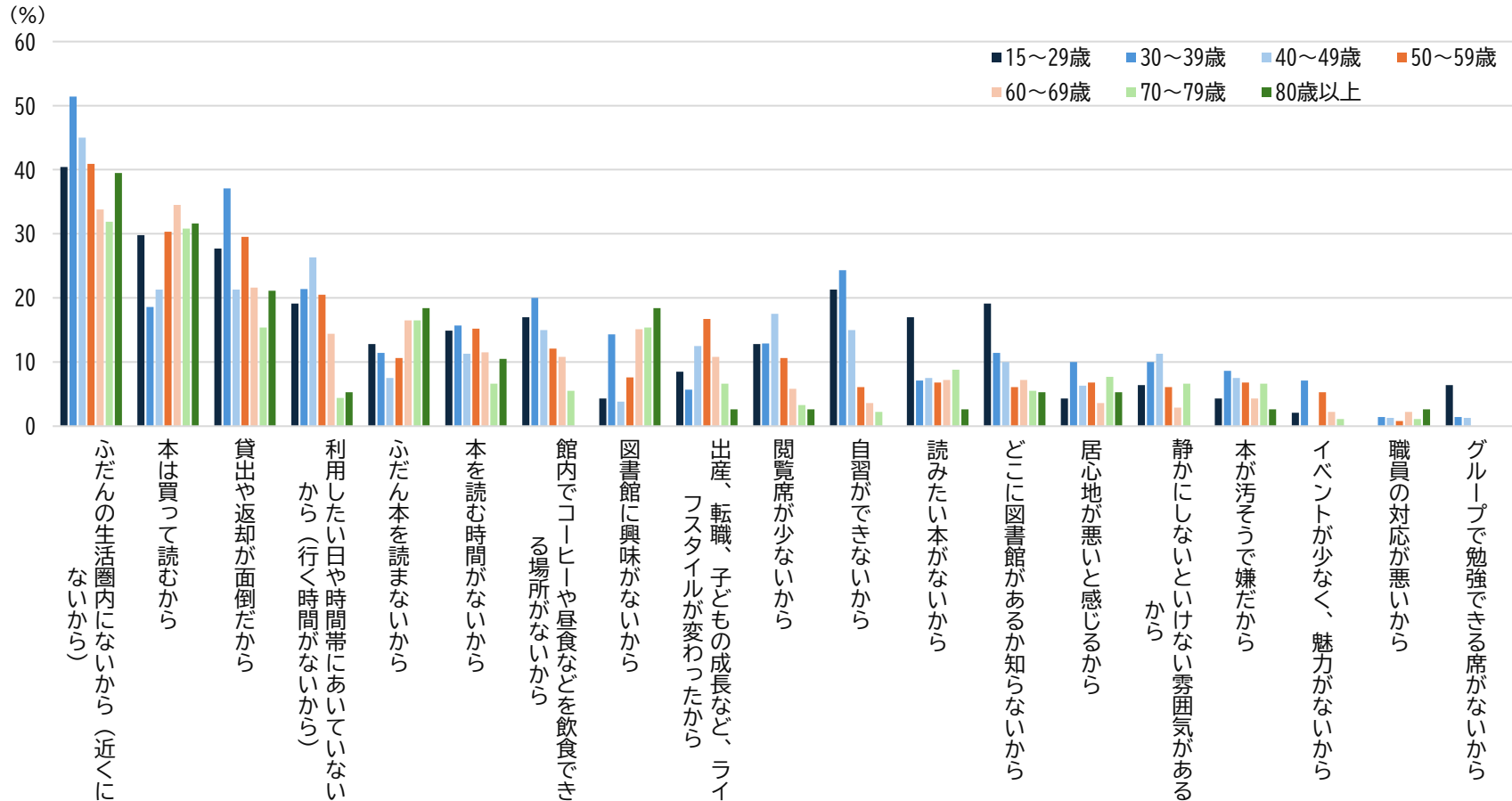
問12 京都市図書館を利用しない理由 ※過去5年間で図書館の利用がない人及び京都市図書館をあまり利用していない人のみ



➤ 京都市図書館を利用しない理由では「ふだんの生活圏内不在から」が約4割を占めて最も高く、次いで「本は買って読むから」「貸出や返却が面倒だから」「利用したい日や時間帯にあいていないから」の順となっています。

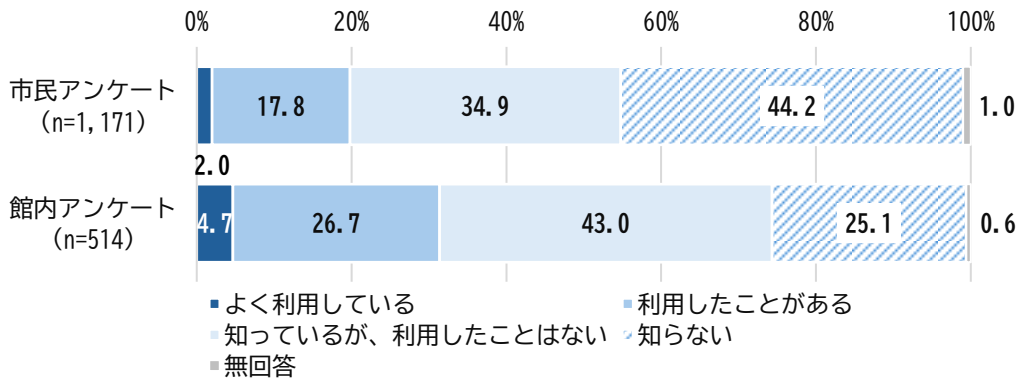
問12 京都市図書館を利用しない理由 ※過去5年間で図書館の利用がない人及び京都市図書館をあまり利用していない人のみ

《年代別クロス集計》

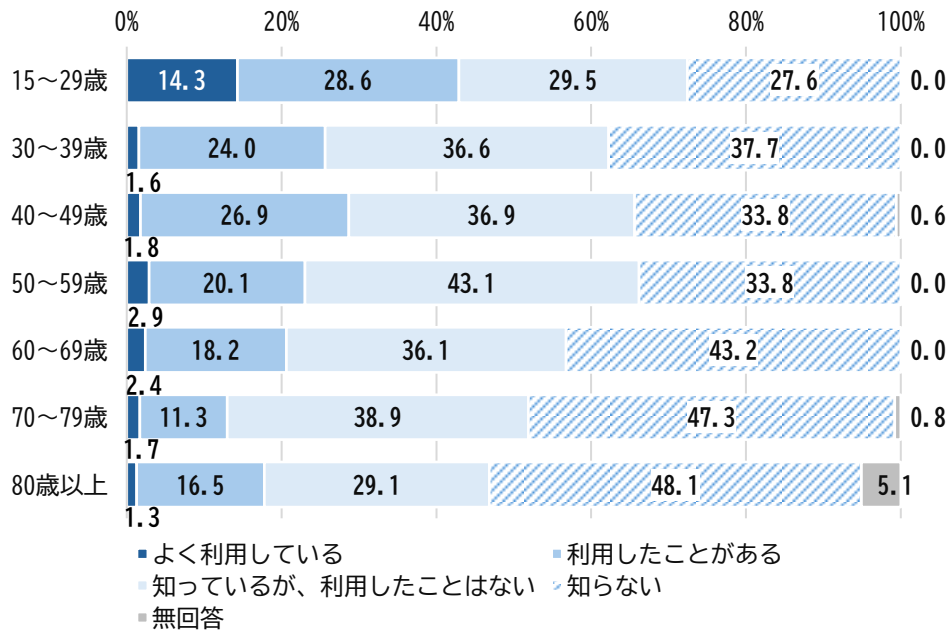


- 年代別にみると、40歳代以下では「自習ができないから」が、60歳以上では「ふだん本を読まないから」や「図書館に興味がないから」などが、その他の年代に比べて高くなっています。
- また、概ね50歳代までの年代では、「ふだんの生活圏内がないから（近くにないから）」や「利用したい日や時間帯にあいていないから（行く時間がないから）」「館内でコーヒーや昼食などを飲食できる場所がないから」「閲覧席が少ないから」などの回答も、その他年代に比べて高くなっています。

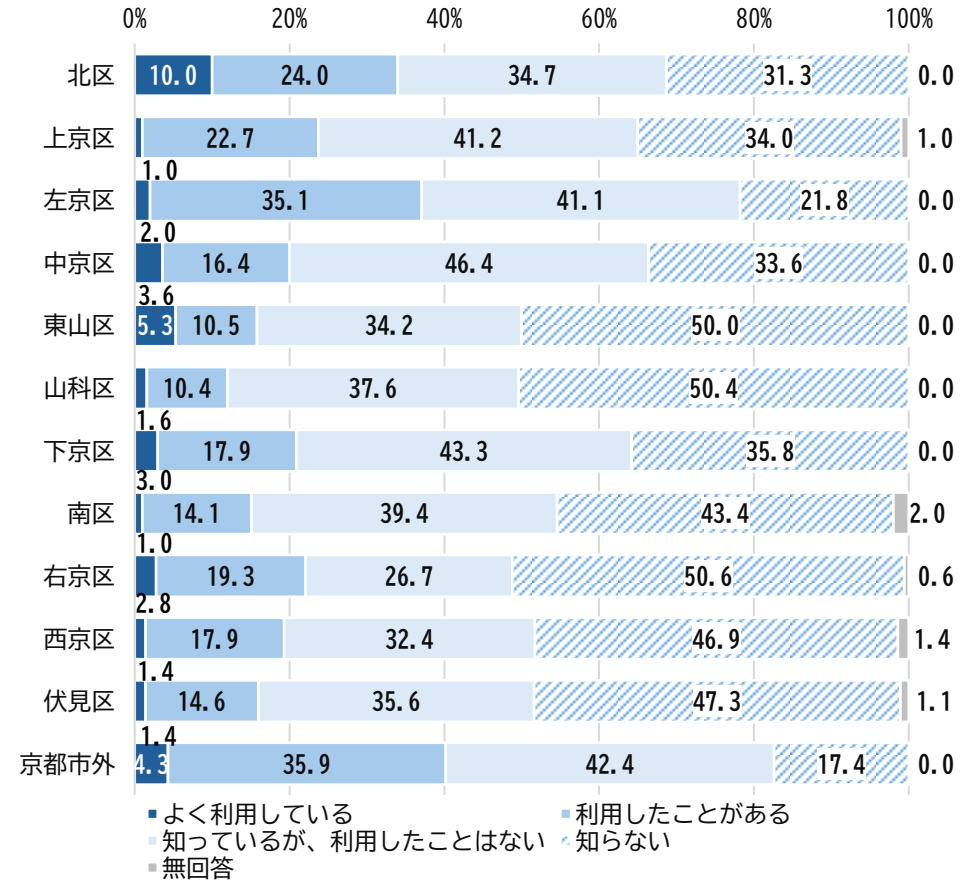
問13 私設図書館の利用状況



《年代別クロス集計》

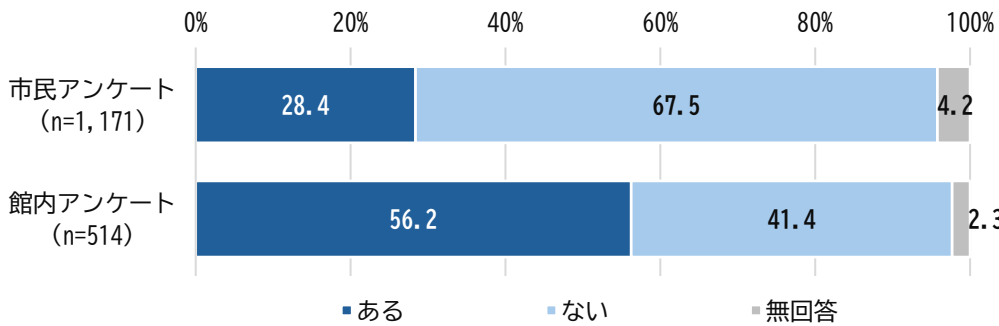


《居住地別クロス集計》

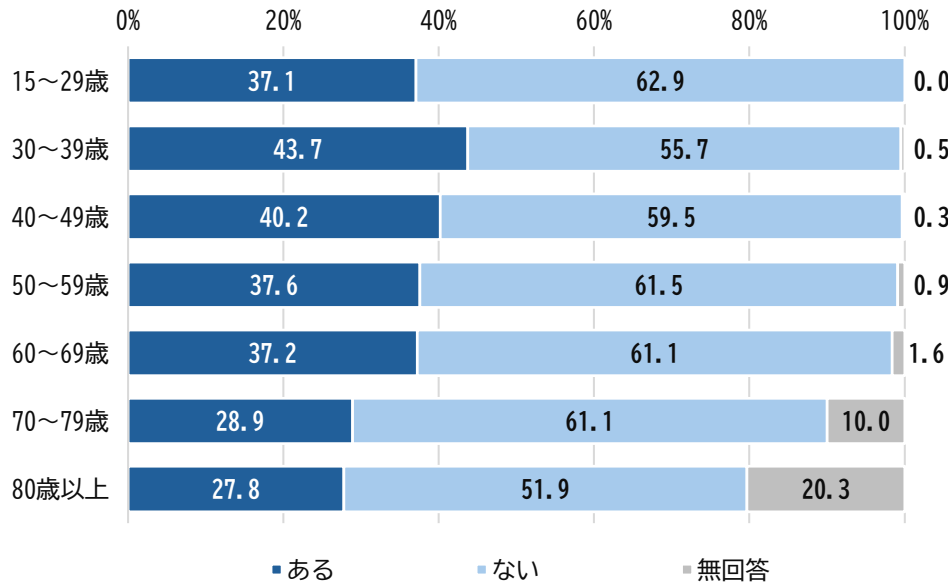


- 私設図書館の利用は、利用したことがある人が市民アンケートでは約2割、館内アンケートでは約3割となっています。
- 年代別にみると、概ね年齢が若い人ほど利用したことがある人が多い傾向がみられます。
- 居住地別では、市内では北区・左京区で利用したことがある人が、その他の地域に比べて高くなっています。

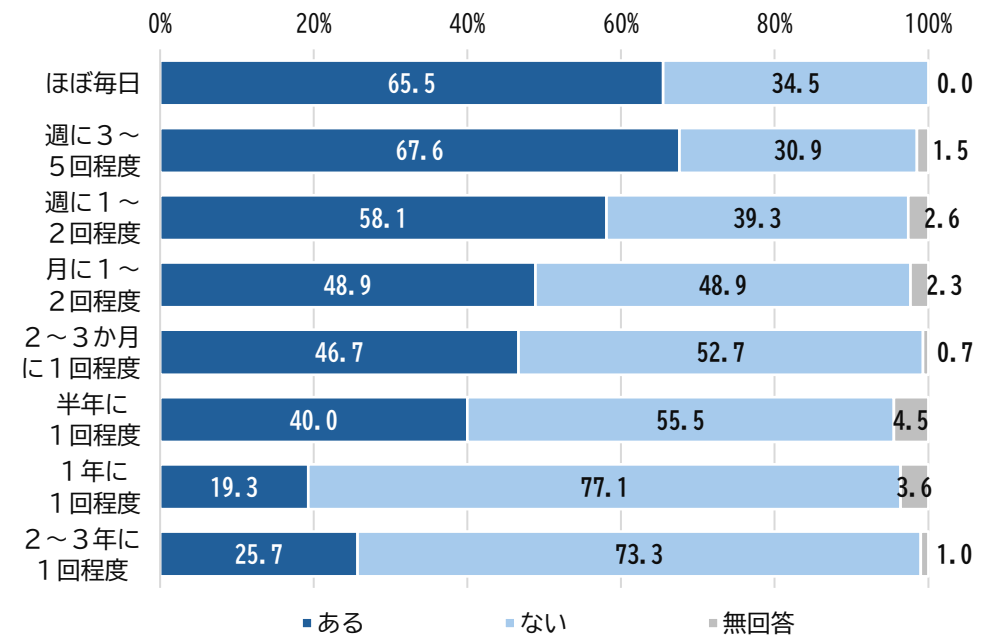
問14 居心地が良い図書館の有無



《年代別クロス集計》



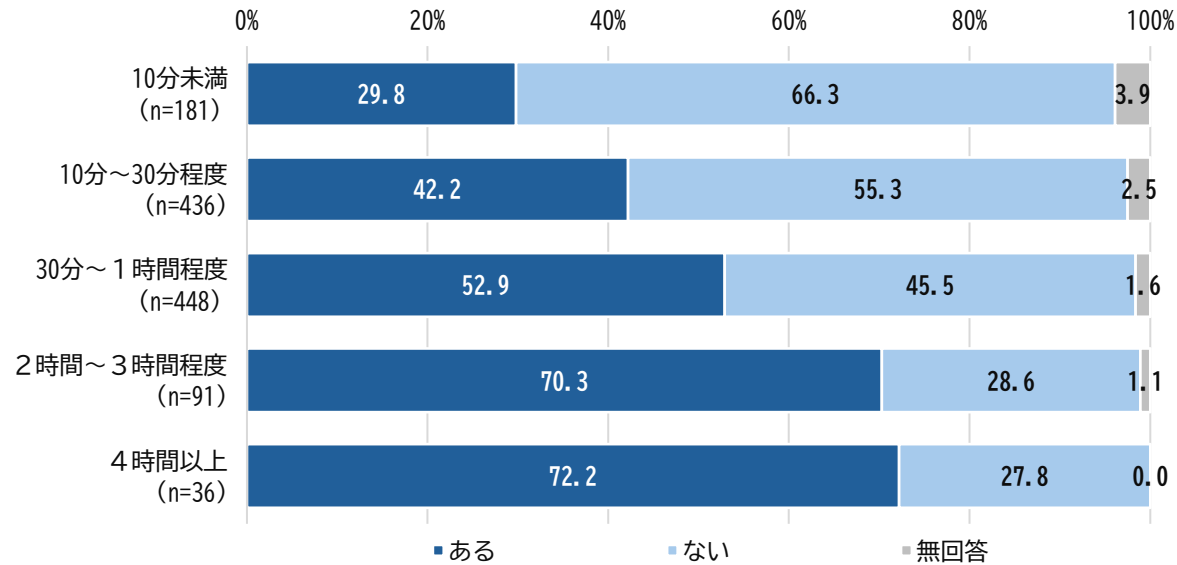
《利用頻度別クロス集計》



- 居心地が良い図書館の有無では、「ある」の割合が、館内アンケートでは半数以上を占めるのに対し、市民アンケートでは3割未満となっています。
- 年代別にみると、30歳代で最も高くなっています。
- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が多いほど居心地の良い図書館がある人が多くなる傾向がみられます。

問14 居心地が良い図書館の有無

《図書館の滞在時間別クロス集計》



➤ 図書館の滞在時間別にみると、滞在時間が長くなるほど「ある」の割合が高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問14-1 居心地が良い図書館（ベスト5）

《京都市図書館：ベスト5》

図書館名	意見数	居心地が良いと感じる理由（抜粋）
右京中央図書館	74	清潔で読書スペースが充実、蔵書が多い、施設がきれい、広々としている、緑が多い、アクセスも便利、右京総合庁舎内にあるため寄りやすい、屋外読書テラスが素敵、図書館外だが勉強できるスペースがある、明るく開放的、落ち着いた雰囲気配架も見やすい、京都関連の本がある、検索端末が多い など
中央図書館	34	落ち着いた雰囲気、静かで自分の時間が充分持てる、蔵書が充実、開放的で時間を気にせず利用しやすい、児童図書室が別になっていて乳幼児の子と気兼ねせず滞在できる、閲覧席が広い、1階に飲食室がある など
岩倉図書館	28	開放的で居心地が良い、建物の雰囲気が他の図書館よりナチュラルで落ち着く、外のテラスが良い、館内が静か、駐車場がある、学校の近くなので子どもと一緒に行きやすい など
醍醐中央図書館	19	静かで読書好きが多い、座って本を読む場所が多い、子どもの開架書籍が見やすい、本・雑誌が多い、広い、本棚の高さが低いので圧迫感がない、通路が広いので他の利用者とも重なっても本をゆっくり探せる など
久我のもり図書館	17	静か、他の京都市図書館と比べると人が多すぎない、館内がきれい、本が見やすく整理されている、職員の対応が丁寧、適度な広さ、アットホームな雰囲気がある など

《京都市図書館以外の図書館：ベスト5》

図書館名	意見数	居心地が良いと感じる理由（抜粋）
京都府立図書館	64	広くて開放感がある、設備が充実している、蔵書数・閲覧席が多い、施設・ネット環境が充実している、個人読書スペースが多い、空間にゆとりがある、建物に歴史や文化を感じられる、洗練されたデザイン、地下にあるので静かで落ち着く、周辺に美術館・書店があつて複合的に時間が過ごせる など
石川県立図書館 （石川県金沢市）	23	規模が大きくワクワクする、建物がきれい、大人向けの知的イベントが楽しい、図書館内にカフェがある、地域住民や若者が利用しやすいスペース・部屋が充実している、閲覧する椅子や場所に工夫がある、蔵書が多い、静かに過ごしたい場合のサイレントルームがある、予約して使えるエリアがある など
おにクルぶっくぱーく （大阪府茨木市）	12	広々している、おしゃれ、きれい、ジャンル別でわかりやすい、建物が吹き抜けで開放的、蔵書数が多い、多世代が集える工夫が凝らしてあり若い層が多く来ている、貸出・返却が自動でスムーズ など
歴彩館 京都府立総合資料館	12	本や新聞などを読むスペースが確保されている、飲食スペースがある、静か、施設が新しい、広くてきれい、ゆったりくつろいで過ごすことができる、自習ができる、イベント・展示が充実、専門的資料が豊富 など
こども本の森中之島 （大阪府大阪市）	10	日当たりのよいスペース、アート系の本がたくさん、カフェスペースが併設、ジャンル別でわかりやすい、本を読む場所を選ばずどこでも読める、美術館が併設していて講演会やワークショップがたまに開催 など

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問14-1 居心地が良い図書館（その他）

《京都市図書館以外の公設図書館》※2件以上の意見があった図書館を整理

図書館名	意見数
みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜県岐阜市）	9
守山市立図書館（滋賀県守山市）	7
武雄市図書館（佐賀県武雄市）	7
雲の上の図書館（高知県梶原町）	6
岡山県立図書館（岡山県岡山市）	5
国立国会図書館関西館（京都府精華町）	4
滋賀県立図書館（滋賀県大津市）	4
富山市立図書館（富山県富山市）	4
あかし市民図書館（兵庫県明石市）	3
松原市民松原図書館 読書の森（大阪府松原市）	3

図書館名	意見数
大阪府立中之島図書館（大阪府大阪市）	3
長浜図書館（滋賀県長浜市）	3
武蔵野市立図書館 武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）	3
せんだいメディアテーク 仙台市図書館（宮城県仙台市）	2
立誠図書館（京都府京都市）	2
栗東市立図書館（滋賀県栗東市）	2
寝屋川市立図書館（大阪府寝屋川市）	2
西ノ島町コミュニティ図書館 いかあ屋（島根県西ノ島町）	2
長岡京市立図書館（京都府長岡京市）	2
福知山市立図書館中央館（京都府福知山市）	2

《大学図書館》※意見の多いものから順に整理

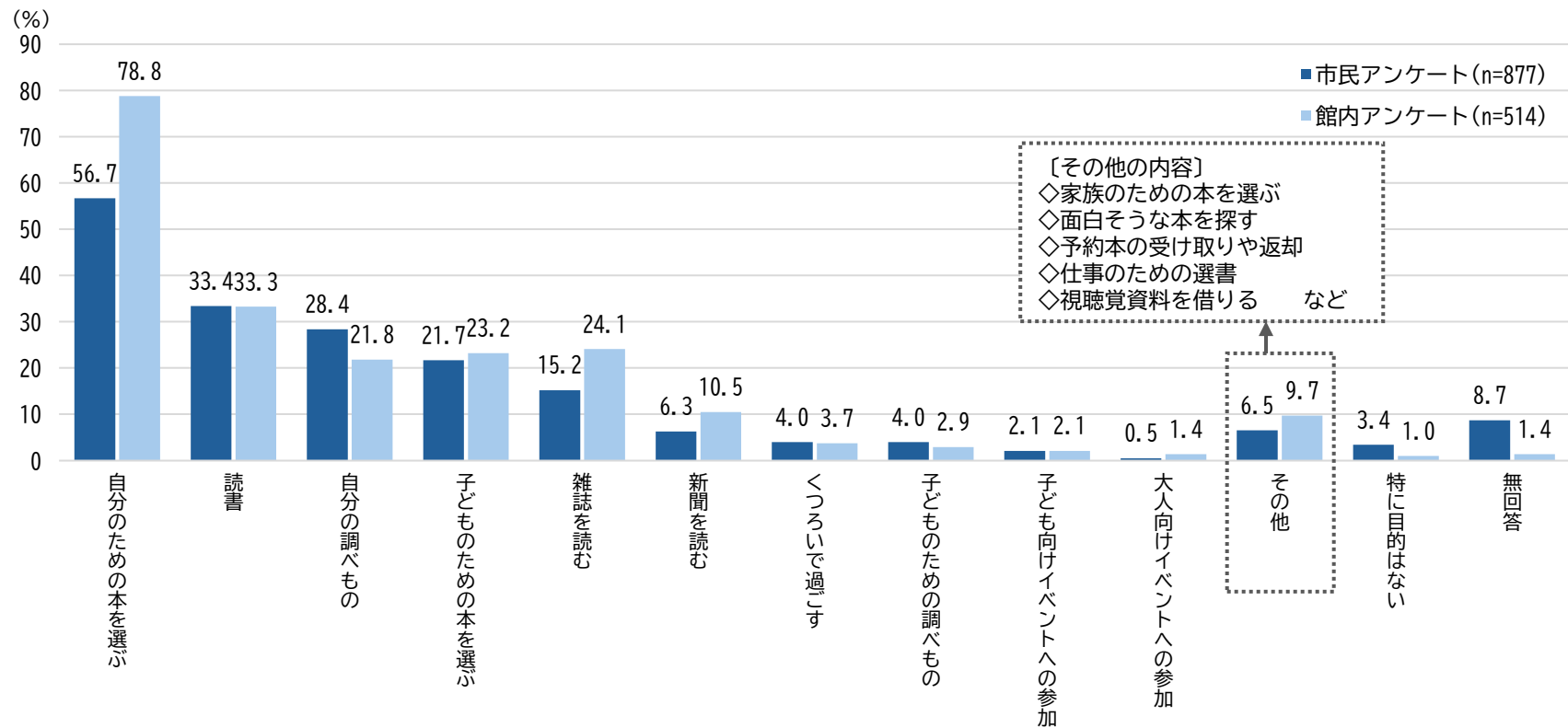
図書館名	意見数
京都大学附属図書館	9
京都精華大学情報館	5
立命館大学衣笠キャンパス図書館（平井嘉一郎記念図書館）	4
立命館大学図書館	4
同志社大学今出川図書館	3
京都芸術大学 芸術文化情報センター ピッコリー	2
京都府立大学図書館	2

《その他：私設図書館、海外図書館など》

図書館名	意見数
京都京北小中学校の地域開放図書館（京都府京都市）	4
私設図書館：鈍考（京都府京都市）	2
私設図書館：地中図書館 KURKKU FIELDS（千葉県木更津市）	1
企業図書館：池田文庫（大阪府池田市）	1
海外図書館：ボストン公共図書館（アメリカ）	1
海外図書館：バンクーバー公共図書館（カナダ）	1

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

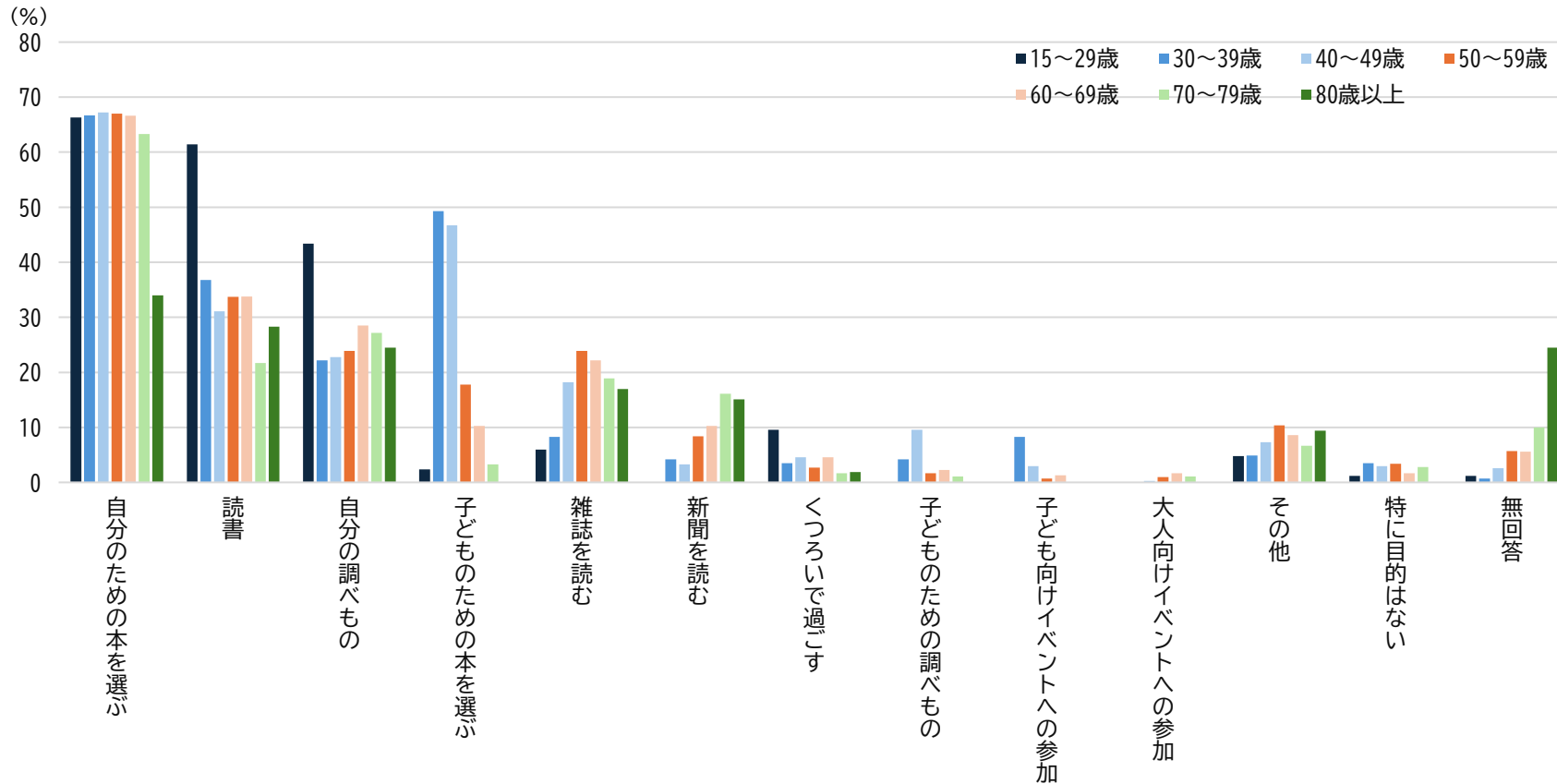
問15 京都市図書館の利用内容（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ



- 京都市図書館の利用内容では、市民アンケート・館内アンケートともに「自分のための本を選ぶ」が最も高く、次いで「読書」となっています。
- 館内アンケートでは、「自分のための本を選ぶ」「雑誌を読む」「新聞を読む」で市民アンケートに比べて高く、市民アンケートでは「自分の調べもの」が館内アンケートに比べて高くなっています。

問15 京都市図書館の利用内容（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

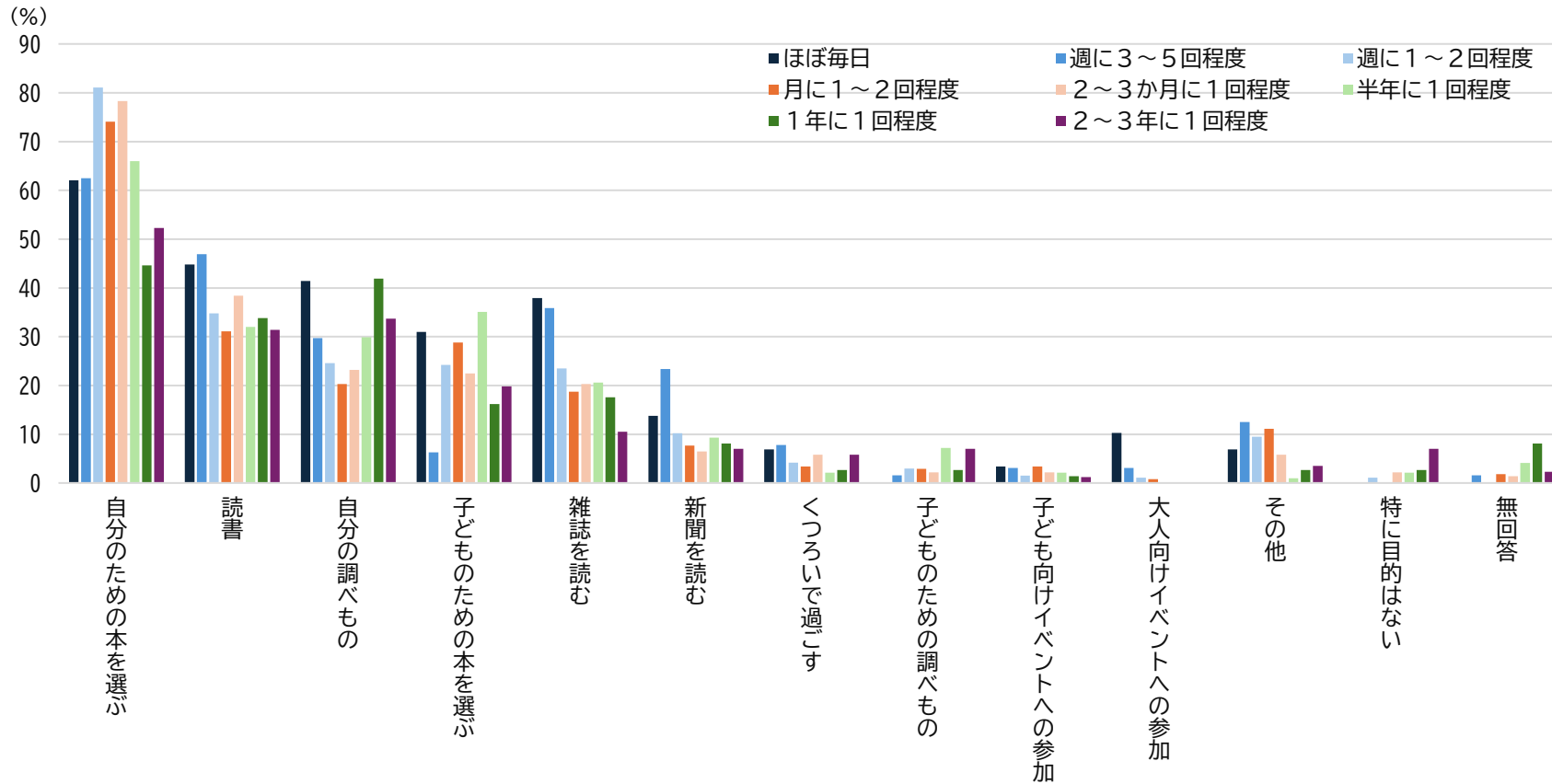
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、すべての年代で「自分のための本を選ぶ」が最も高くなっています。
- 15～29歳では「読書」や「自分の調べもの」がその他の年代に比べて突出して高く、「新聞を読む」では概ね年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。
- 30～40歳代では「子どものための本を選ぶ」が半数近くを占め、その他の年代に比べて突出して高くなっています。また、「子どものための調べもの」や「子ども向けイベントへの参加」など、子どもに関連した利用が多い傾向がみられます。

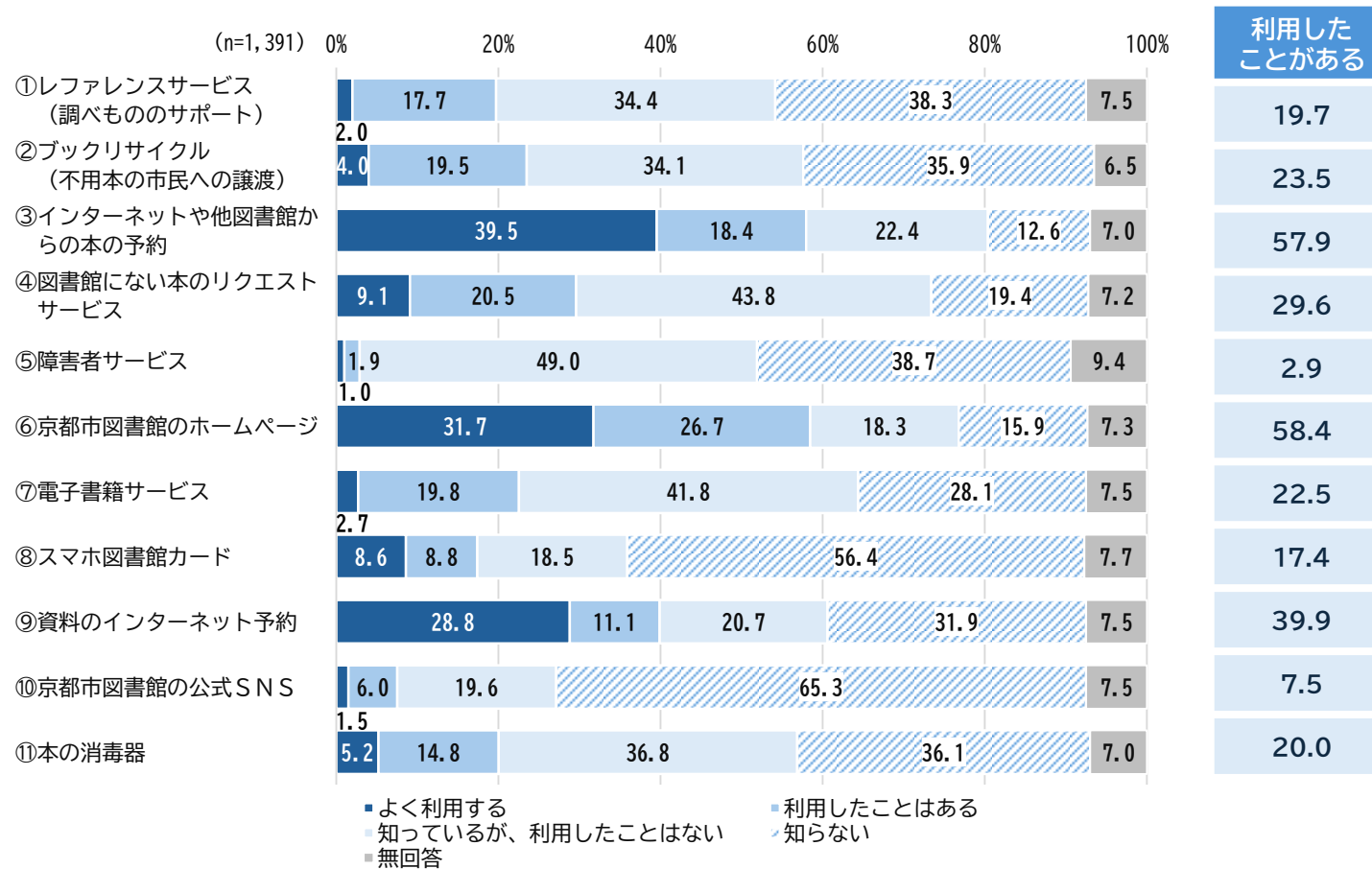
問15 京都市図書館の利用内容（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

《利用頻度別クロス集計》



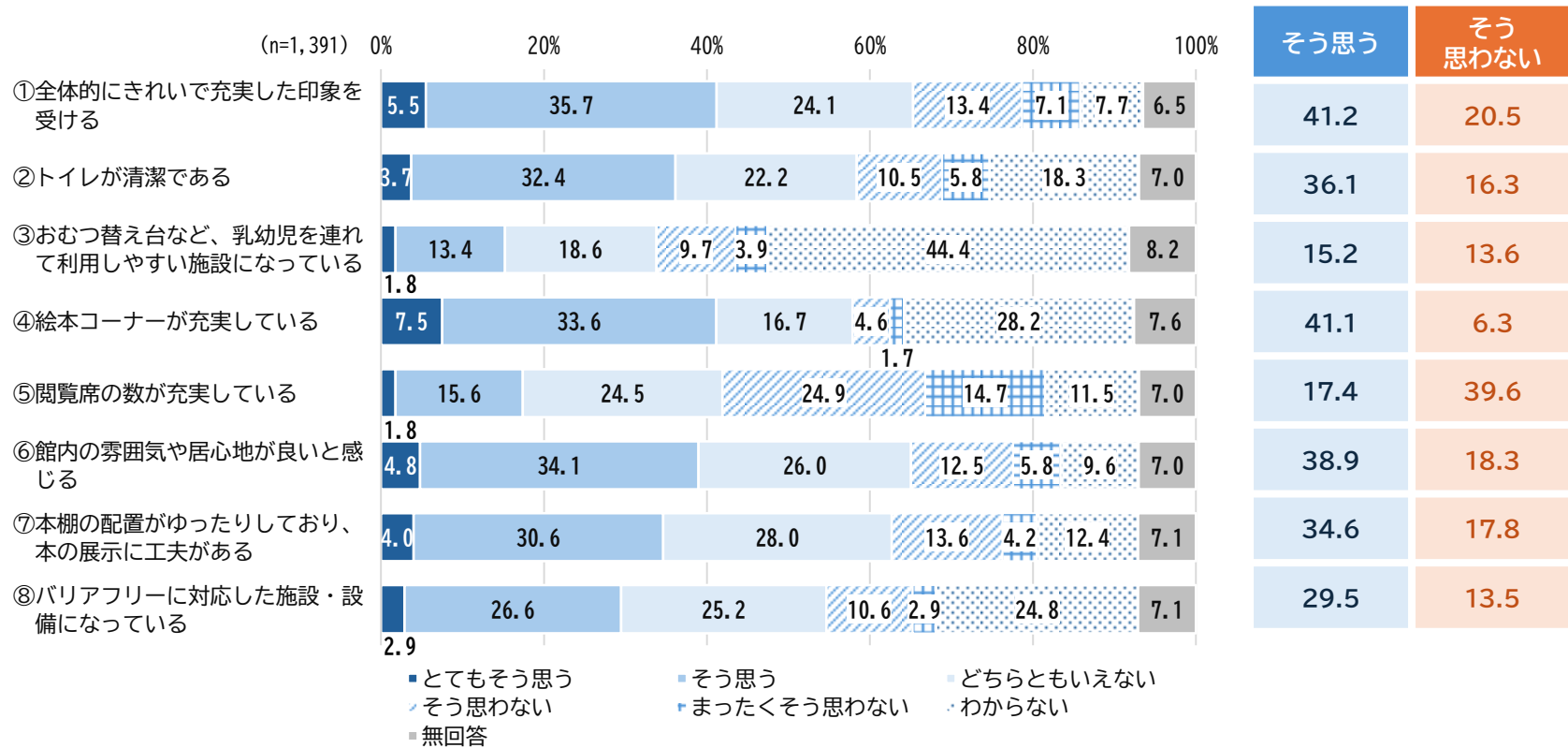
➤ 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が多い人ほど「読書」や「雑誌を読む」「新聞を読む」「大人向けイベントへの参加」などの割合が高くなる傾向がみられます。

問16 京都市図書館が行っているサービスの利用状況 ※京都市図書館の利用がある人のみ



- 京都市図書館が行っているサービスの利用状況では、『利用したことがある』（「よく利用する」＋「利用したことはある」）をみると、“③インターネットや他図書館からの本の予約”および“⑥京都市図書館のホームページ”が6割近くを占めて高く、次いで“⑨資料のインターネット予約”が約4割、“④図書館にない本のリクエストサービス”が約3割で続いています。
- 一方で、「知らない」をみると、“⑩京都市図書館の公式SNS”が6割以上を占めて最も高く、次いで“⑧スマホ図書館カード”が半数以上となっています。

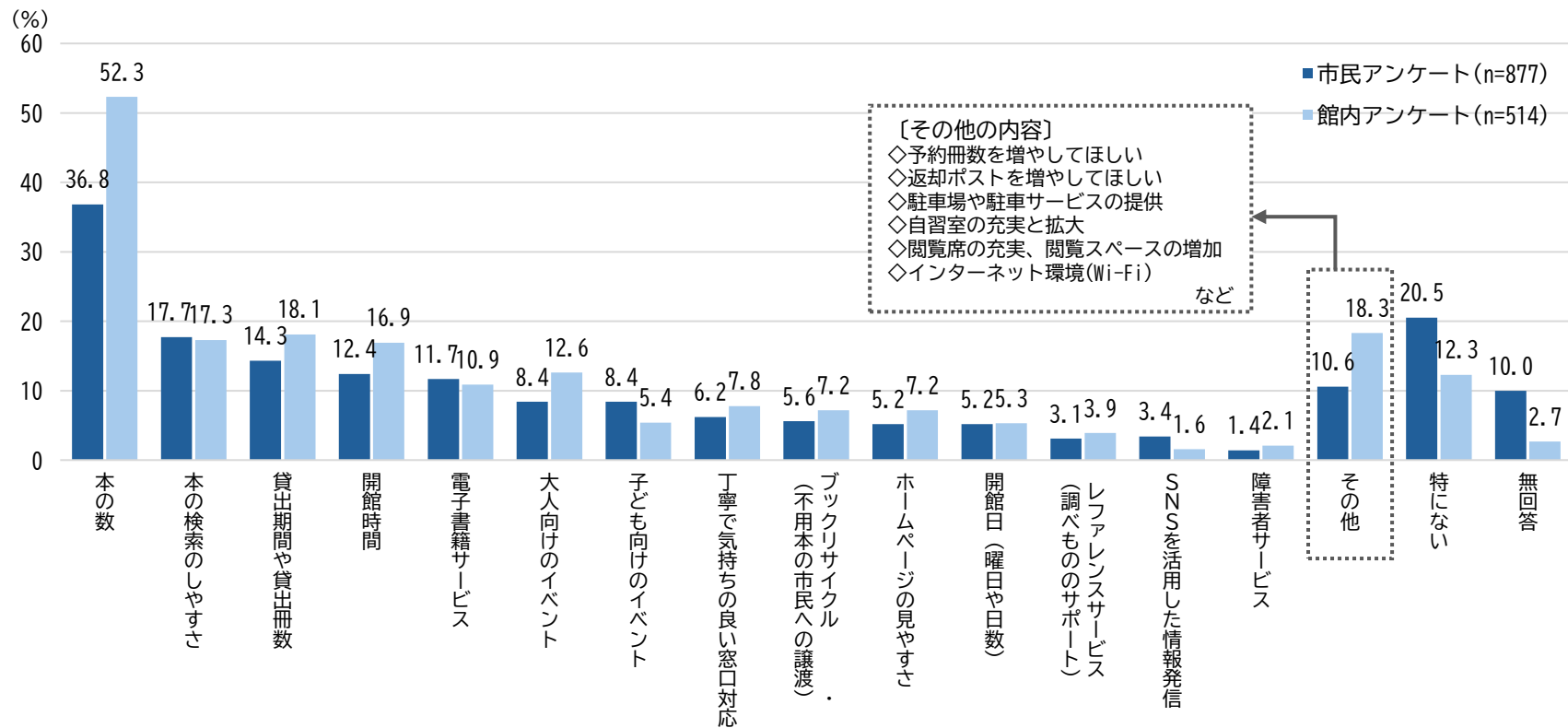
問17 京都市図書館の設備について ※京都市図書館の利用がある人のみ



- 京都市図書館の設備については、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「そう思う」）をみると、“①全体的にきれいで充実した印象を受ける”および“④絵本コーナーが充実している”で4割以上を占めて高く、次いで“⑥館内の雰囲気や居心地が良いと感じる”が4割近くを占めています。
- 一方で、『そう思わない』（「そう思わない」＋「まったくそう思わない」）をみると、“⑤閲覧席の数が充実している”が約4割を占めて最も高く、その他の項目と比べても突出して高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

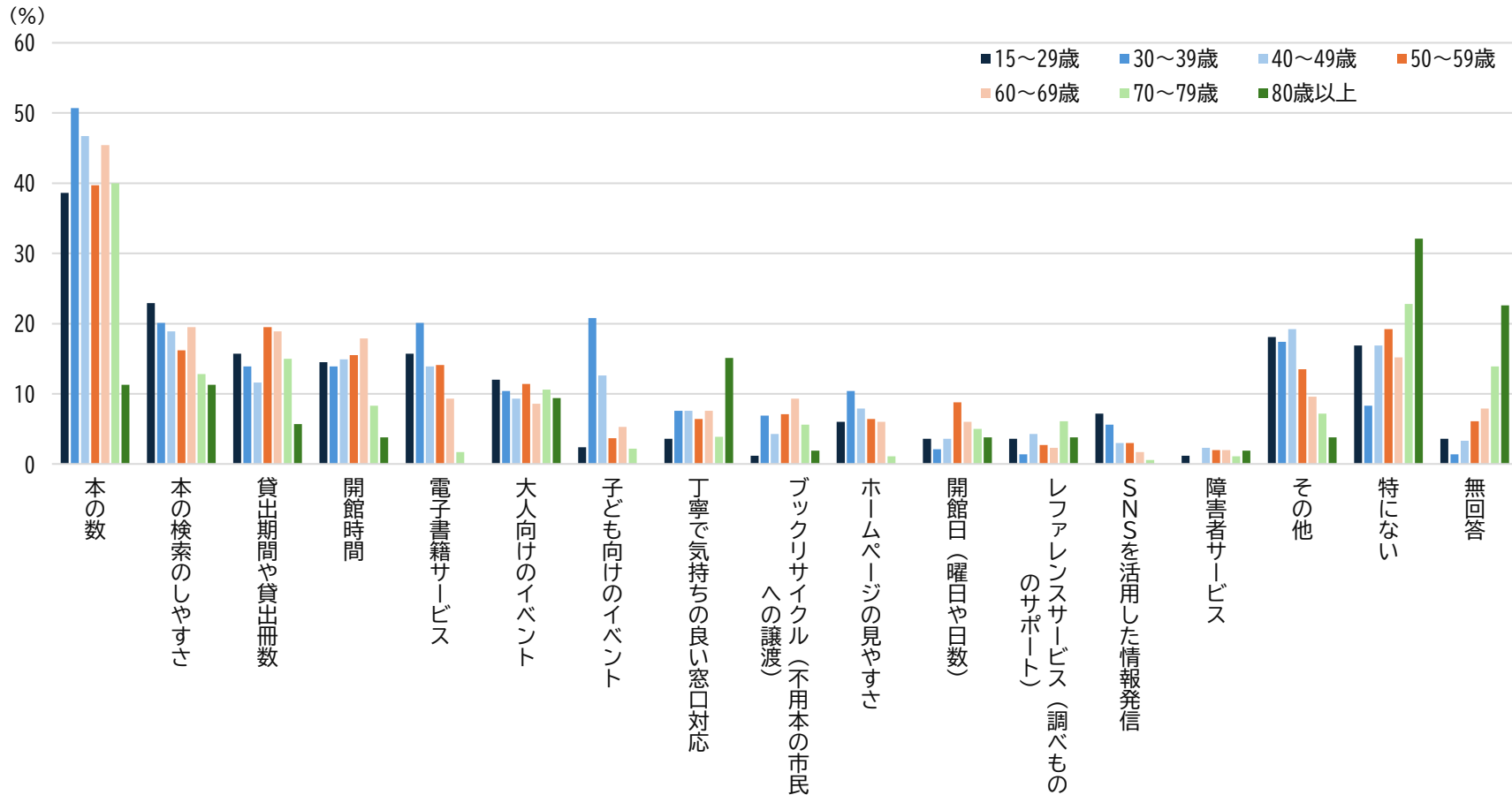
問18 京都市図書館で充実してほしいサービス（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ



- 京都市図書館で充実してほしいサービスでは、市民アンケート・館内アンケートともに「本の数」が最も高く、次いで市民アンケートでは「本の検索のしやすさ」、館内アンケートでは「貸出期間や貸出冊数」となっています。
- 館内アンケートでは、「本の数」「貸出期間や貸出冊数」「開館時間」「大人向けのイベント」で、市民アンケートに比べて高く、市民アンケートでは「子ども向けのイベント」が館内アンケートに比べて高くなっています。

問18 京都市図書館で充実してほしいサービス（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

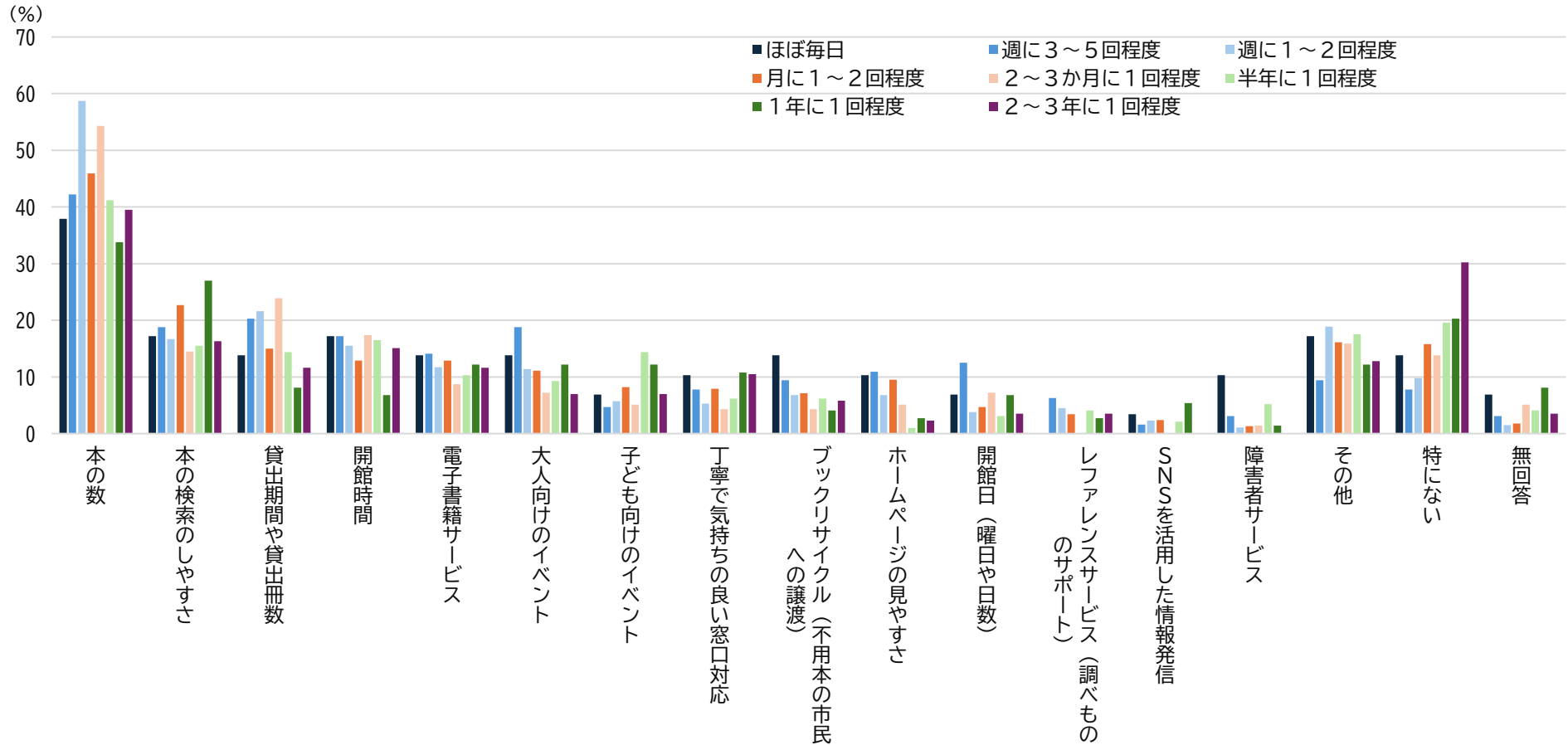
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「本の検索のしやすさ」や「電子書籍サービス」「ホームページの見やすさ」などが高い傾向がみられます。
- 30～40歳代では「本の数」や「子ども向けのイベント」、80歳以上では「丁寧で気持ちの良い窓口対応」が、それぞれその他の年代に比べて高くなっています。

問18 京都市図書館で充実してほしいサービス（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が多いほど「開館時間」や「電子書籍サービス」「大人向けのイベント」「ブックリサイクル（不用本の市民への譲渡）」「ホームページの見やすさ」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「障害者サービス」が、その他の利用頻度の人に比べて高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

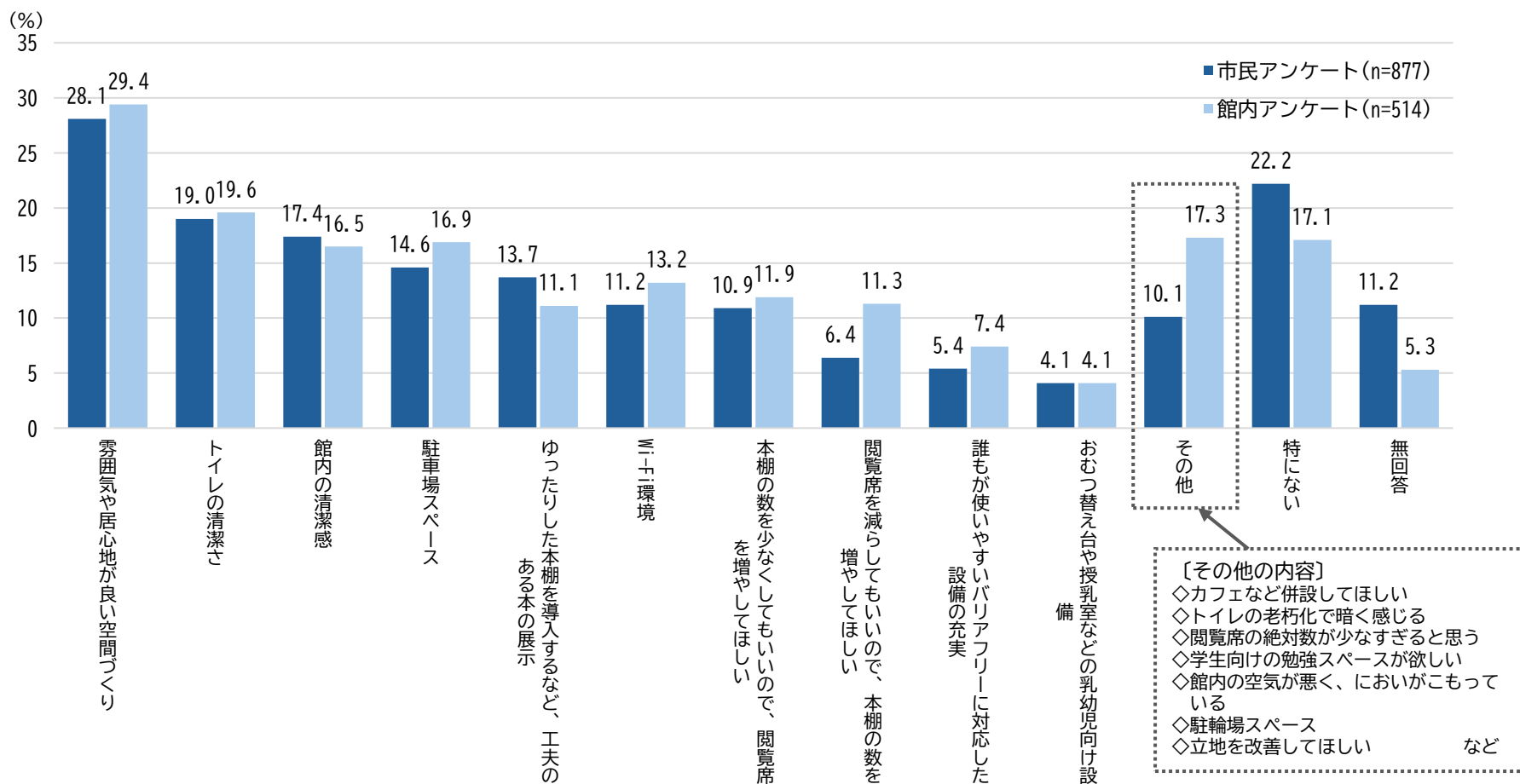
問18-1 具体的な内容

《具体的に充実してほしい内容》

項目	意見数	具体的な内容（抜粋）
本の数	404	新刊（入荷のスピードを速くしてほしい）、専門書・技術書、洋書、雑誌数の増加、人気のある本、シリーズ物は全巻揃えてほしい、児童書、絵本 など
本の検索のしやすさ	136	検索機の台数の増加、タイトルが正確にわからなくても検索できるようにしてほしい、新着図書を検索ができるように、検索後の探し方が難しい など
貸出期間や貸出冊数	149	予約件数・貸出冊数の増加（15～20冊）、貸出期間の延長（3週間～1か月）、貸出時期による柔軟な対応（年末年始は期間を延長する、など） など
開館時間	10	開館時間の延長（朝9時から、夜21時頃まで）、仕事帰りに寄れる時間の開館、土日祝日の開館時間の延長、遅くまで延長している日を増やす（週1回から週2回に） など
電子書籍サービス	114	対象書籍の増加、一部閲覧を可能にする、専門書の充実、学習教材の充実、洋書の充実、電子書籍サービスを知らない人が多いのもっとPRをしてほしい など
大人向けのイベント	93	読書会の開催、ブックトーク、本に関するワークショップ(修理、和装本など)の開催、著者を講師に招いた講演・講座、朗読会、図書館業務の紹介、職員のオススメ本の紹介 など
子ども向けのイベント	67	小学生向けイベントの充実（乳幼児・幼児向けが多い）、子ども同士が交流できるイベント、仕事体験などの活動、親子で参加できるイベント、ミニコンサート、図書館での宝探し など
窓口対応	48	障害者サービスの周知、話しかけやすい雰囲気づくり など
ブックリサイクル	52	開催回数の増加、開催についての周知（専用のアプリや通知できるようなシステムなど）、開催時間の拡大（仕事帰りにも寄れる時間の開催）、譲渡の手順の簡単化 など
ホームページの見やすさ	114	イベント情報などの情報発信の工夫、予約がわかりにくい（トップページからの遷移がわかりにくい）、メニューの整理（情報量が多い）、新刊お知らせメールの充実、貸出履歴の閲覧 など
開館日	47	休館日の廃止、各館で休館日をずらす、休館日でも予約本を受け取れるようにしてほしい など
レファレンスサービス	23	レファレンスの体験企画の開催、専門職員の育成、レファレンスサービス時間の設定（他の業務で忙しそうで声をかけづらいので） など

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

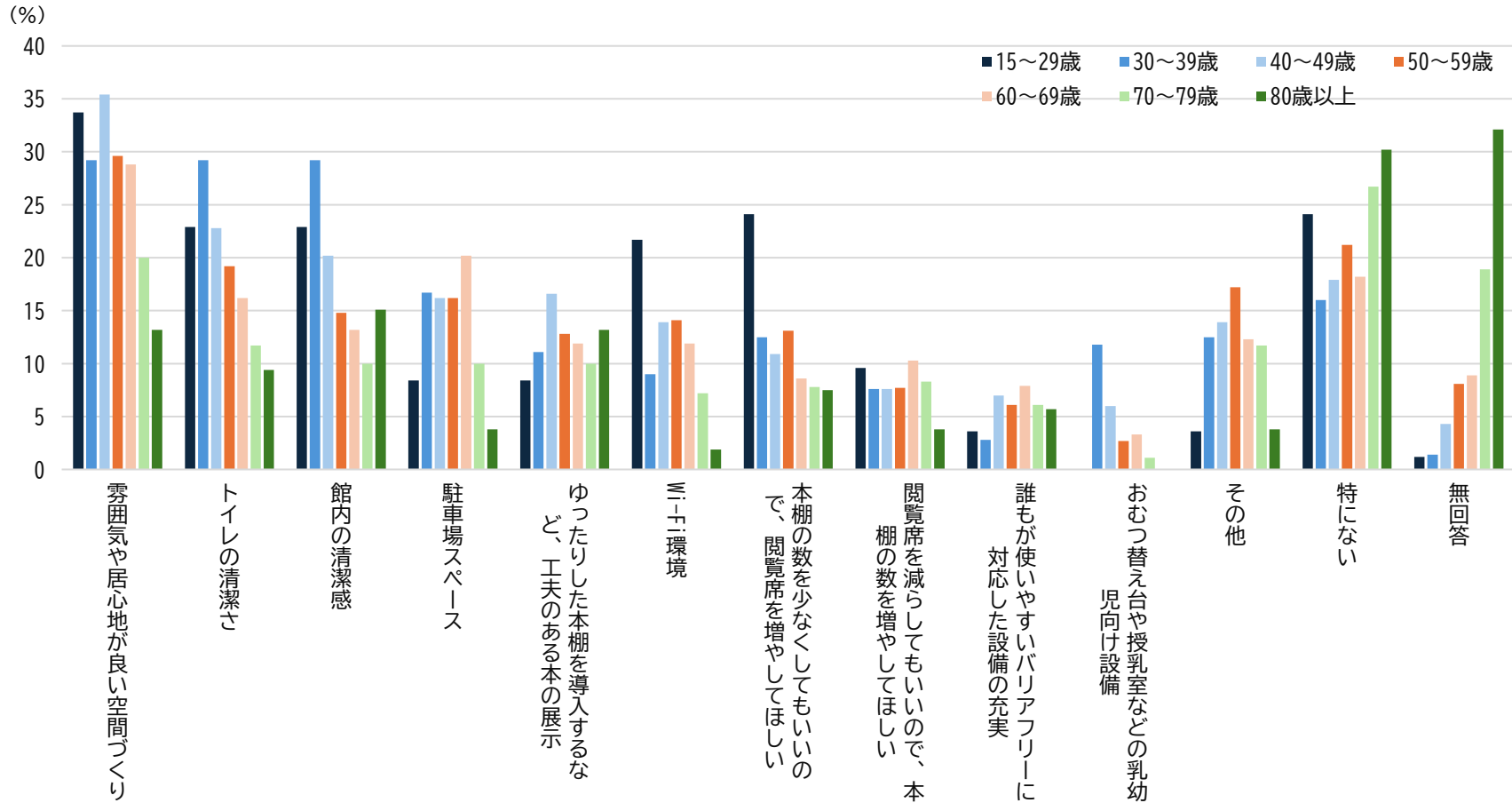
問19 京都市図書館の設備で優先して改善してほしいこと（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ



- 京都市図書館の設備で優先して改善してほしいことでは、市民アンケート・館内アンケートともに「雰囲気や居心地が良い空間づくり」が最も高く、次いで「トイレの清潔さ」となっています。
- 館内アンケートでは、「閲覧席を減らしてもいいので、本棚の数を増やしてほしい」で、市民アンケートに比べて高くなっています。

問19 京都市図書館の設備で優先して改善してほしいこと（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

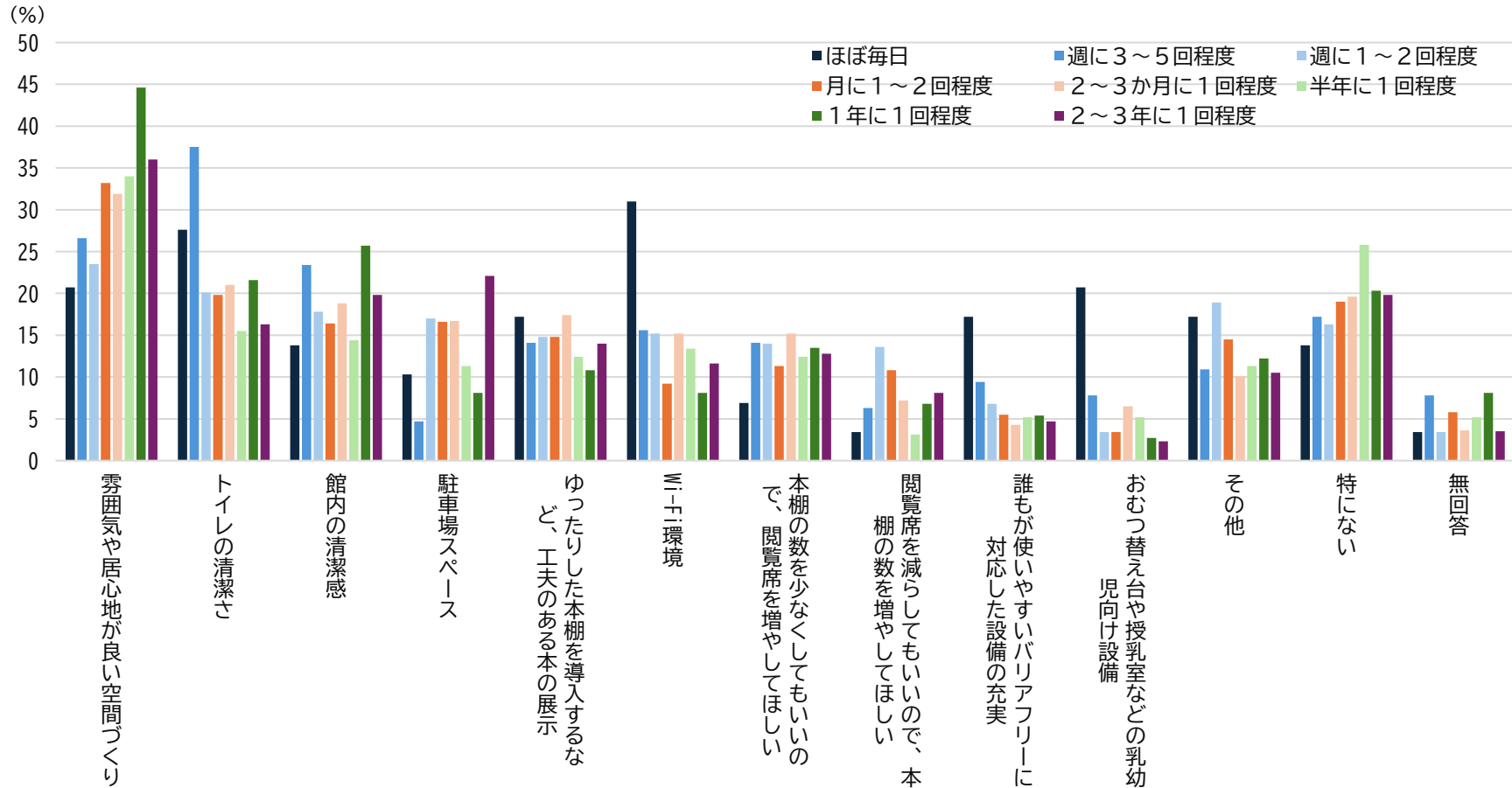
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「雰囲気や居心地が良い空間づくり」や「トイレの清潔さ」「館内の清潔感」「Wi-Fi環境」「本棚の数を少なくしてもいいので、閲覧席を増やしてほしい」などが高い傾向がみられます。
- 15～29歳では「Wi-Fi環境」や「本棚の数を少なくしてもいいので、閲覧席を増やしてほしい」が、他の年代に比べて突出して高くなっています。
- また、30～40歳代では「おむつ替え台や授乳室などの乳幼児向け設備」がその他の年代に比べて高くなっています。

問19 京都市図書館の設備で優先して改善してほしいこと（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が少ないほど「雰囲気や居心地が良い空間づくり」が高く、概ね利用頻度が多いほど「トイレの清潔さ」や「ゆったりした本棚を導入するなど、工夫のある本の展示」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「Wi-Fi環境」や「誰もが使いやすいバリアフリーに対応した設備の充実」「おむつ替え台や授乳室などの乳幼児向け設備」が、その他の利用頻度の人に比べて高くなっています。

問19 京都市図書館の設備で優先して改善してほしいこと（複数回答可） ※京都市図書館の利用がある人のみ

《利用している図書館別クロス集計》

	n	良い空気や居心地が空気が澄みやすい	トイレの清潔さ	館内の清潔感	駐車場スペース	工夫のある本の展示	ゆったりとした本棚を導入するなど	本棚の数を少なくし、閲覧席を増やして	W i - f i 環境	閲覧席を減らして本の数を増やして	誰もが使いやすい対応した設備の充実	乳幼児向けの設備	その他	特になし	無回答
中央図書館	106	34.9	30.2	23.6	14.2	7.5	17.0	11.3	6.6	6.6	8.5	17.0	17.9	0.9	
右京中央図書館	127	27.6	22.0	17.3	5.5	14.2	13.4	12.6	7.1	5.5	4.7	10.2	24.4	7.1	
伏見中央図書館	69	42.0	29.0	29.0	15.9	11.6	26.1	14.5	10.1	10.1	10.1	17.4	8.7	2.9	
醍醐中央図書館	60	33.3	11.7	16.7	6.7	15.0	8.3	11.7	6.7	5.0	1.7	8.3	33.3	5.0	
北図書館	97	27.8	13.4	20.6	17.5	11.3	12.4	16.5	13.4	6.2	3.1	14.4	16.5	9.3	
左京図書館	85	42.4	16.5	11.8	25.9	17.6	15.3	10.6	10.6	10.6	4.7	15.3	14.1	2.4	
岩倉図書館	78	30.8	16.7	7.7	34.6	14.1	9.0	19.2	15.4	-	3.8	11.5	16.7	2.6	
東山図書館	19	26.3	10.5	15.8	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-	-	15.8	21.1	10.5	
山科図書館	55	29.1	30.9	23.6	14.5	20.0	14.5	5.5	3.6	12.7	5.5	18.2	12.7	7.3	
下京図書館	43	32.6	23.3	14.0	4.7	16.3	9.3	16.3	-	2.3	2.3	18.6	25.6	7.0	
南図書館	38	21.1	15.8	15.8	13.2	13.2	5.3	10.5	10.5	10.5	7.9	26.3	21.1	-	
吉祥院図書館	26	42.3	23.1	3.8	15.4	26.9	3.8	11.5	3.8	7.7	3.8	7.7	15.4	-	
久世ふれあいセンター図書館	20	25.0	15.0	10.0	15.0	20.0	10.0	15.0	15.0	20.0	5.0	10.0	15.0	5.0	
西京図書館	29	44.8	20.7	37.9	17.2	20.7	17.2	10.3	3.4	6.9	-	17.2	6.9	6.9	
洛西図書館	55	29.1	18.2	21.8	20.0	12.7	16.4	14.5	9.1	5.5	1.8	9.1	20.0	9.1	
向島図書館	22	31.8	18.2	31.8	9.1	13.6	9.1	4.5	27.3	-	-	13.6	13.6	-	
醍醐図書館	13	38.5	23.1	15.4	-	15.4	15.4	15.4	-	7.7	-	7.7	30.8	7.7	
久我のもり図書館	64	17.2	10.9	6.3	21.9	12.5	3.1	12.5	17.2	1.6	3.1	7.8	29.7	9.4	
こどもみらい館子育て図書館	25	24.0	20.0	16.0	8.0	28.0	12.0	12.0	12.0	4.0	4.0	32.0	12.0	-	
コミュニティープラザ深草図書館	14	14.3	50.0	14.3	21.4	7.1	7.1	-	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	-	
移動図書館	13	-	38.5	38.5	15.4	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-	15.4	15.4	23.1	
京都府立図書館	16	25.0	31.3	25.0	6.3	25.0	12.5	18.8	6.3	-	-	12.5	25.0	-	
京都市外の公共図書館	27	40.7	22.2	22.2	7.4	18.5	14.8	-	7.4	-	11.1	14.8	18.5	3.7	
その他の図書館	32	31.3	18.8	12.5	15.6	18.8	12.5	18.8	15.6	6.3	3.1	12.5	18.8	-	

➤ 利用している図書館別にみると、岩倉図書館と久我のもり図書館では「駐車場スペース」が最も高く、こどもみらい館子育て図書館では「ゆったりした本棚を導入するなど、工夫のある本の展示」が最も高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問19-1 具体的な内容

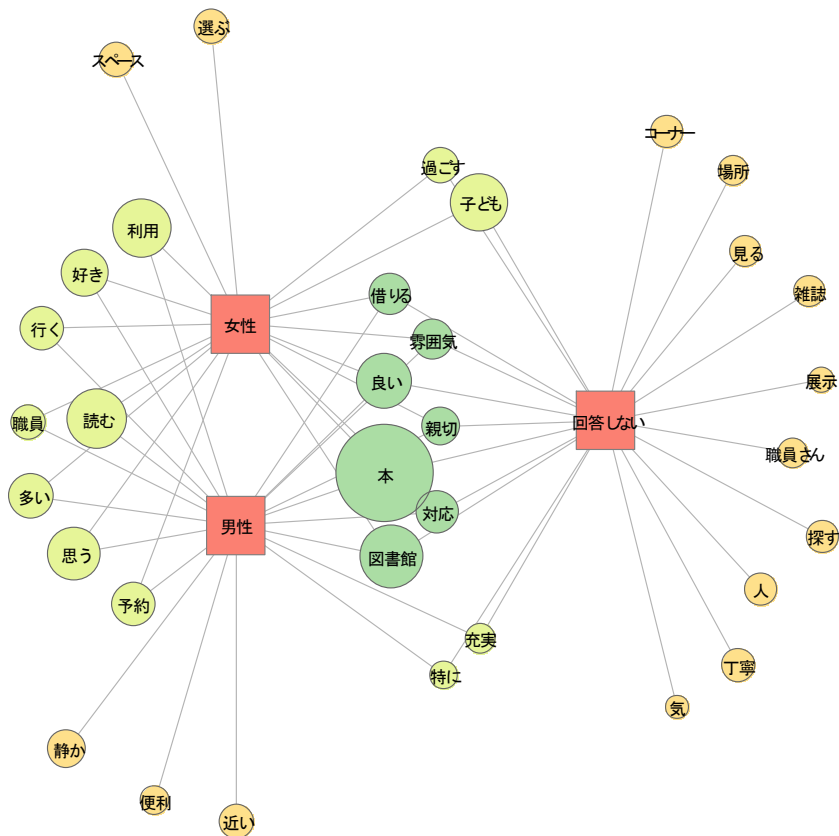
《具体的に改善してほしい内容》

項目	意見数	具体的な内容（抜粋）
雰囲気や居心地が良い空間づくり	244	カフェの併設、ソファの設置、子どもの読み聞かせとのスペースの区分、ゆったりとした空間の確保、本棚と机・椅子の配置の工夫、閲覧席（椅子だけでも）の増加、BGMをかける など
トイレの清潔さ	158	洋式トイレの増設、空調設備の増設（におい対策）、老朽化トイレの改修、見回りや清掃頻度の増加、明るくしてほしい、子どもが利用しやすいようにしてほしい、シャワートイレ機能の改善 など
館内の清潔感	110	建物が古い・暗い、換気、床や壁の劣化、内装のリフォーム、カーペットの交換、観光都市として目玉になる図書館が1つあると良いと思う（デザイン重視の建築物など） など
駐車場スペース	139	無料時間の確保、駐車可能台数の増加、雨避けポートの拡充、近隣のコインパーキングとの連携、余裕のあるスペースの確保 など
工夫のある本の展示	90	ゆとりあるレイアウトの展示（出し入れがしにくい）、本棚の間隔を広げる、テーマに沿った展示の工夫、司書のPOPの展示、子どもや車いすの人がとりやすい高さでの展示 など
閲覧席を増やしてほしい	111	座席の増加、新聞の閲覧席と本の閲覧席の分離、自習スペースの確保、ソファの設置、パソコン席の増加 など
W i - f i 環境	94	安全なフリーw i - f iの解放、スマホでの検索ができやすいようにしてほしい、館内でも電子書籍が読めるようにしてほしい、スマホ図書カードが出しにくい など
本棚の数を増やしてほしい	60	専門書を増やしてほしい、新刊本を増やしてほしい、子ども向けの絵本を増やしてほしい、できる限りたくさんの本を手にとれるようにしてほしい など
誰もが使いやすいバリアフリーに対応した設備の充実	45	ステップにあがらなくても本が取れる高さの書棚が良い、車いすが通りやすい通路の幅の確保、拡大読書器などの機器の充実、ジェンダーに配慮したトイレの設置 など
おむつ替え台や授乳室などの乳幼児向け設備	38	授乳スペースの設置、男性トイレへのおむつ替え台の設置、定期清掃の徹底、子ども向けトイレの設置（子ども用の便座の設置） など

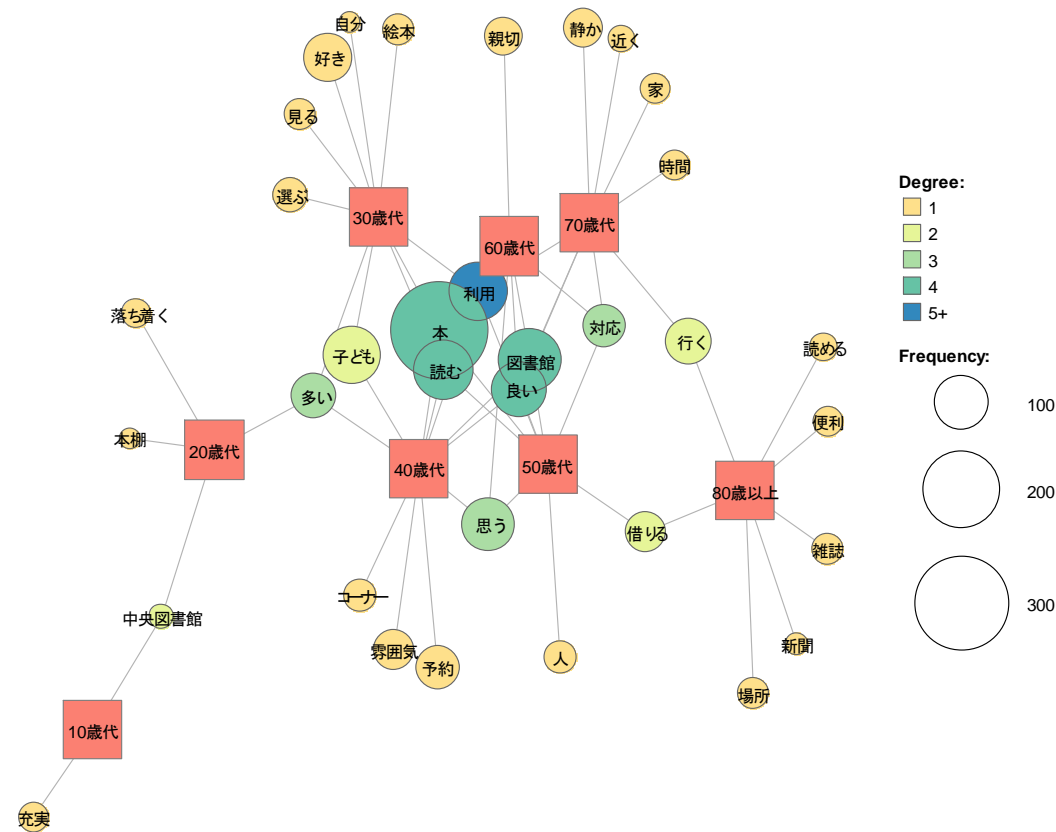
問20 よく利用している京都市図書館の良いところや好きなところ、好きな過ごし方

《テキストマイニング分析》

【性別】



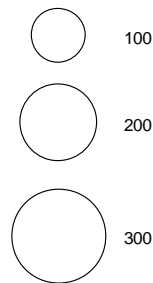
【年代別】



Degree:



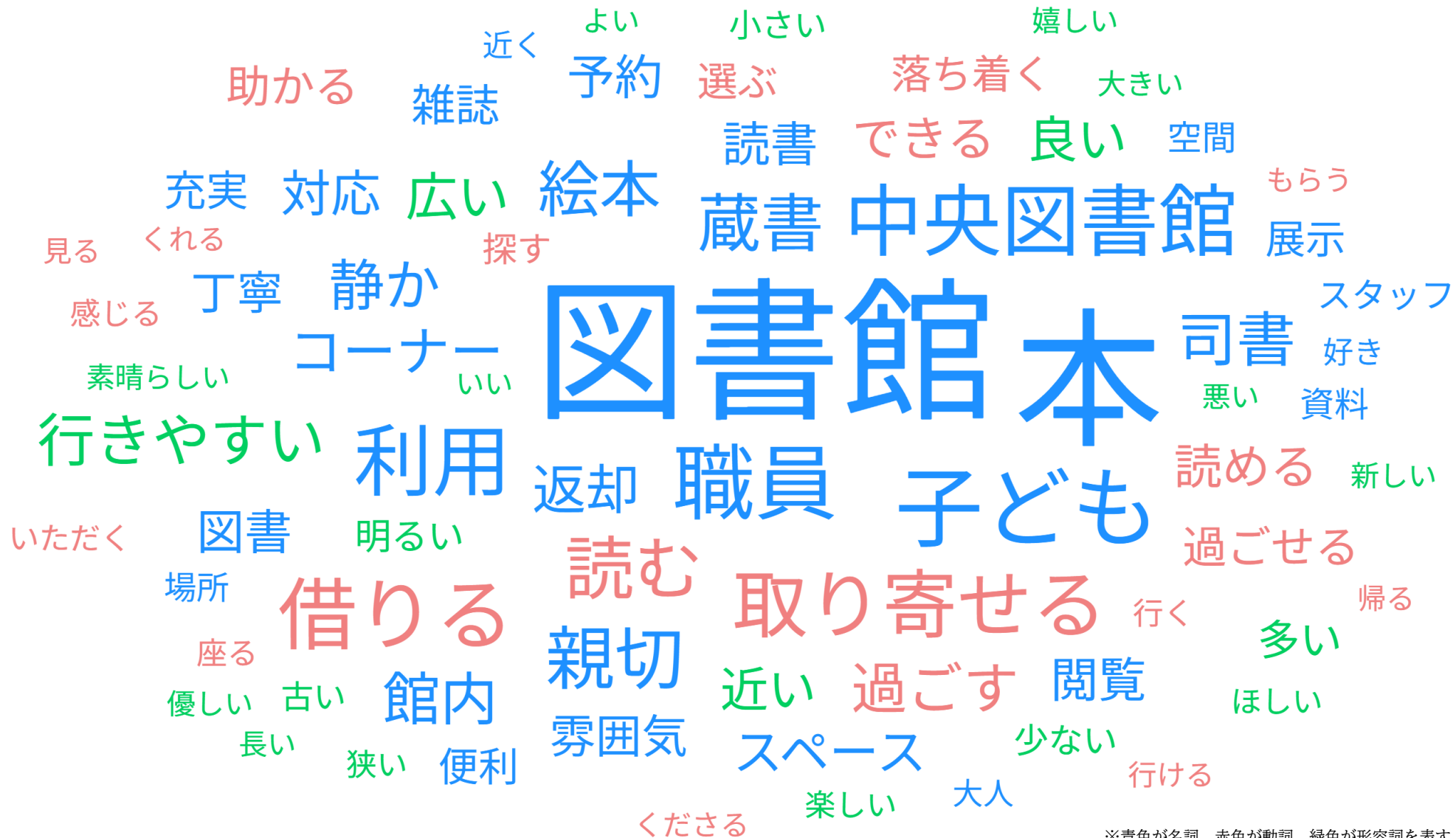
Frequency:



- 性別にみると、男性では「静か」「便利」「近い」、女性では「スペース」「子ども」「過ごす」などの語句が特徴的にみられ、男性では利便性、女性では子どもと一緒にの利用についての回答がみられます。
- 年代別にみると、10～20歳代では蔵書の充実、30～40歳代では子どもと一緒にの利用や蔵書の予約に関する事、50～70歳代ではスタッフの対応に関する事、80歳以上では雑誌や新聞を読んで過ごすことに関する意見が特徴的にみられます。

問20 よく利用している京都市図書館の良いところや好きなところ、好きな過ごし方

《ワードクラウド》



※青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表す。

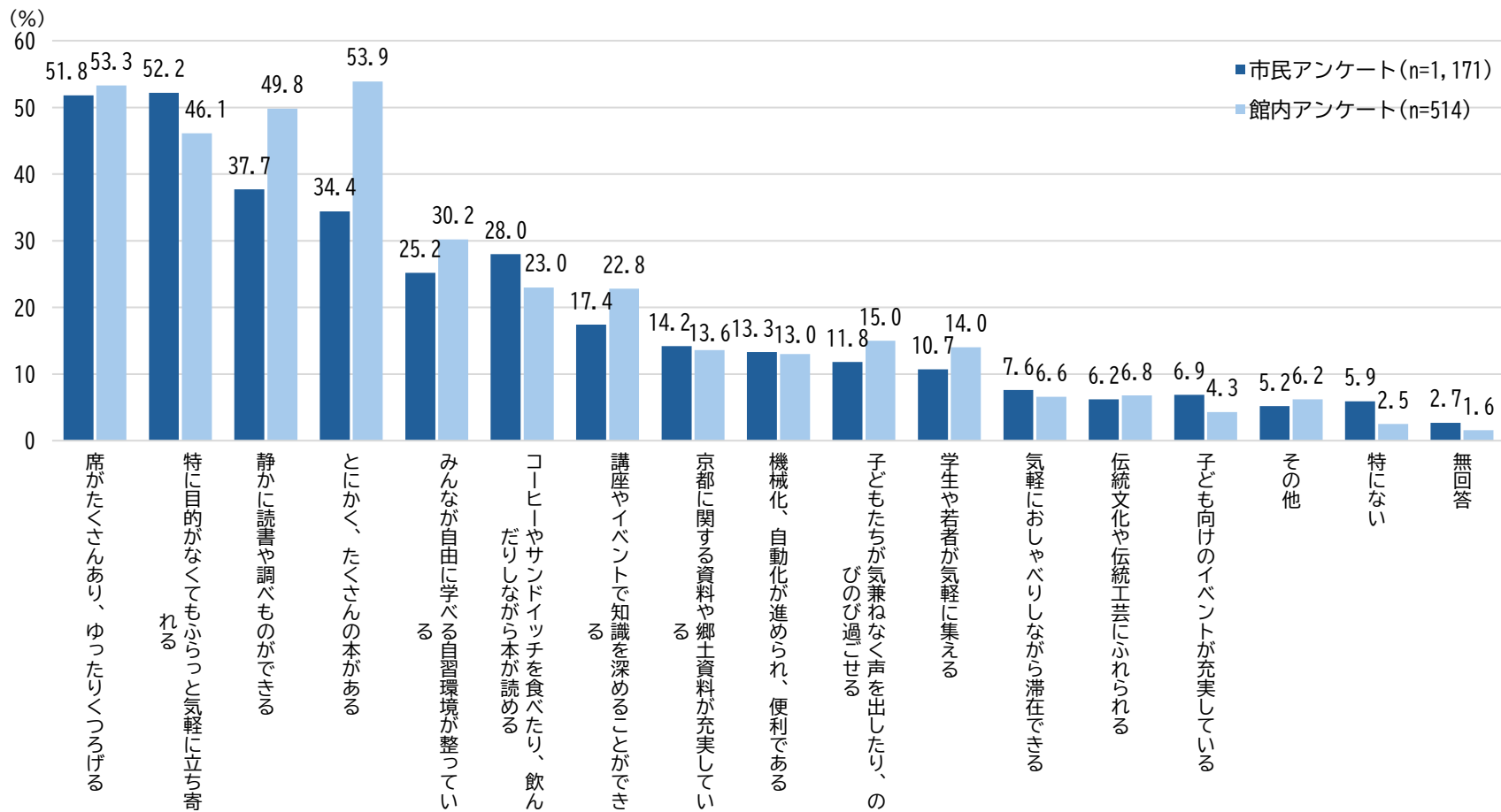
Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問20 よく利用している京都市図書館の良いところや好きなところ、好きな過ごし方

《主な意見（抜粋）》

- 狭いながらも配架や本の展示などで様々な工夫がされていて、いろんな発見ができるのが楽しい。
- スタッフが親切で、丁寧に対応してくれる。
- 施設は古いが、掃除が行き届いている。
- アットホームな「ザ・街の図書館」といった感じが好きです。
- いつも変わらないので、疲れている時など、自分のペースを取り戻し、リセットできる大切な場所。
- 自転車で行ける距離（往復30分）にあるので、とっても助かります。
- こどもみらい館の子育て図書館は、配架がテーマ毎でとてもわかりやすい。選ぶのにストレスがなく、わくわく選べる。
- テラススペースがあり、植物や風を感じてゆったりできるのが、私のお気に入りです。
- 絵馬のように他の人のおすすめが飾られていて、司書がコメントを付けて貼られているのが大好きです。
- ゆったり本に囲まれている雰囲気が好きです。
- 他の図書館や府立図書館の本も予約して借りられるのが便利。
- 右京中央図書館の入っているサンサ右京の屋上が最高。図書館で本を借りて、屋上のベンチで読むのが楽しみです。
- 外の緑が見える窓際の座り心地の良い椅子で、読書したり、景色を眺めたりして過ごし、最後に借りて帰るのが楽しみです。
- 京都市にはたくさんの図書館があり、それぞれの館の個性を楽しんだり、蔵書数が多いのでとても便利。
- 山科図書館は本の提案が良い。提案された本を時々借りて楽しんでいます。
- 吉祥院図書館は、春や秋になると芝生のあるテラスで読書するのがとても心地よかったです。貧困家庭でもあったので、心の拠り所でもありました。
- 他都市の図書館も利用した経験から言えることは、京都市の図書館司書は皆さん素晴らしいということです。他都市とは比較にならないほどです。
- 京都市図書館は、静かで落ち着いているところが何よりいいところです。

問21 行ってみたい図書館の内容（複数回答可）

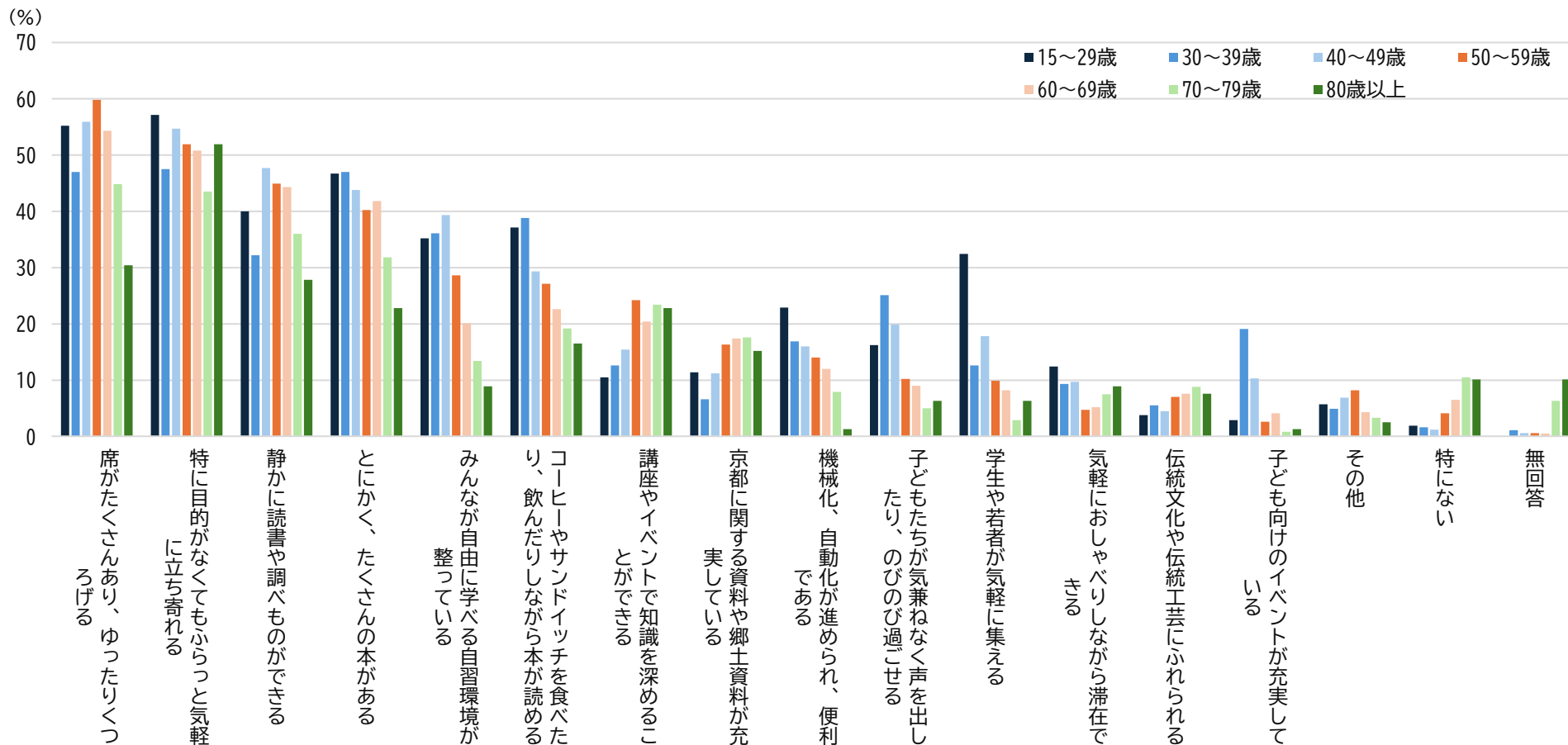


- ▶ 行ってみたい図書館の内容では、市民アンケートでは「特に目的がなくてもふらっと気軽に立ち寄れる」、館内アンケートでは「とにかく、たくさんの本がある」が最も高くなっています。
- ▶ 館内アンケートでは、「静かに読書や調べものができる」や「とにかく、たくさんの本がある」「みんなが自由に学べる自習環境が整っている」などで市民アンケートに比べて高く、市民アンケートでは「特に目的がなくてもふらっと気軽に立ち寄れる」や「コーヒーやサンドイッチを食べたり、飲んだりしながら本が読める」で館内アンケートに比べて高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問21 行ってみたい図書館の内容（複数回答可）

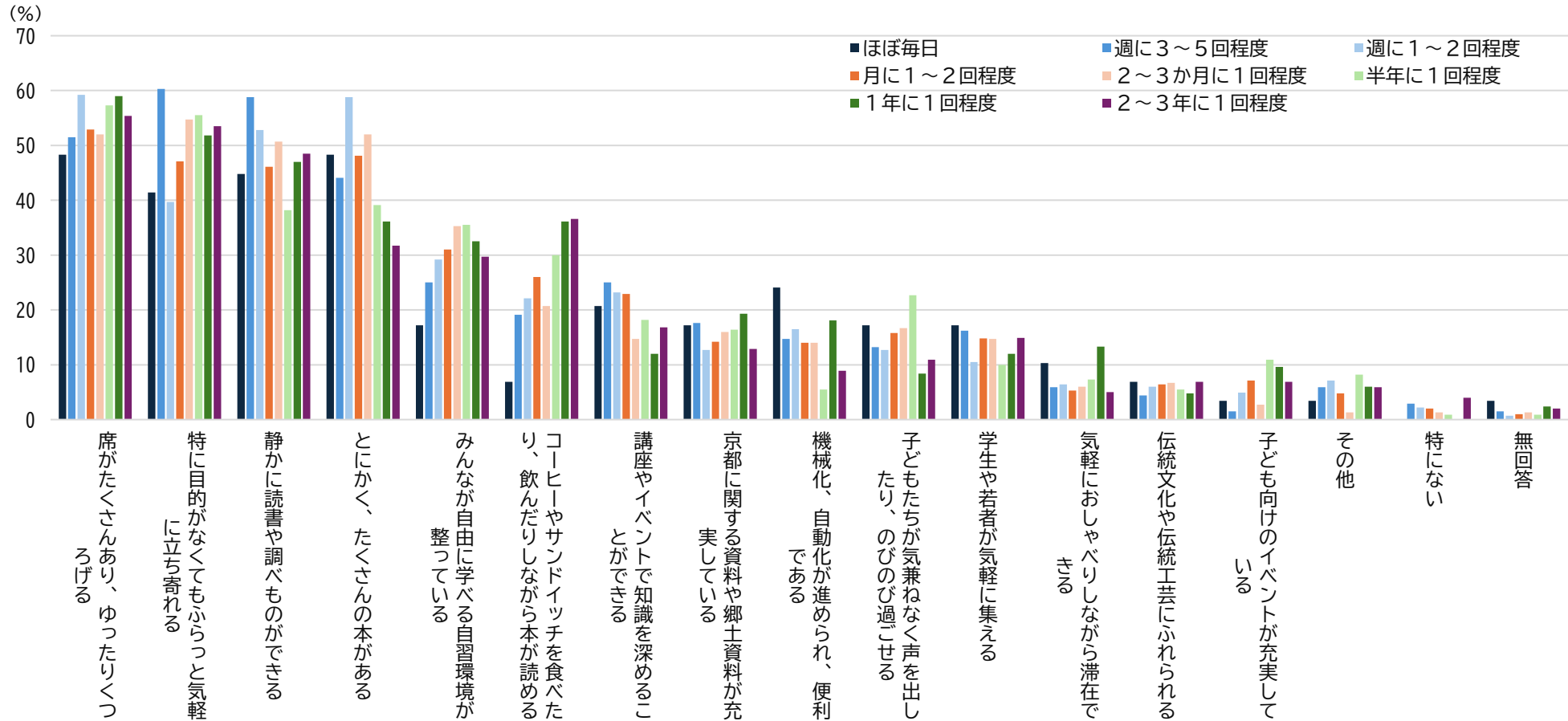
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「とにかく、たくさんの本がある」や「コーヒーやサンドイッチを食べたり、飲んだりしながら本が読める」などが高くなり、年代が高くなるほど「講座やイベントで知識を深めることができる」や「京都に関する資料や郷土資料が充実している」が高くなる傾向がみられます。
- 15～29歳では「学生や若者が気軽に集える」が、他の年代に比べて突出して高くなっています。
- また、30～40歳代では「子どもたちが気兼ねなく声を出したり、のびのび過ごせる」や「子ども向けのイベントが充実している」などが、その他の年代に比べて高くなっています。

問21 行ってみたい図書館の内容（複数回答可）

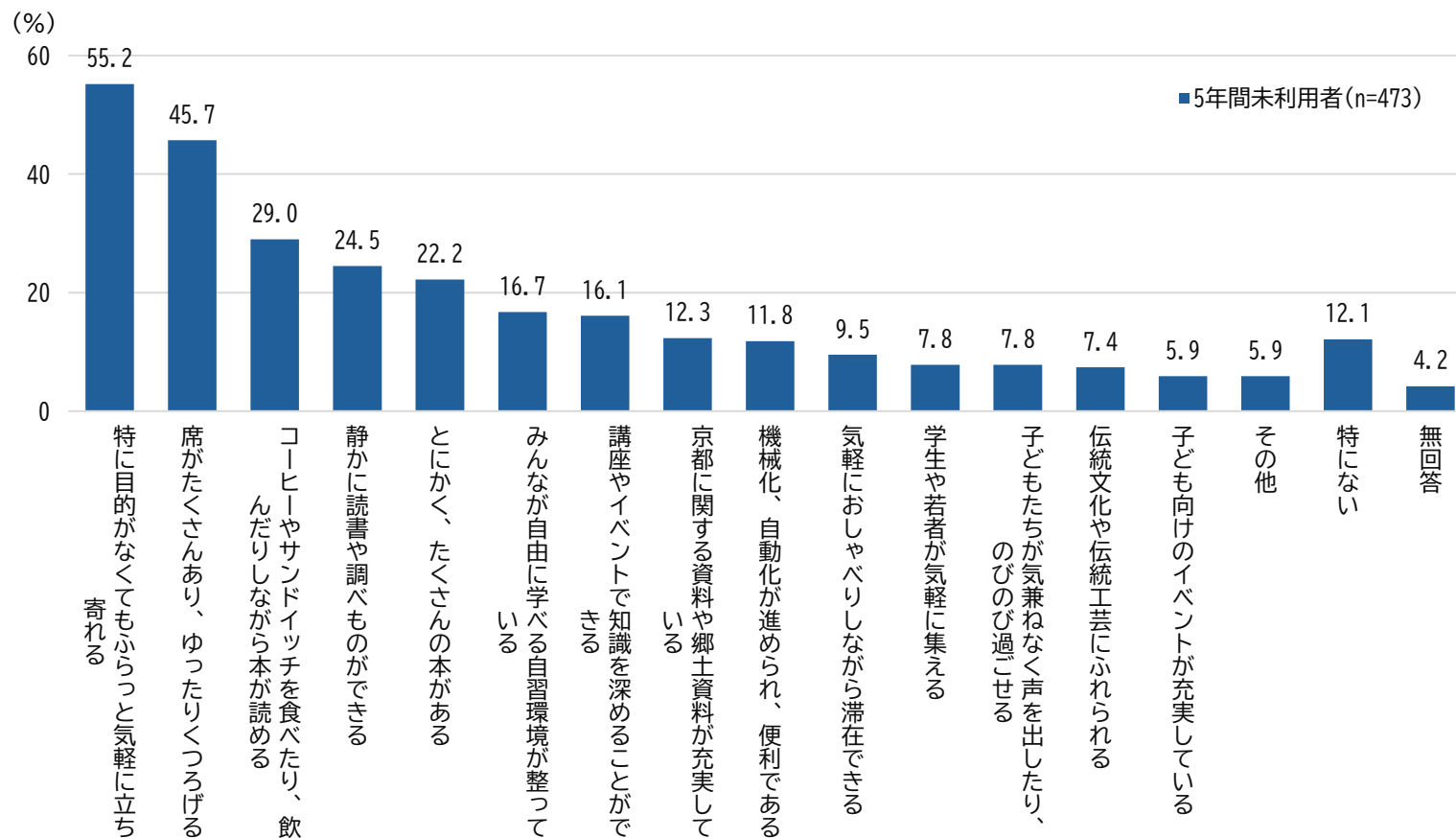
《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が少ないほど「特に目的がなくてもふらっと気軽に立ち寄れる」や「コーヒーやサンドイッチを食べたり、飲んだりしながら本が読める」が高く、概ね利用頻度が多いほど「静かに読書や調べものができる」や「とにかく、たくさんの本がある」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「機械化、自動化が進められ、便利である」が、その他の利用頻度の人と比べて高くなっています。

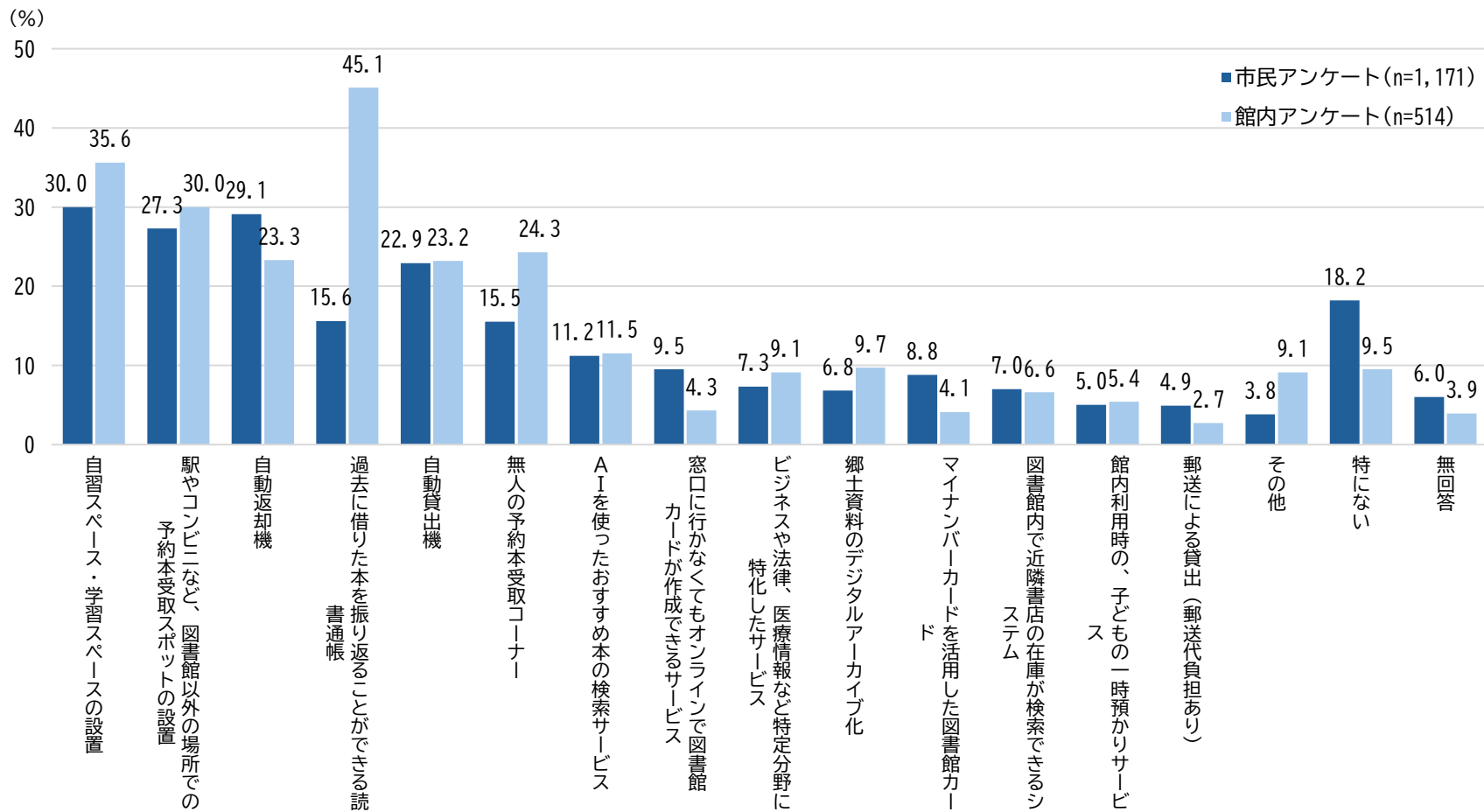
Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問21 行ってみたい図書館の内容（複数回答可） ※この5年間は図書館を利用していない人のみ



- この5年間は図書館を利用していないと回答した人では、「特に目的がなくてもふらっと気軽に立ち寄れる」が最も高く、次いで「席がたくさんあり、ゆったりくつろげる」「コーヒーやサンドイッチを食べたり、飲んだりしながら本が読める」の順となっています。

問22 図書館に新たに導入を検討してほしいサービス（複数回答可）

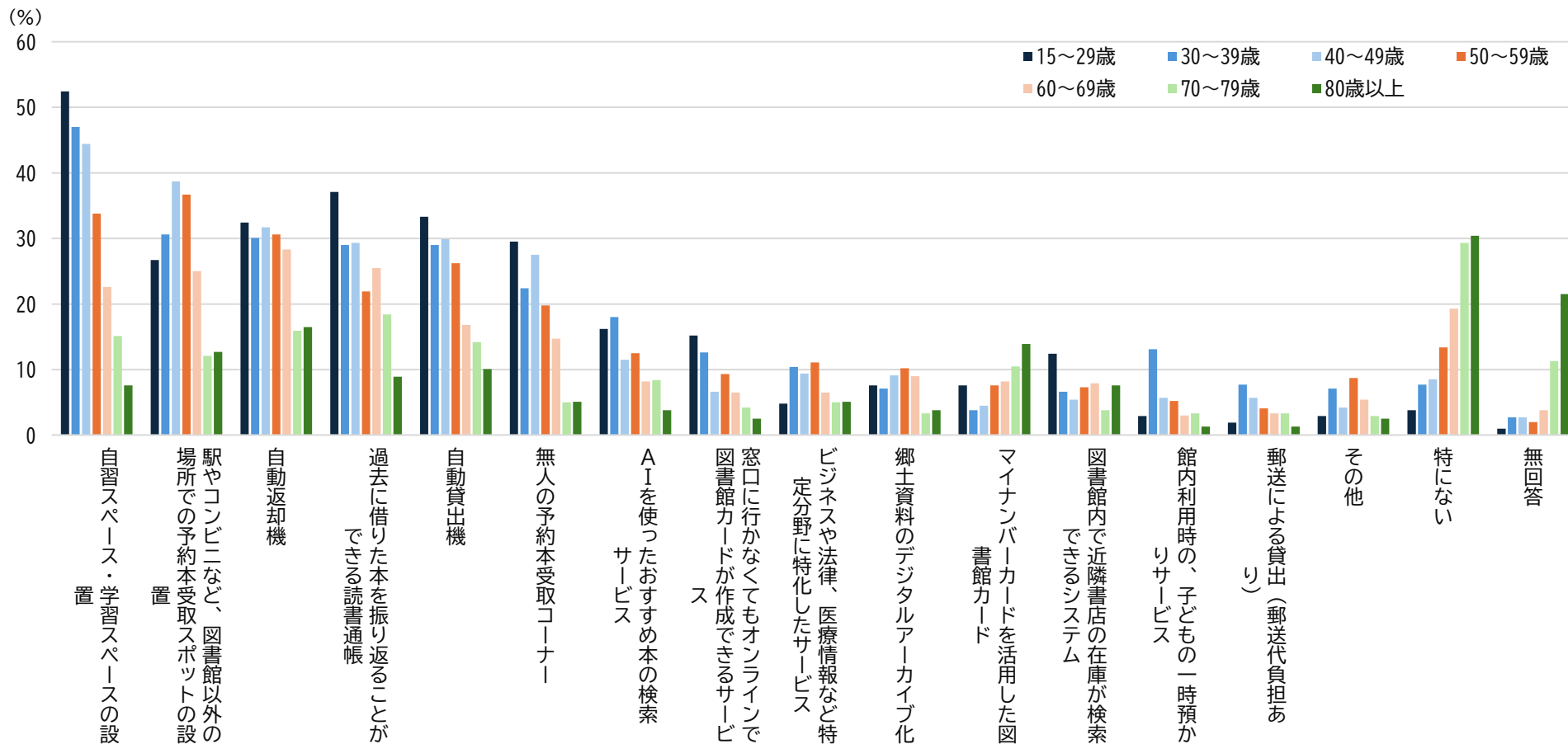


- 図書館に新たに導入を検討してほしいサービスでは、市民アンケートでは「自習スペース・学習スペースの設置」、館内アンケートでは「過去に借りた本を振り返ることができる読書通帳」が最も高くなっています。
- 館内アンケートでは、「自習スペース・学習スペースの設置」や「過去に借りた本を振り返ることができる読書通帳」「無人の予約本受取コーナー」などで市民アンケートに比べて高く、市民アンケートでは「自動返却機」や「窓口に行かなくてもオンラインで図書館カードが作成できるサービス」などで館内アンケートに比べて高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問22 図書館に新たに導入を検討してほしいサービス（複数回答可）

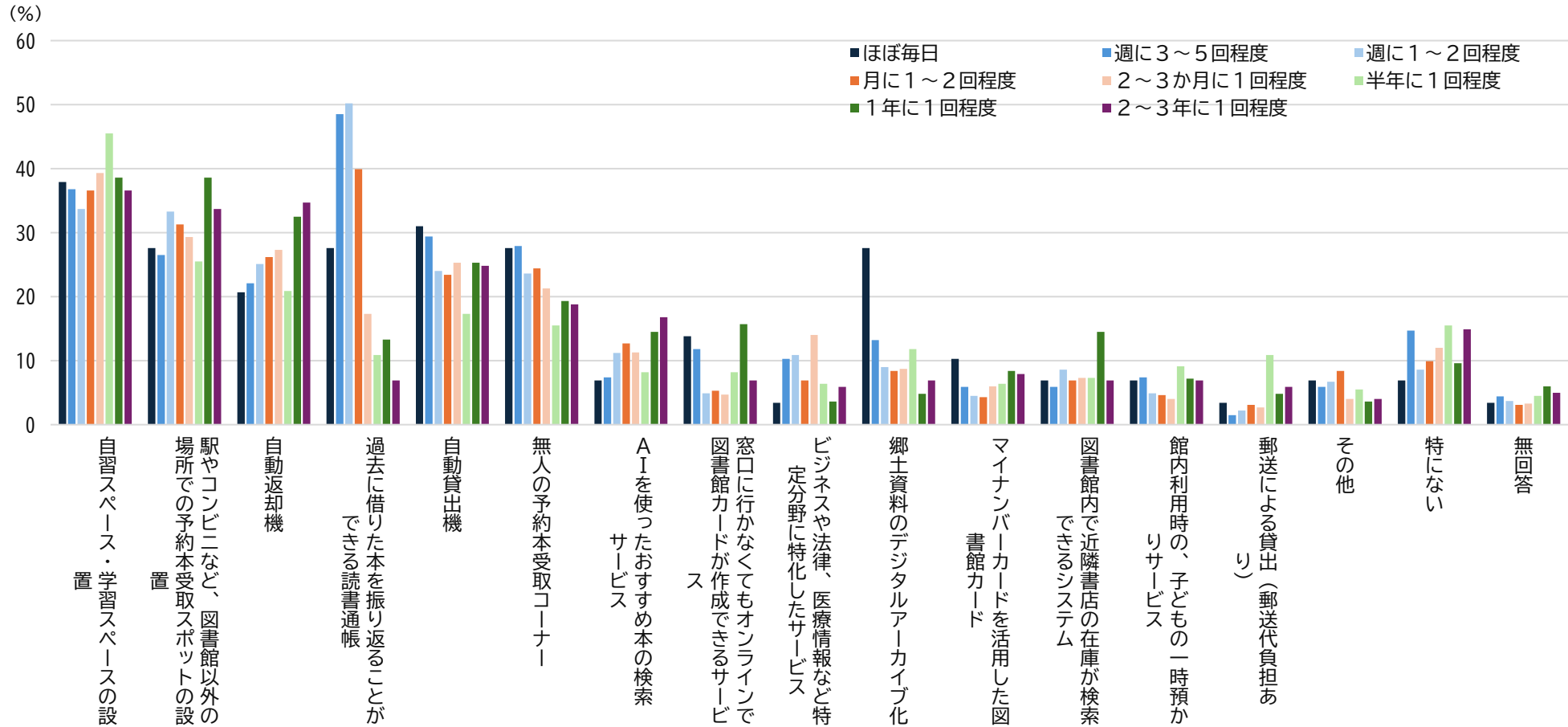
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「自習スペース・学習スペースの設置」や「自動貸出機」「無人の予約本受取コーナー」などが高くなり、概ね年代が高くなるほど「マイナンバーカードを活用した図書館カード」が高くなる傾向がみられます。
- 15～29歳では「過去に借りた本を振り返ることができる読書通帳」が、他の年代に比べて突出して高くなっています。
- また、40～50歳代では「駅やコンビニなど、図書館以外の場所での予約本受取スポットの設置」が、その他の年代に比べて高くなっています。

問22 図書館に新たに導入を検討してほしいサービス（複数回答可）

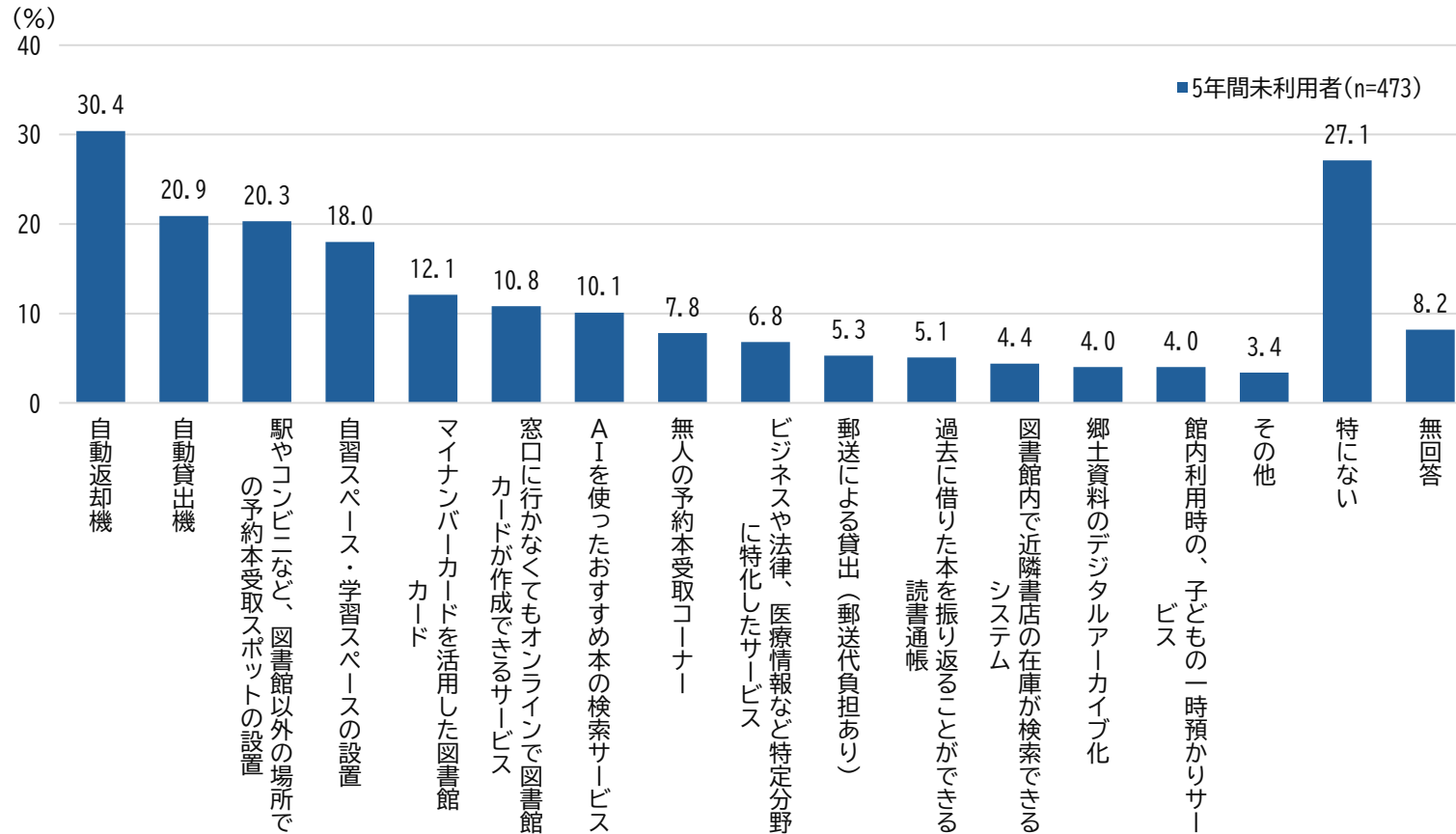
《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が少ないほど「自動返却機」や「AIを使ったおすすめ本の検索サービス」などが高く、概ね利用頻度が多いほど「自動貸出機」や「無人の予約本受取コーナー」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「郷土資料のデジタルアーカイブ化」が、その他の利用頻度の人に比べて高くなっています。

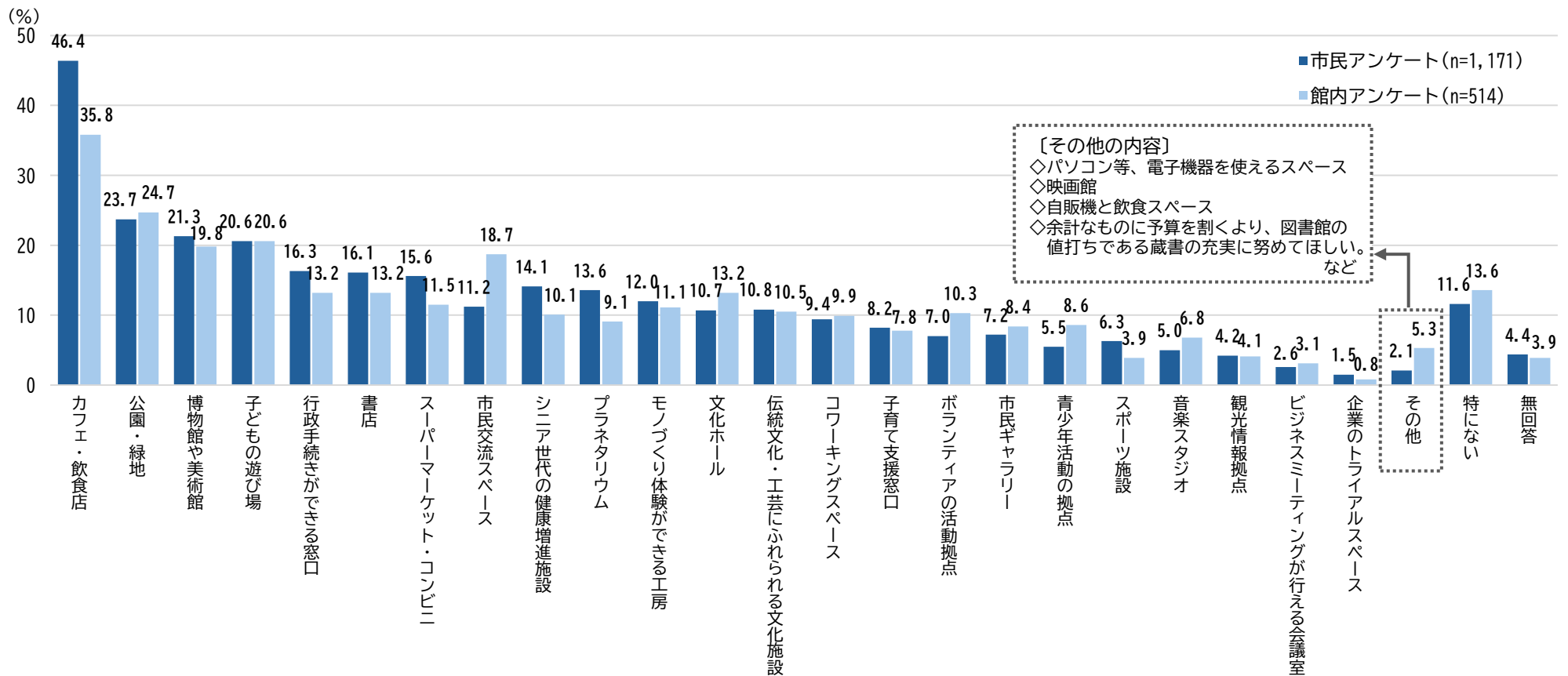
Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問22 図書館に新たに導入を検討してほしいサービス（複数回答可） ※この5年間は図書館を利用していない人のみ



- この5年間は図書館を利用していないと回答した人では、「自動返却機」が最も高く、次いで「自動貸出機」「駅やコンビニなど、図書館以外の場所での予約本受取スポットの設置」の順となっています。

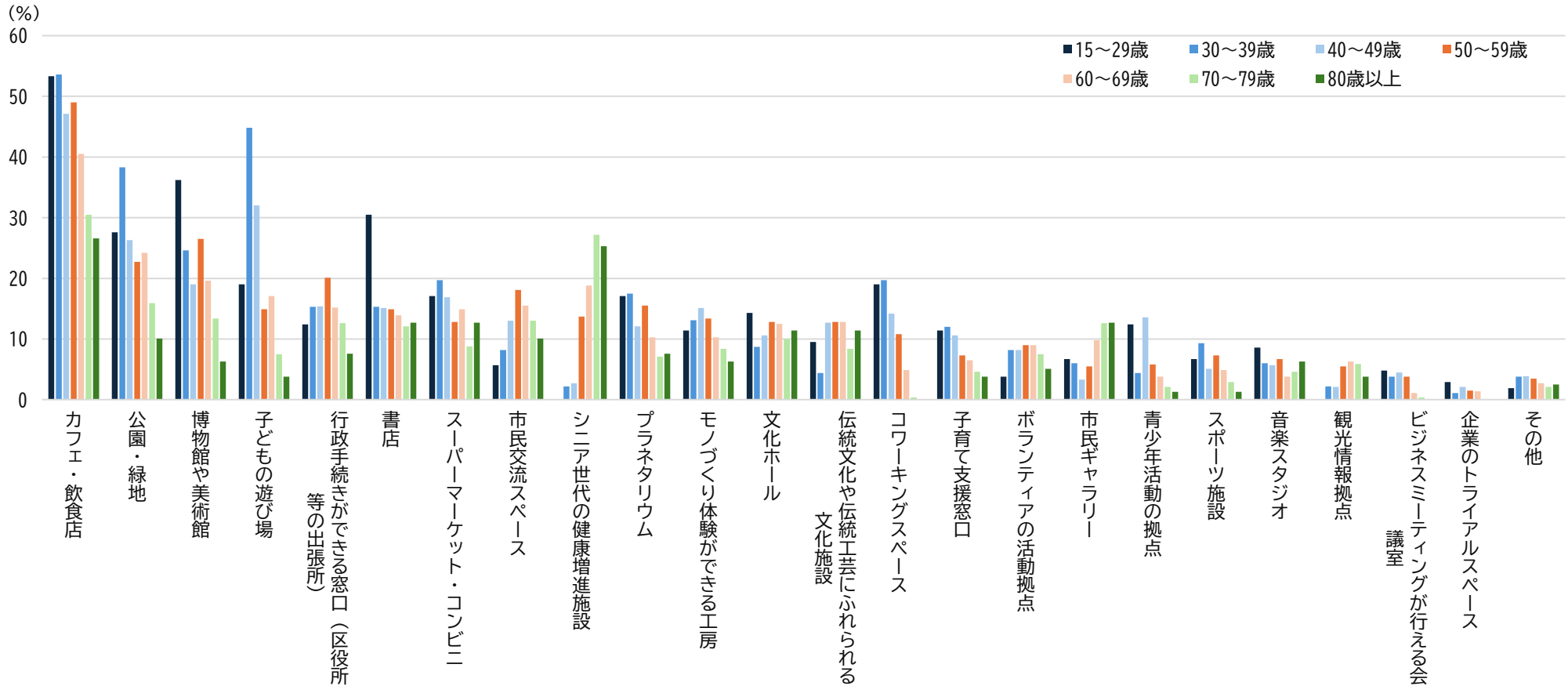
問23 複合化してほしい機能や施設（複数回答可）



- 複合化してほしい機能や施設では、市民アンケート・館内アンケートともに「カフェ・飲食店」が最も高く、次いで「公園・緑地」「博物館や美術館」「子どもの遊び場」などが高くなっています。
- 館内アンケートでは、「市民交流スペース」で市民アンケートに比べて大幅に高く、市民アンケートでは「カフェ・飲食店」で館内アンケートに比べて大幅に高くなっています。

問23 複合化してほしい機能や施設（複数回答可）

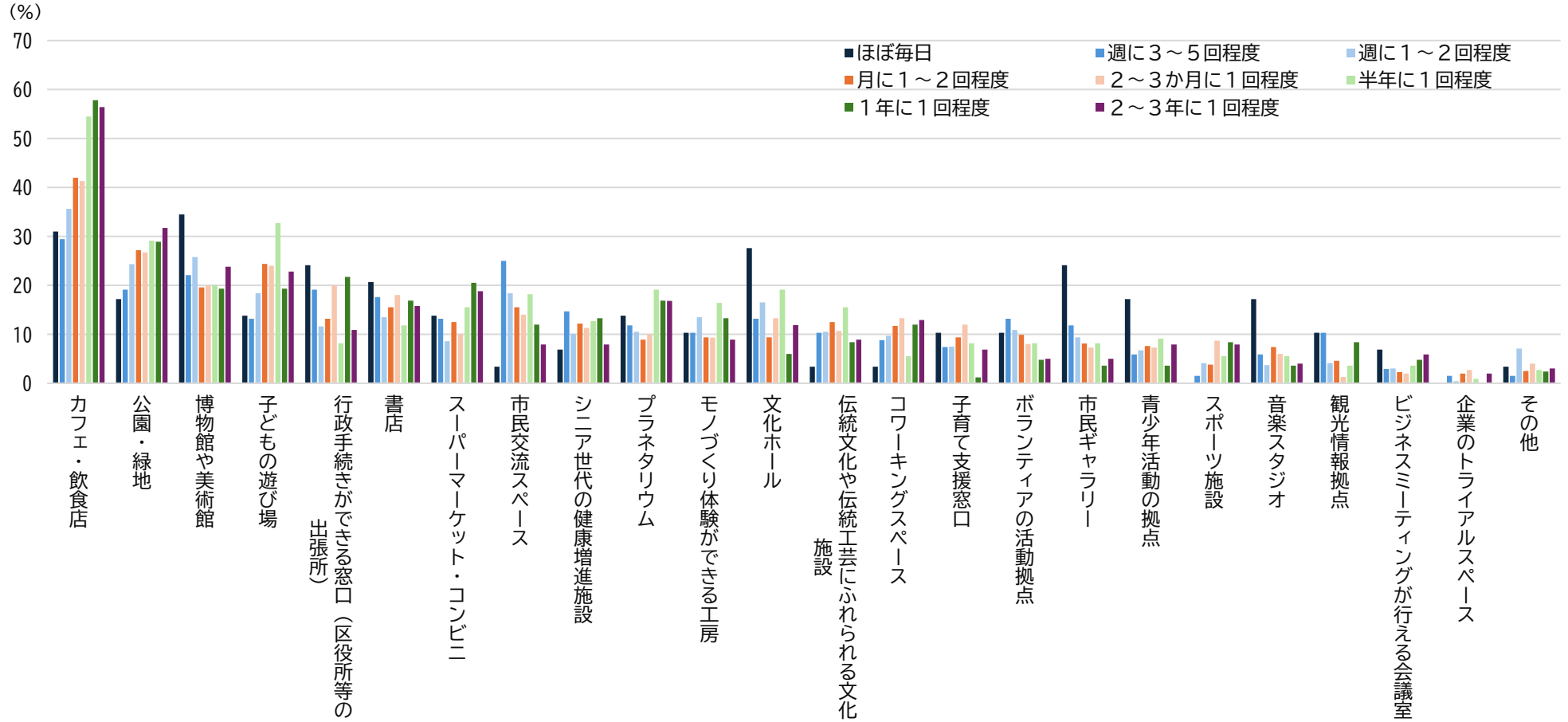
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「カフェ・飲食店」や「公園・緑地」「博物館や美術館」「コワーキングスペース」などが高くなり、概ね年代が高くなるほど「シニア世代の健康増進施設」や「市民ギャラリー」などが高くなる傾向がみられます。
- 15～29歳では「博物館や美術館」や「書店」が、他の年代に比べて突出して高くなっています。
- また、30～40歳代では「子どもの遊び場」が、その他の年代に比べて高くなっています。

問23 複合化してほしい機能や施設（複数回答可）

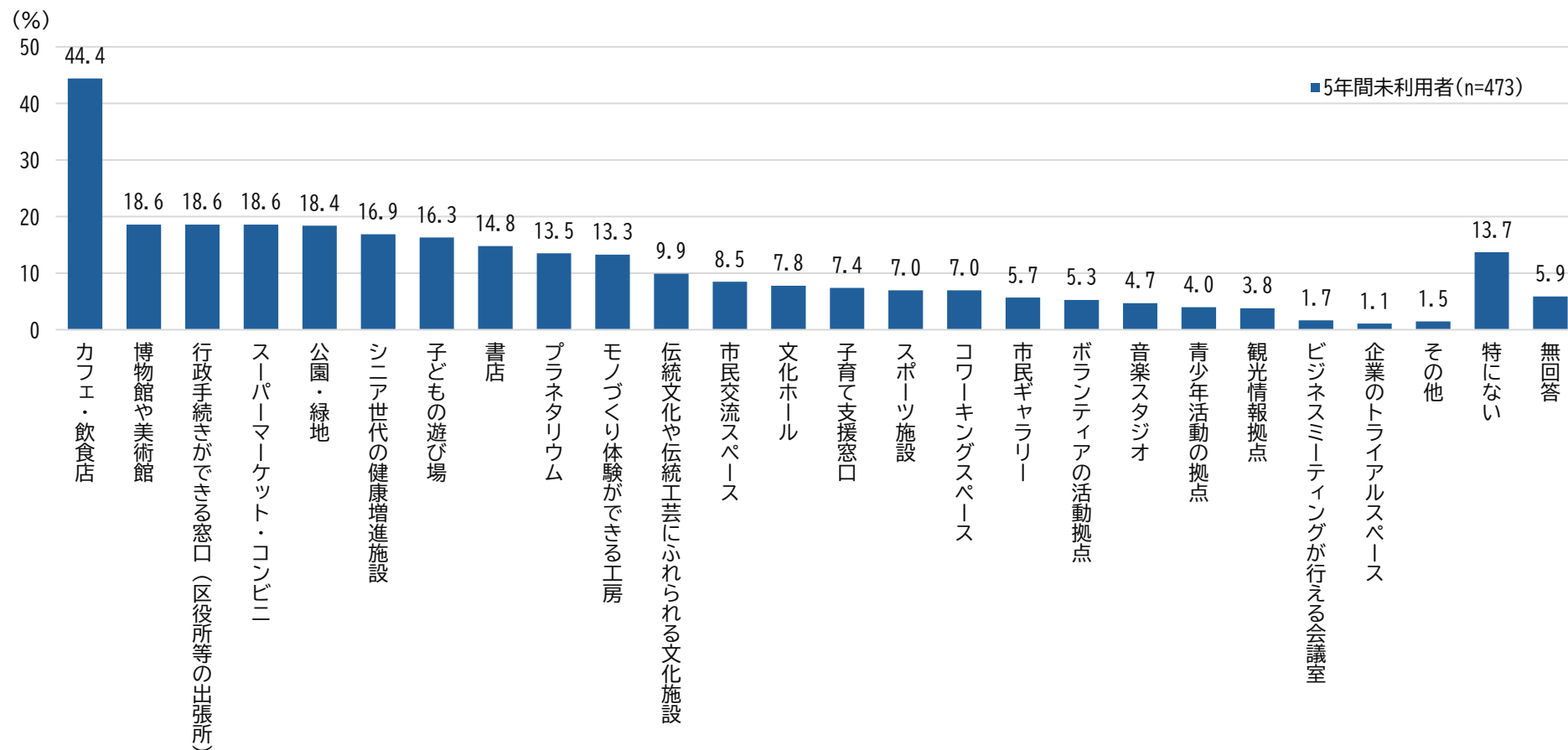
《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が少ないほど「カフェ・飲食店」や「公園・緑地」などが高く、概ね利用頻度が多いほど「博物館や美術館」や「行政手続きができる窓口（区役所等の出張所）」「書店」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「博物館や美術館」や「文化ホール」「市民ギャラリー」「青少年活動の拠点」「音楽スタジオ」などが、その他の利用頻度の人に比べて高くなっています。

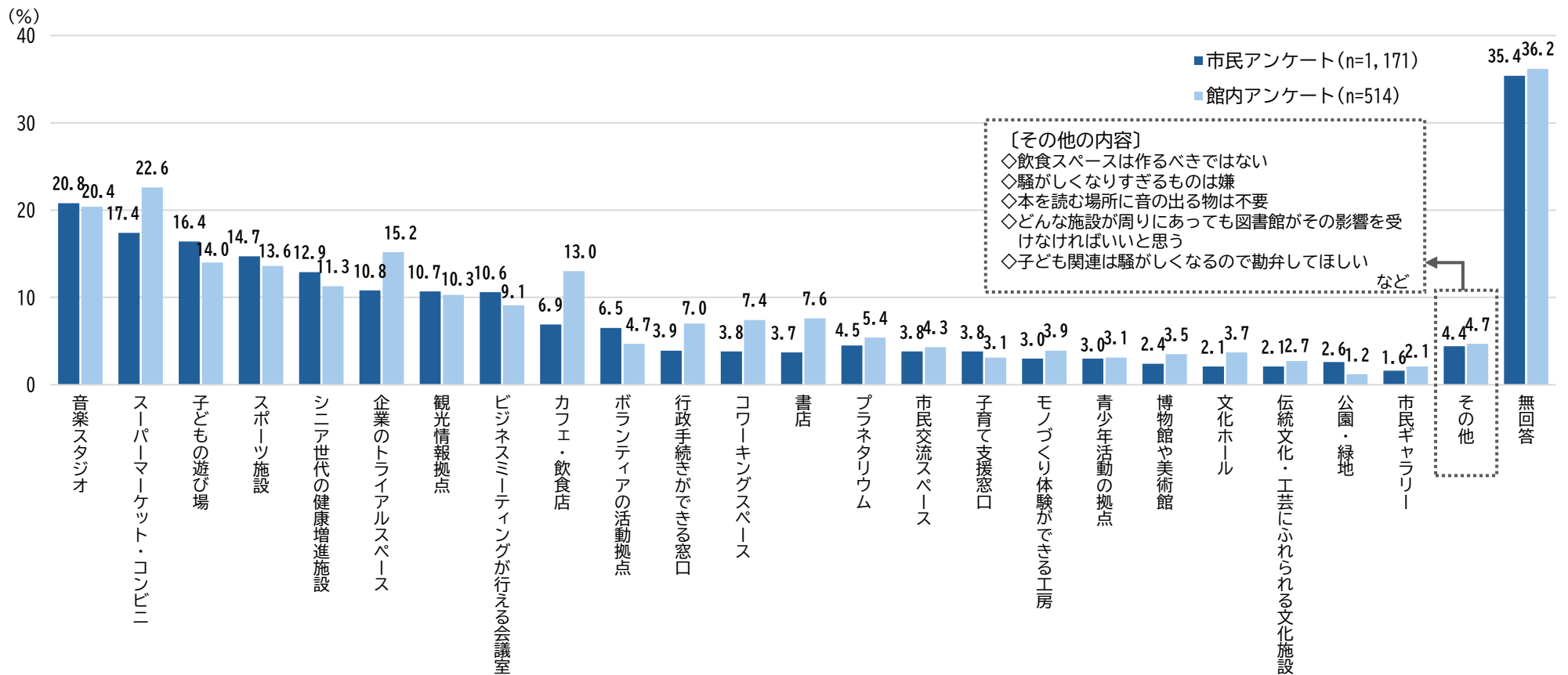
Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問23 複合化してほしい機能や施設（複数回答可） ※この5年間は図書館を利用していない人のみ



- この5年間は図書館を利用していないと回答した人では、「カフェ・飲食店」が最も高く、次いで「博物館や美術館」「行政手続きができる窓口(区役所等の出張所)」「スーパーマーケット・コンビニ」となっています。

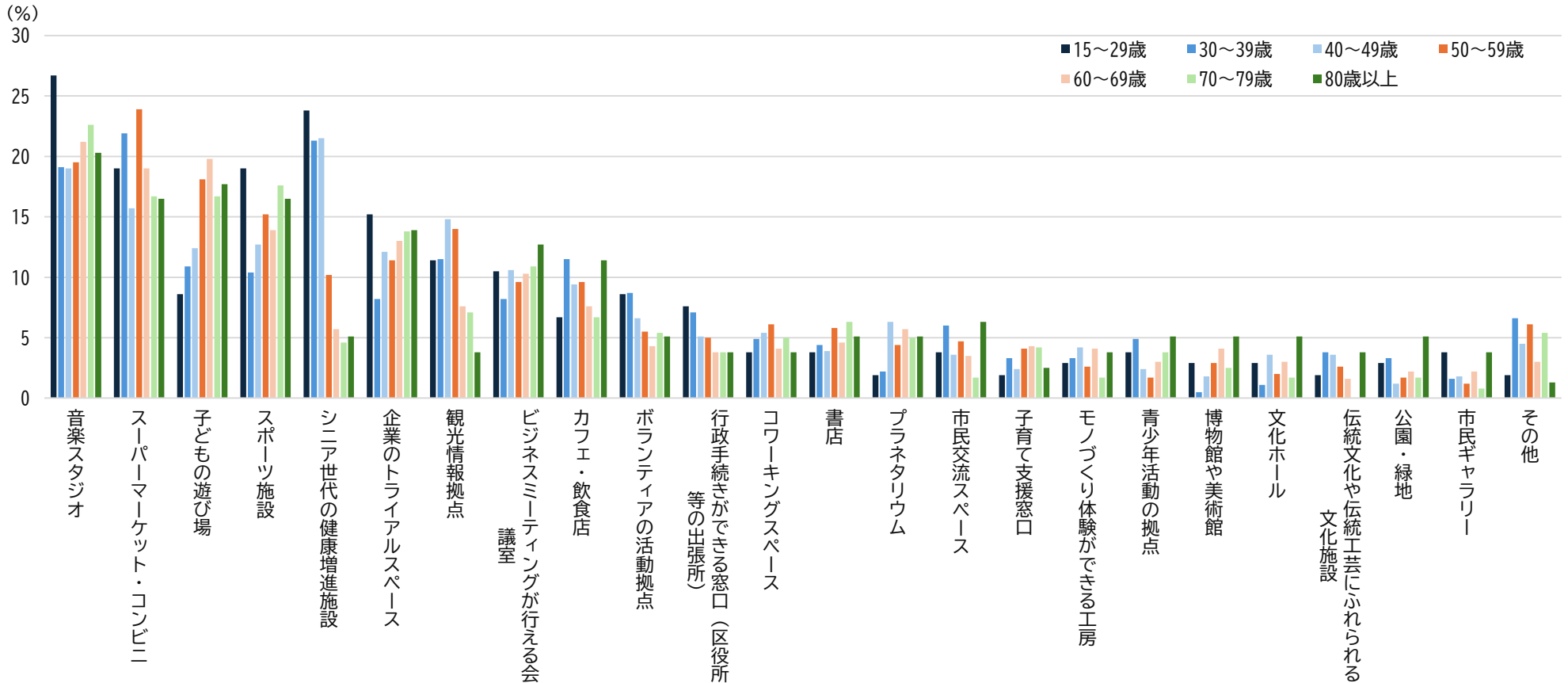
問24 複合化してほしくない機能や施設（複数回答可）



- 複合化してほしくない機能や施設では、市民アンケートでは「音楽スタジオ」、館内アンケートでは「スーパーマーケット・コンビニ」が最も高くなっています。
- 館内アンケートでは、「スーパーマーケット・コンビニ」や「企業のトライアルスペース」「カフェ・飲食店」などで市民アンケートに比べて高くなっています。

問24 複合化してほしくない機能や施設（複数回答可）

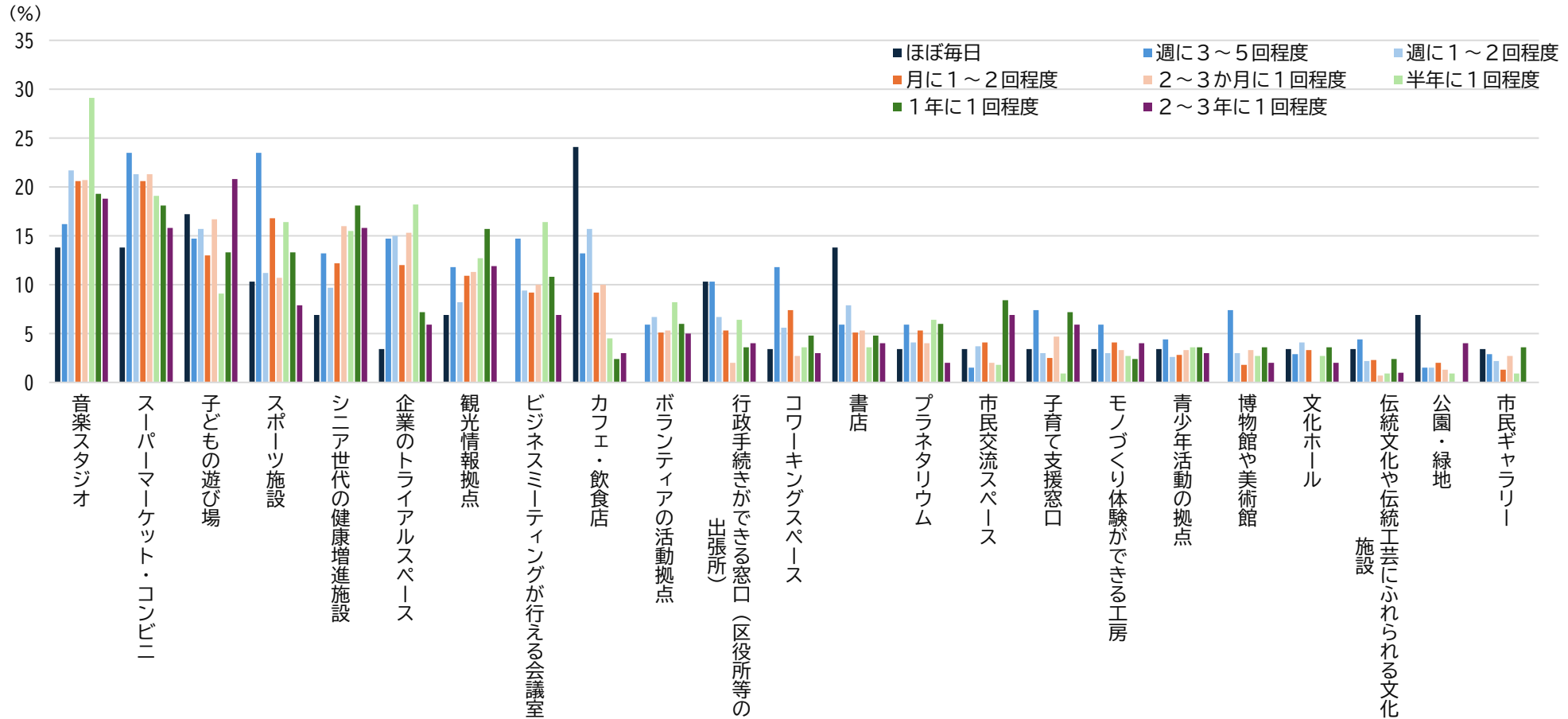
《年代別クロス集計》



- 年代別にみると、概ね年代が低くなるほど「シニア世代の健康増進施設」や「ボランティアの活動拠点」「行政手続きができる窓口（区役所等の出張所）」などが高くなり、概ね年代が高くなるほど「子どもの遊び場」や「スポーツ施設」「ビジネスミーティングが行える会議室」などが高くなる傾向がみられます。
- 15～29歳では「音楽スタジオ」が、他の年代に比べて突出して高くなっています。

問24 複合化してほしくない機能や施設（複数回答可）

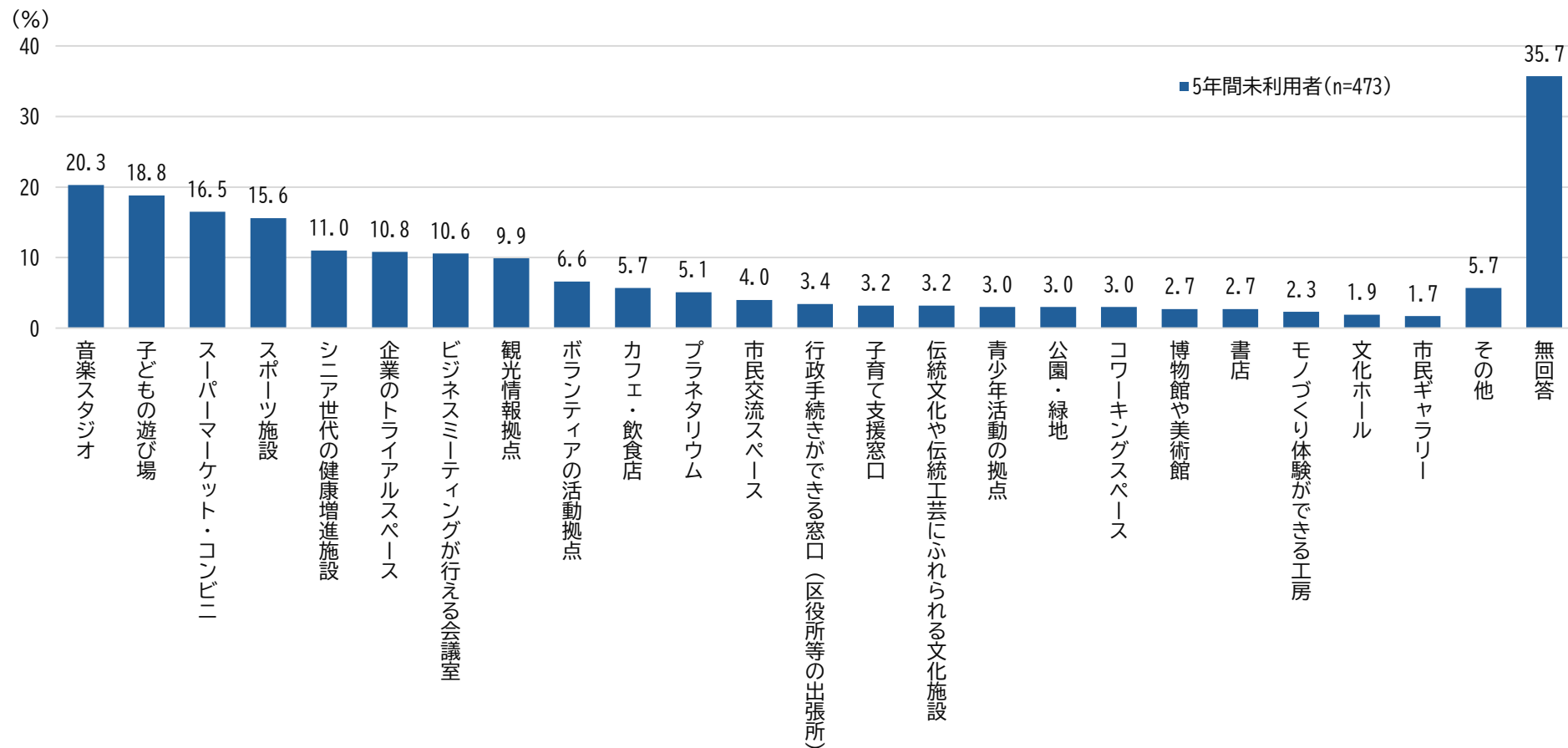
《利用頻度別クロス集計》



- 利用頻度別にみると、概ね利用頻度が多いほど「スーパーマーケット・コンビニ」や「カフェ・飲食店」「書店」などが高く、概ね利用頻度が少ないほど「シニア世代の健康増進施設」や「観光情報拠点」などが高くなる傾向がみられます。
- ほぼ毎日利用している人では、「カフェ・飲食店」や「書店」「公園・緑地」などが、その他の利用頻度の人に比べて高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

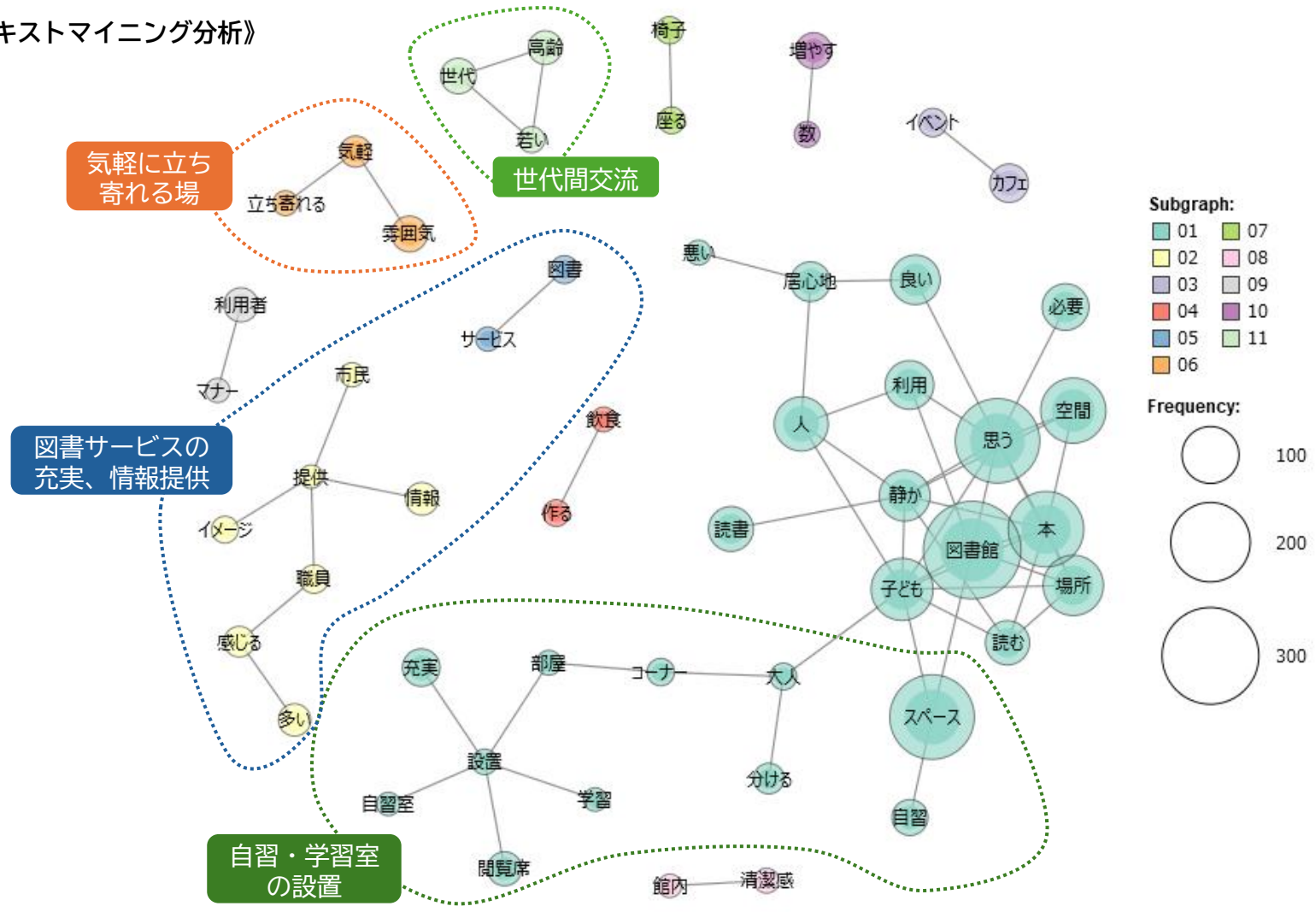
問24 複合化してほしくない機能や施設（複数回答可） ※この5年間は図書館を利用していない人のみ



- この5年間は図書館を利用していないと回答した人では、「音楽スタジオ」が最も高く、次いで「子どもの遊び場」「スーパーマーケット・コンビニ」「スポーツ施設」の順となっています。

問25 今後、図書館をだれもが居心地が良い空間としていくために必要だと思うこと

《テキストマイニング分析》

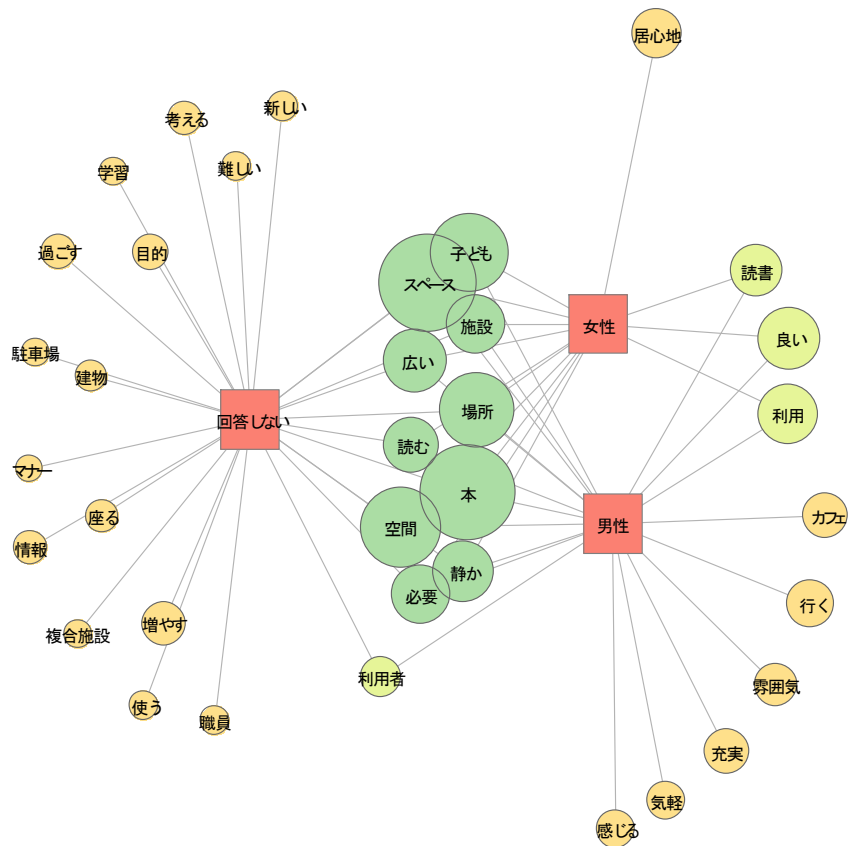


➤ 図書館を誰もが居心地が良い空間としていくために必要なこととして、「自習室・学習室の設置・充実」「子どもスペースの充実（大人との区分け）」などのハード面での要望と含め、「図書サービスの充実」や「情報提供の充実」「利用者のマナーの向上」などのソフト面での要望も多くなっています。また、「カフェやイベントの開催」や「気軽に立ち寄れる雰囲気」などの複合サービスの充実を望む人も多くみられます。

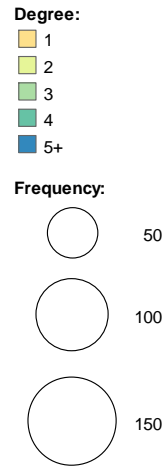
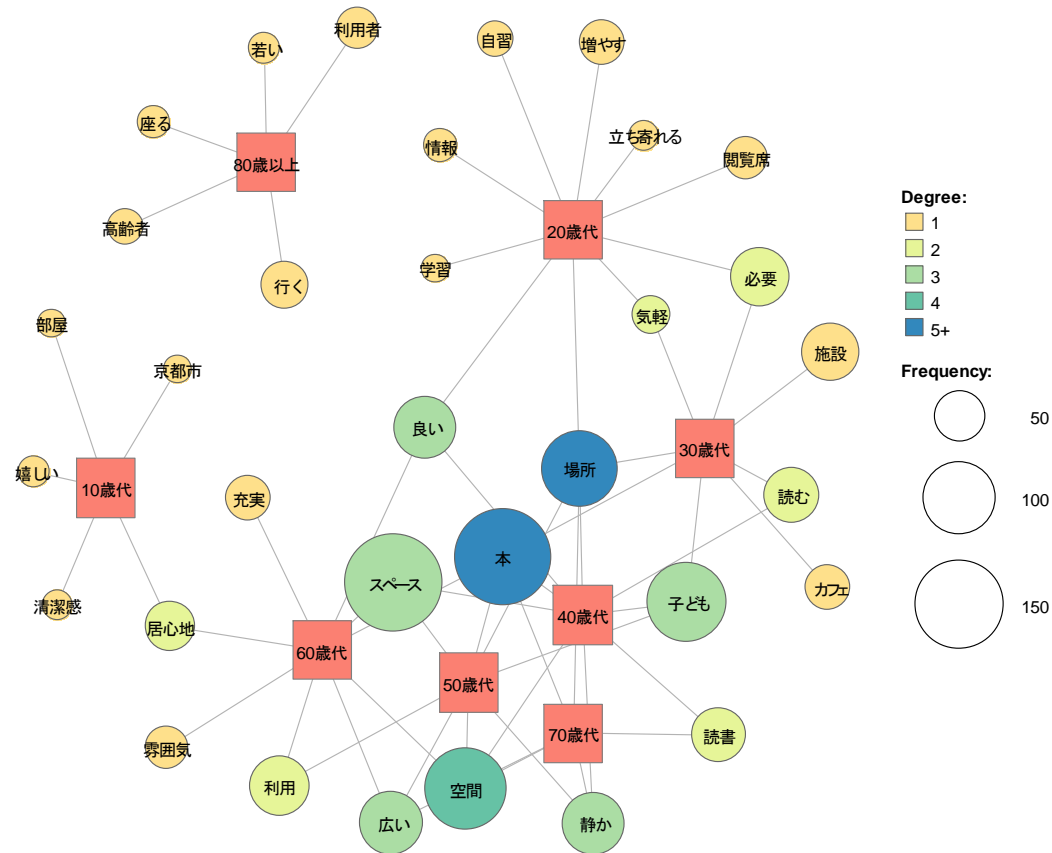
問25 今後、図書館をだれもが居心地が良い空間としていくために必要だと思うこと

《テキストマイニング分析》

【性別】



【年代別】

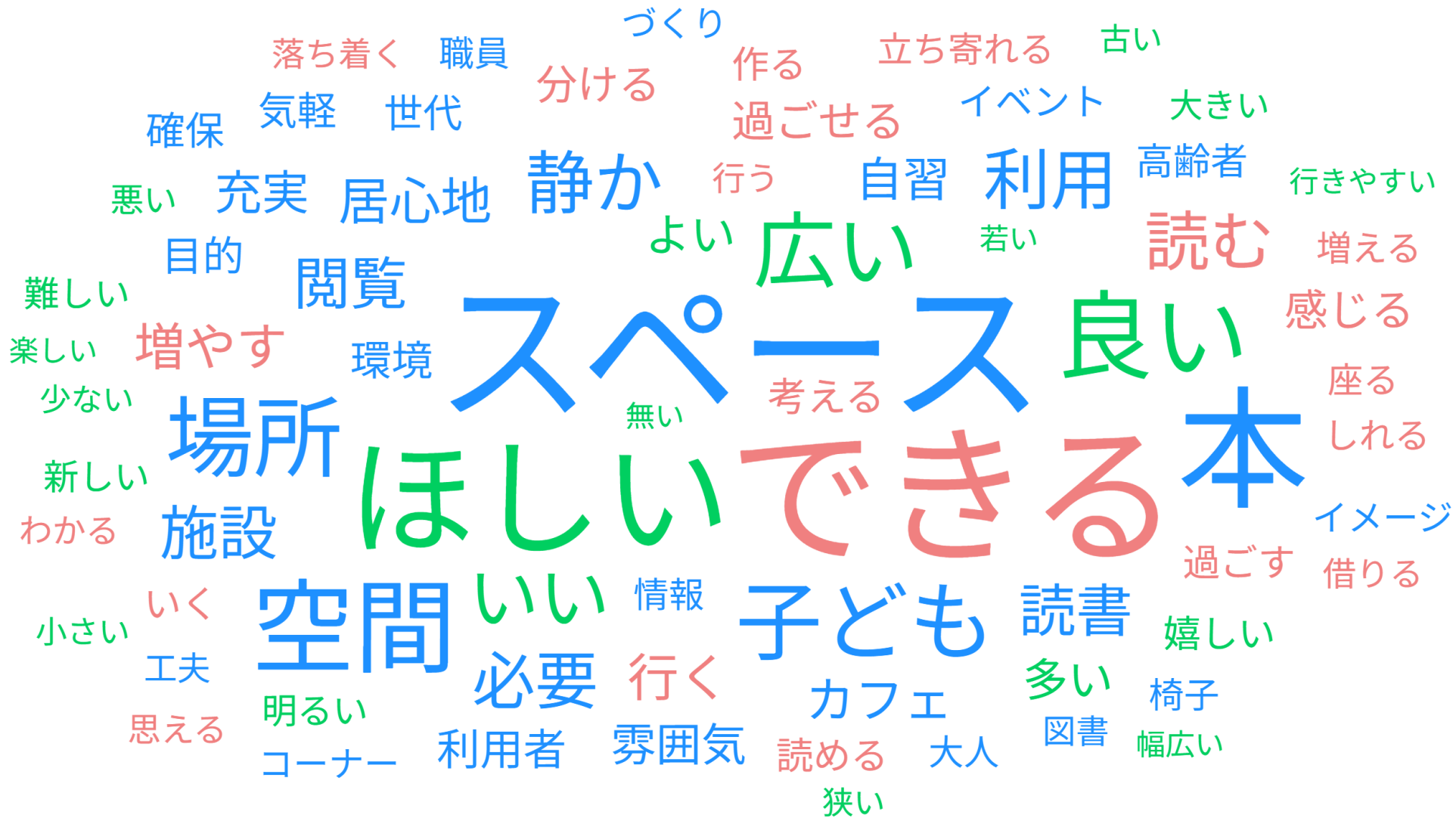


- 性別にみると、男性では「雰囲気」「気軽」「カフェ」、女性では「居心地」などの語句が特徴的にみられ、男性では気軽に立ち寄れる場、女性では居心地よく過ごす場としての要望の回答がみられます。
- 年代別にみると、10歳代では施設の清潔感、20歳代では学習・自習や閲覧席の充実、30歳代ではカフェとの併設、30～50歳代では子どもと一緒に利用がしやすいこと、10・60歳代では居心地よく過ごせる場としての要望がみられます。

問25 今後、図書館をだれもが居心地が良い空間としていくために必要だと思うこと

※「京都ならではの」「図書館」「京都」を除いて分析

《ワードクラウド》



※青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表す。

問25 今後、図書館をだれもが居心地が良い空間としていくために必要だと思うこと

《主な意見（抜粋①）》

①図書館の在り方に関するご意見

- その日の目的を「図書館」とできるくらい、一日中家族で過ごせる施設にしてほしい。
- 自由気ままに街を歩いていて、ちょっと休憩したいときにコーヒー片手に立ち寄れるところ。
- 音楽が流れていたり、雑談ができたり、いい香りがしたり、読みたくなる良質の本が揃っているカフェのような図書館。
- 好きを探す場所、好きに出会う場所、好きを考える場所、好きを学ぶ場所、好きでつながる場所、好きから始める場所になってほしい。
- むやみに機能を複合させないこと。図書館の機能をしっかり見つめなおし、その機能を発展させることを考えれば、余分で無理な施設にならず、みんなにとって気持ちよく使えるものになる。
- 共存しづらいニーズである「誰もが」を追求するよりは、ある程度の割切りを持って、特定の層、目的に絞ってその対象の利便性や快適性を追求してみてもよいのではないか。
- 図書館の図書館としての雰囲気大好きで毎日のように通ってくるお年寄りや親子連れの方々の気持ちを大切に、まずは図書館好きな人がもっと図書館を好きになる方策を真剣に考えていただきたい。
- 図書館の枠を少しはみ出した発想。各図書館の特徴が色々あっていいと思う。
- 故きを温ねて新しきを知りながら、勢いよく挑戦できる環境づくり。
- 滞在型図書館となるような空間の確保と市民理解が大切。図書館は静かに本を読むだけでなく、様々な人があらゆる情報を受け取ることができる知の集積庫であり、交流し、発見する場である。
- 図書館は貧困家庭の子でも自由にたくさんの本を読める唯一の場所です。子どもたちにとってのサードプレイスになるといいなと思います。

②音のゾーニングや空間に関するご意見

- 市民の学習意欲や文化を支えるのに十分な資料情報を、圧迫感なく、手に取りやすい形で配置できるスペース。調査、学習、くつろぎ、会話など、様々な利用方法に見合った閲覧空間が必要。
- もっと学生や現役世代が行きたくなる図書館を作してほしい。自習や少しおしゃべりしてもよいスペースがあると嬉しい。
- 座れる場所がもっと欲しい。本のソムリエみたいにタイムリーな話題の本を紹介して欲しい。
- 寛容さ。子どものイベントのときは少し賑やかでもよい時間帯を確保するのも一つだと思う。乳幼児を完全に静かにさせるのは難しいと思うから。
- 子どもたちがおしゃべりしても、読書をしている方々が気にならない広いスペースがほしい。
- 図書館は本を読むところ。遊ぶ場所とは区別してほしい。静かに本を読みに来た大人や子どもが落ち着いて読めないというのは違うと思う。
- 静かな空間も大切ですが、一方、本を見ながら友人や家族と会話を楽しめる場所があってもよいのではと思います。
- 歴史が好きなら歴史中心の館、理科が好きなら理科中心の館、虫や動物が好きなら…というように、それぞれの館に得意分野を作るのはいかがか。
- ベンチでいいので、本棚と座るところが混在しているのがいいと思います。
- ゆっくりと落ちついて座って過ごせるスペースが少なすぎる。ゆったりとした席配置と座席数、それに照明の工夫。
- 観葉植物などの「緑」を取り入れることで、目の疲れを取り、癒しの空間になる。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問25 今後、図書館をだれもが居心地が良い空間としていくために必要だと思うこと

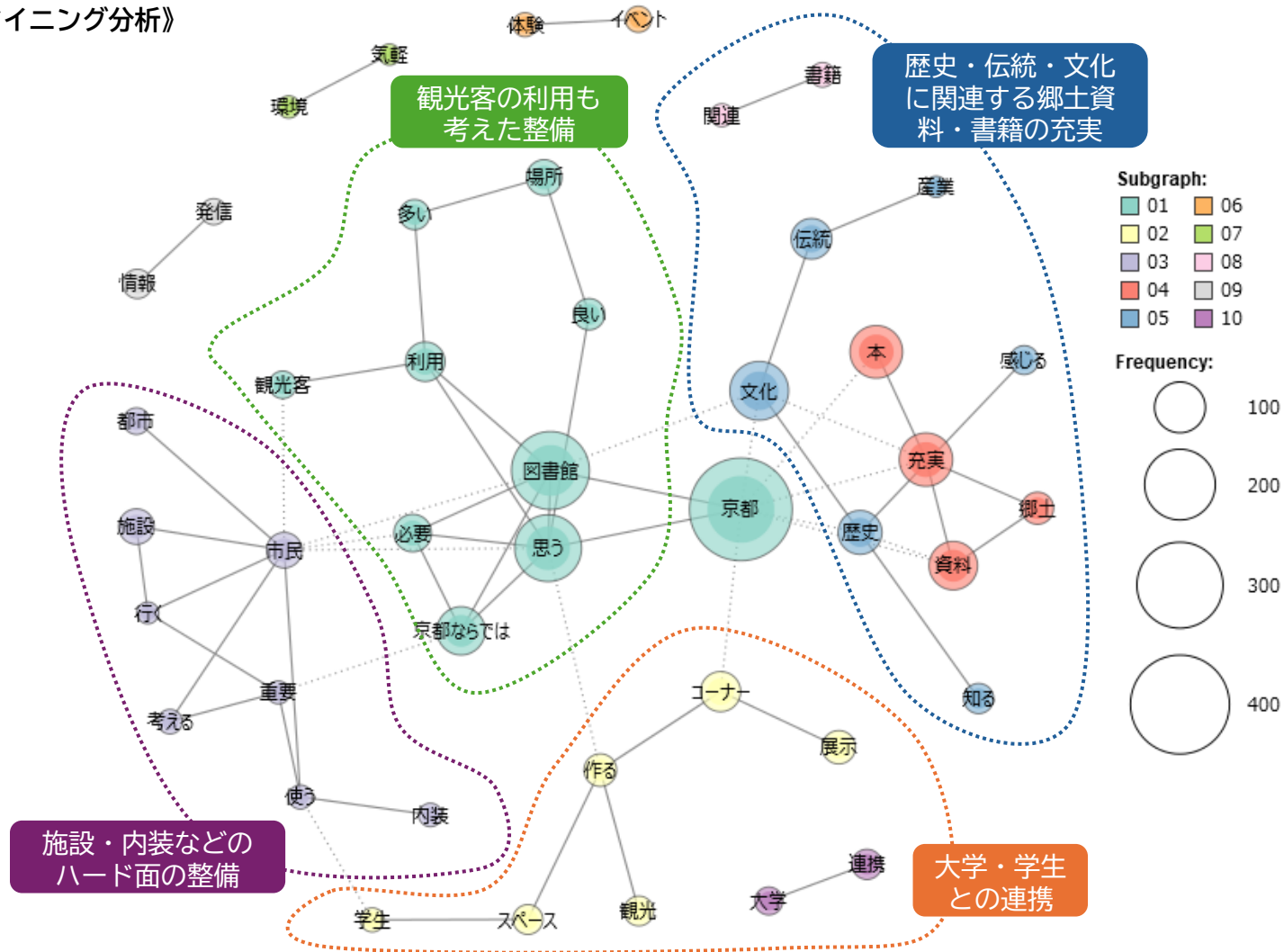
《主な意見（抜粋②）》

③現在の図書館に対する印象・要望に関するご意見

- 今の図書館に必要なのは、「図書館への敷居の低さ」ではないかと思う。
- 気軽に入ることができることができる開かれた空間づくり。雰囲気づくり。
- 気軽に立ち寄れる明るい雰囲気や内装にしてほしい。カフェなどが併設されていたら毎日でも通います。
- 現在の図書館は暗いイメージしかありません。玄関、入口からすでに暗い。建物の印象が良くないので、そのあたり改善してほしい。看板一つ、案内表示でも印象は変わると思います。
- 図書館＝堅苦しいイメージを無くしていくことが重要だと思います。
- 現状で精一杯頑張っていると思う。難しいかもしれないが、増改築や他の施設との複合化でもっと多くの本を所蔵する新しい図書館をつくれなか。 “文化首都” を標ぼうするのであれば、図書館等の文化施設に相応の予算を充てることも必要。
- 図書館のことを知らないので、こんな場所がって、こんなことができますよ、こんな過ごし方ができますよという情報を発信してほしい。
- 図書館まで子どもを連れていくには遠く、交通量も多く、返却も大変なので、せめて返却場所を増やしていただくと大変助かります。返却ボックスだけでもあればいいのにとおもいます。
- 電子化が進む世の中ですが、紙の本は無くして欲しくないし、なんでも無人でできる場所にはして欲しくないです。人々の交流の場であって欲しい。

問26 “京都ならではの” の図書館をつかっていくために重要となること

《テキストマイニング分析》

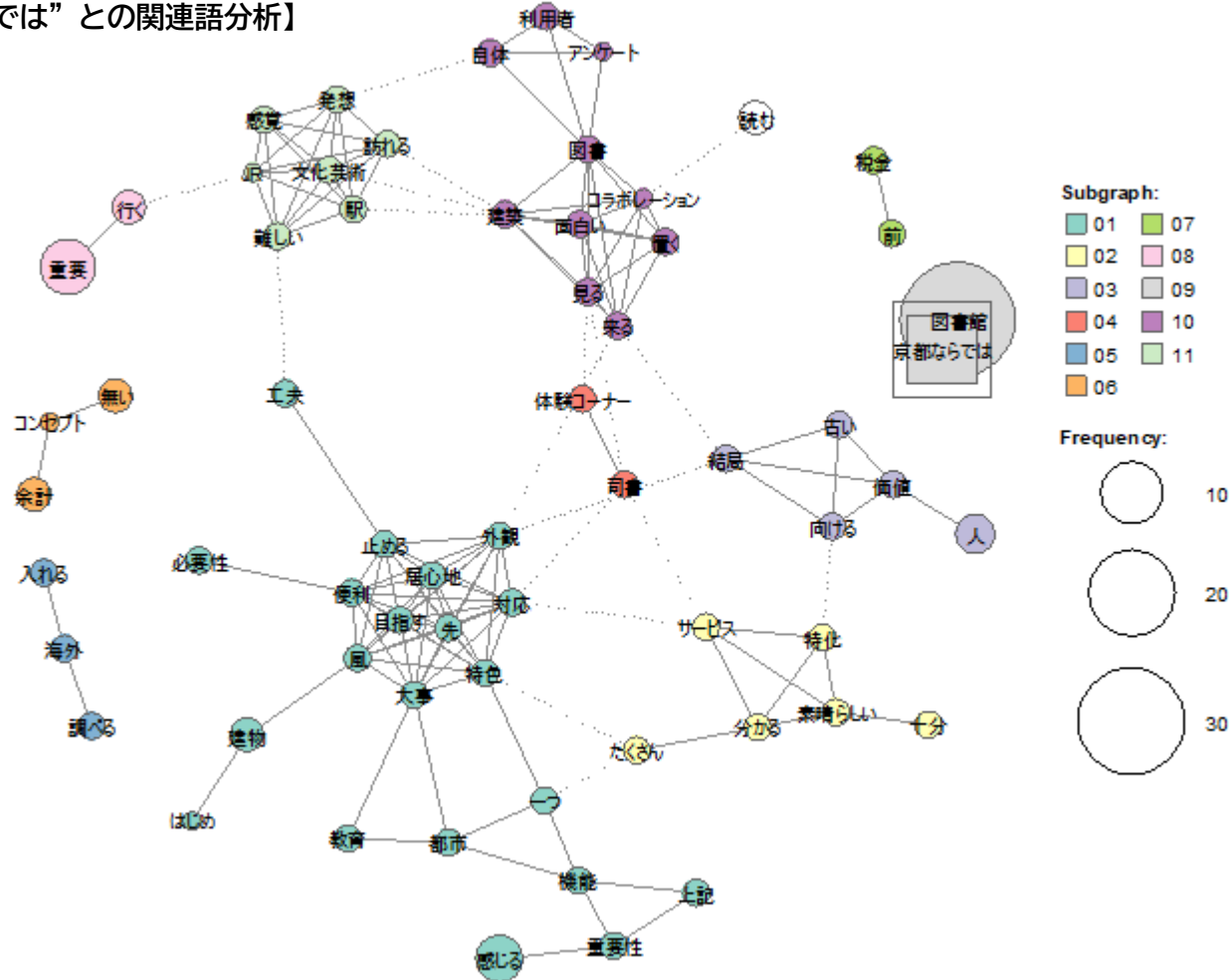


- “京都ならではの” の図書館に向けては、歴史・文化・伝統等を知ってもらうための「郷土資料や関連資料の充実」や「体験イベント」の実施等についての意見が多く、また大学の多い立地を生かした「大学との連携」や「学生のためのスペースや展示」をつくること、観光客が多い地域であることを踏まえた「観光客の利用を踏まえた整備」などや、またその情報発信の充実を望む声が多くみられました。

問26 “京都ならではの” の図書館をつかっていくために重要となること

《テキストマイニング分析》

【“京都ならではの”との関連語分析】



【係り受けランキング】

意見の中で「京都ならではの」の語句と強いつながりを持つ語句をランキングに示したもの

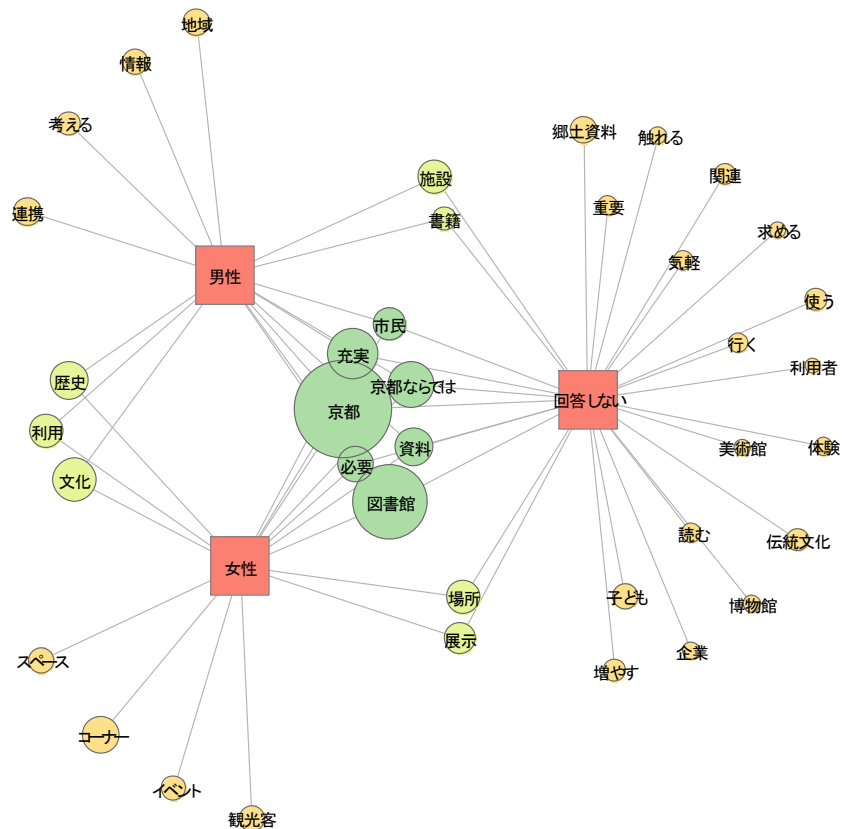
	抽出語	品詞	全体	共起
1	図書館	タグ	165 (0.248)	35 (0.422)
2	必要	形容動詞	45 (0.068)	24 (0.289)
3	利用	サ変名詞	40 (0.060)	6 (0.072)
4	市民	名詞	39 (0.059)	7 (0.084)
5	感じる	動詞	28 (0.042)	6 (0.072)
5	地域	名詞	28 (0.042)	4 (0.048)
7	人	名詞C	23 (0.035)	4 (0.048)
8	建物	名詞	22 (0.033)	3 (0.036)
9	使う	動詞	20 (0.030)	5 (0.060)
10	考える	動詞	19 (0.029)	7 (0.084)
11	行く	動詞	16 (0.024)	3 (0.036)
12	重要	形容動詞	15 (0.023)	8 (0.096)
13	今	副詞可能	13 (0.020)	4 (0.048)
14	求める	動詞	11 (0.017)	6 (0.072)
15	出す	動詞	10 (0.015)	3 (0.036)
15	読む	動詞	10 (0.015)	3 (0.036)
17	民	名詞C	6 (0.009)	3 (0.036)
18	別に	副詞	5 (0.008)	4 (0.048)
18	無い	形容詞	5 (0.008)	3 (0.036)
20	余計	形容動詞	3 (0.005)	3 (0.036)
20	結局	副詞可能	3 (0.005)	2 (0.024)
20	十分	形容動詞	3 (0.005)	2 (0.024)
23	感覚	名詞	2 (0.003)	2 (0.024)
23	思いつく	動詞	2 (0.003)	2 (0.024)
23	止める	動詞	2 (0.003)	2 (0.024)
23	重要性	タグ	2 (0.003)	2 (0.024)
23	上記	名詞	2 (0.003)	2 (0.024)
23	税金	名詞	2 (0.003)	2 (0.024)
23	必要性	タグ	2 (0.003)	2 (0.024)
23	風	名詞C	2 (0.003)	2 (0.024)

- “京都ならではの”の語句をピックアップして関連語の分析をすると、外観を含めた居心地の良い場所であること、体験コーナーやコラボレーションなどの利用者を対象としたイベント、サービスの特化や文化芸術・人などに価値を見出すこと、海外に向けた発信などの意見があるものの、一方で、“京都ならではの”のコンセプトを不要（必要ない）と回答している方もみられます。

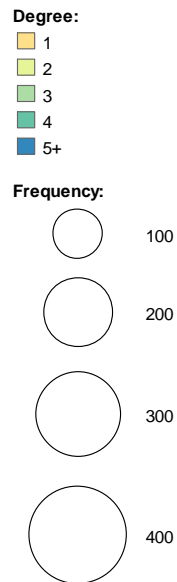
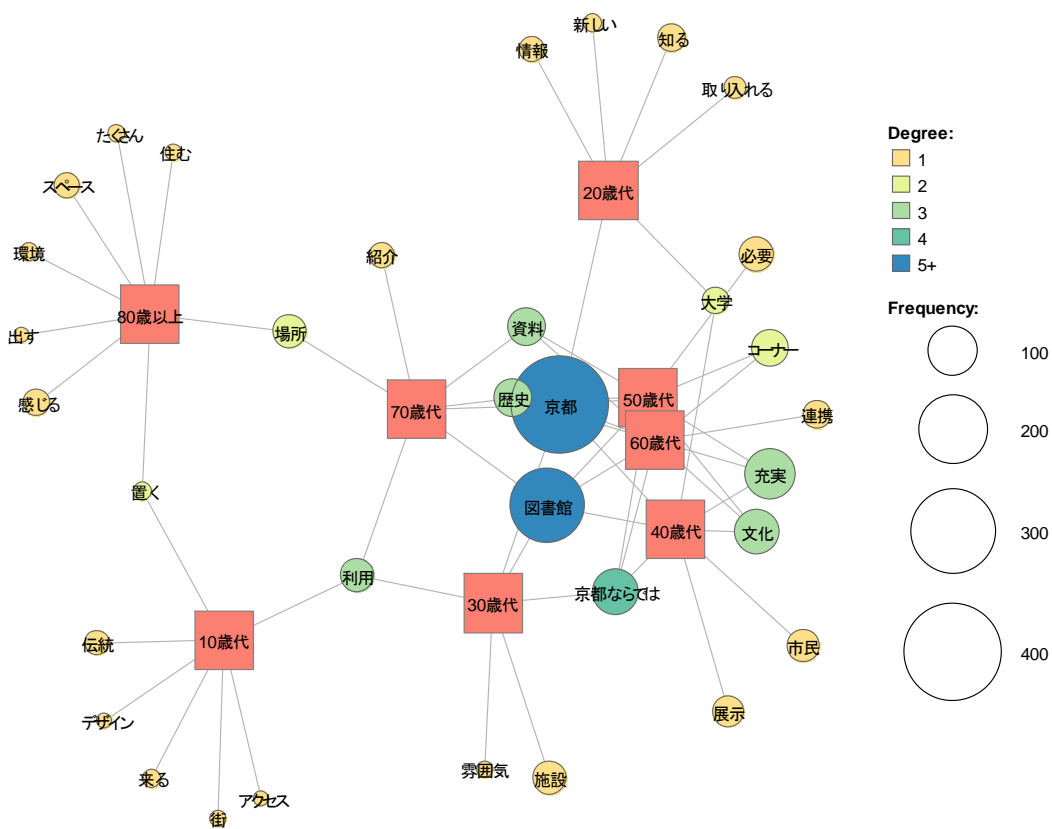
問26 “京都ならではの” の図書館をつかっていくために重要となること

《テキストマイニング分析》

【性別】



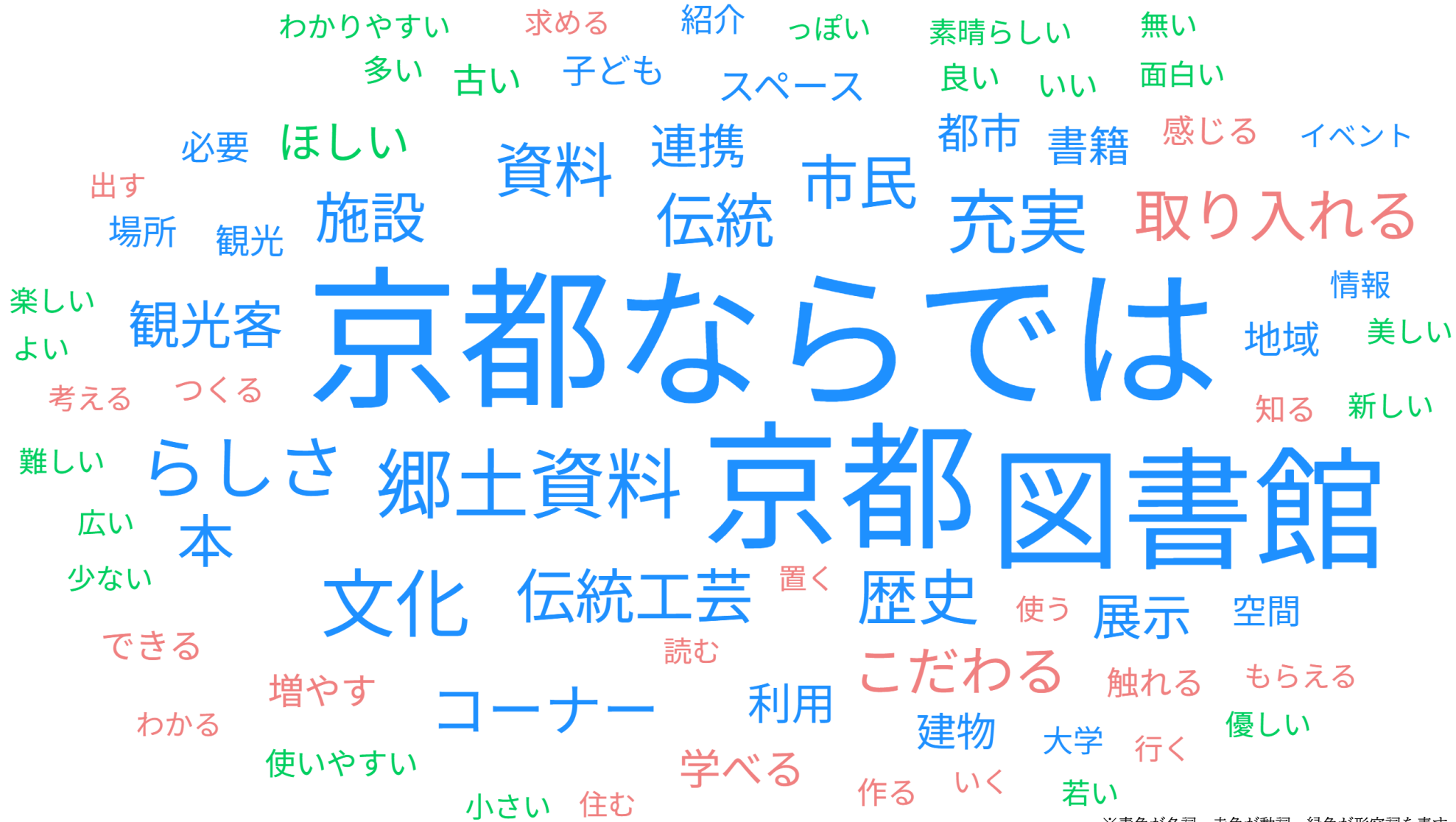
【年代別】



- 性別にみると、男性では「地域」「情報」「連携」、女性では「観光客」「イベント」「コーナー」などの語句が特徴的にみられ、男性では地域との連携や地域に関する情報を発信すること、女性ではイベントの実施や観光客への対応など、外部への発信や呼び込みに対する回答がみられます。
- 年代別にみると、10歳代では「デザイン」、30歳代では「雰囲気」など、建物自体のデザインや雰囲気づくり、20歳代では新しい知識や情報の発信、40歳代では市民協働等による展示の充実、大学連携等についての意見がみられます。

問26 “京都ならではの” の図書館をつくっていくために重要となること

《ワードクラウド》



※青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表す。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問26 “京都ならではの”の図書館をつくっていくために重要となること

《主な意見（抜粋）》

①建築に関するご意見

- 何軒かの町屋をぶち抜き、大きい町屋や味のある建築を図書館にするアイデア。
- 美しく何度でも訪れたい名建築、世界に誇れる世界一美しい図書館を。それが結果的に文化・芸術のまち京都らしさ、京都ならではの。京都市美術館、京都会館、京都市立芸術大学、京都駅ビルなど、美しいものこそ、京都にふさわしい。
- 市民専用の川床図書館。
- 閉校した小学校をリノベーションした古くて新しい図書館。

②図書館の在り方に関するご意見

- “京都ならではの”という視点であれば、山紫水明の都としてのポテンシャルを発揮した図書館づくりが重要かと思います。
- 文化首都として、図書館利用が多いということ自体が、“京都ならではの”になると思う。
- 京都の歴史、文化、地理、祭り、食、衣服、産業などの魅力を集めた空間が京都の図書館であって欲しい。
- 京都生まれのコーヒー屋さんやお店がある図書館、博物館のような図書館があっても魅力的だと思います。
- 地域やNPOに開かれ、そこに行けば誰かに会えるという場であること。ベンチでくつろぎ、コーヒーが飲めて、井戸端会議の横で子どもが遊んでいるなど“路地”のようなコモン空間。
- 京都は、新しいものを取り入れるのが伝統なので、どんどん新しいことをして欲しい！

③具体的な設備や企画に関するご意見

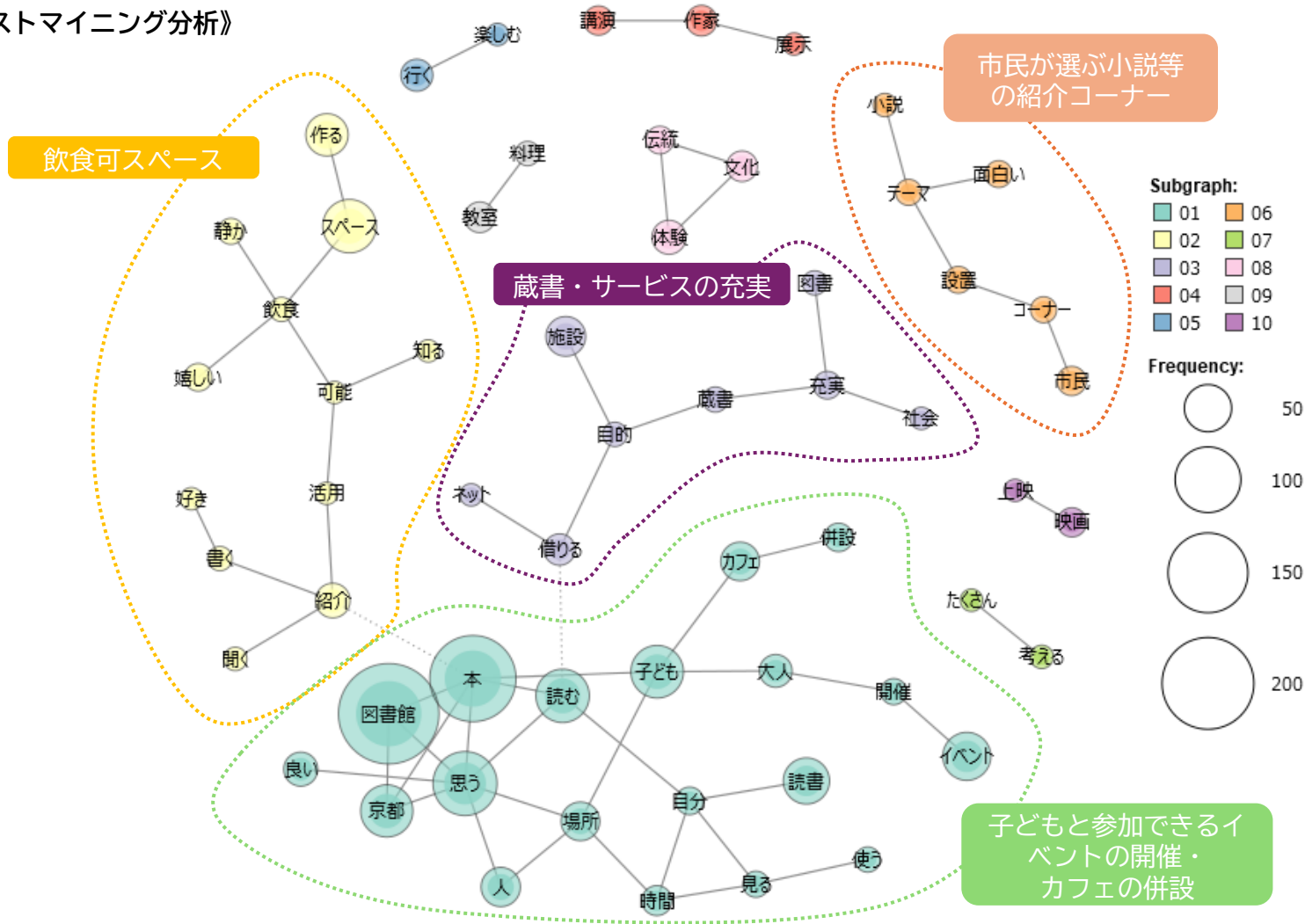
- 学生が多い街なのに、学生にとって図書館が使いにくいところが実情。自習スペースをたくさん設け、参考書など学問に関わる本を増やしてはどうか。
- 京都の歴史や伝統、文化に関する資料の充実。平安時代、幕末時代などコンセプトに分けた配架や図書館があってもいいのでは。
- 京都の文化、歴史、伝統産業、伝統工芸に触れられる企画や資料の充実。それらの関係者とのコラボレーションによる体験コーナー。
- 京都を舞台にした小説や京都ゆかりの小説家を紹介するスペースの充実。「右京区」「左京区」などのエリアで分けても面白い。
- 京友禅、西陣織、清水焼などの伝統工芸や文化を若者に伝えるための展示やワークショップなどを開催して欲しい。
- 映画のまち・京都なので、フィルム上映もできるフィルムシアターを併設した図書館。
- 地域に潜むすごい人たちが気軽に専門的なトークをしてくれるイベントなどの開催。図書館司書との連携で趣味の似ている人に面白そうな本を勧めてもらおうなど人と人との交流が生まれるイベントの開催。
- 文化庁がせっかく京都にあるので、文化庁のコンテンツと連携する図書館。
- 京都ならではの発想で、伝統工芸、伝統産業のデジタルアーカイブによる集大成。

④その他のご意見

- “京都ならではの”である必要性がありますか？京都っぽさより、誰もが気軽に便利に利用できることの方が重要です。
- “京都ならではの”にこだわらなくてもいいのでは？

問27 京都市図書館でやってみたいこと

《テキストマイニング分析》

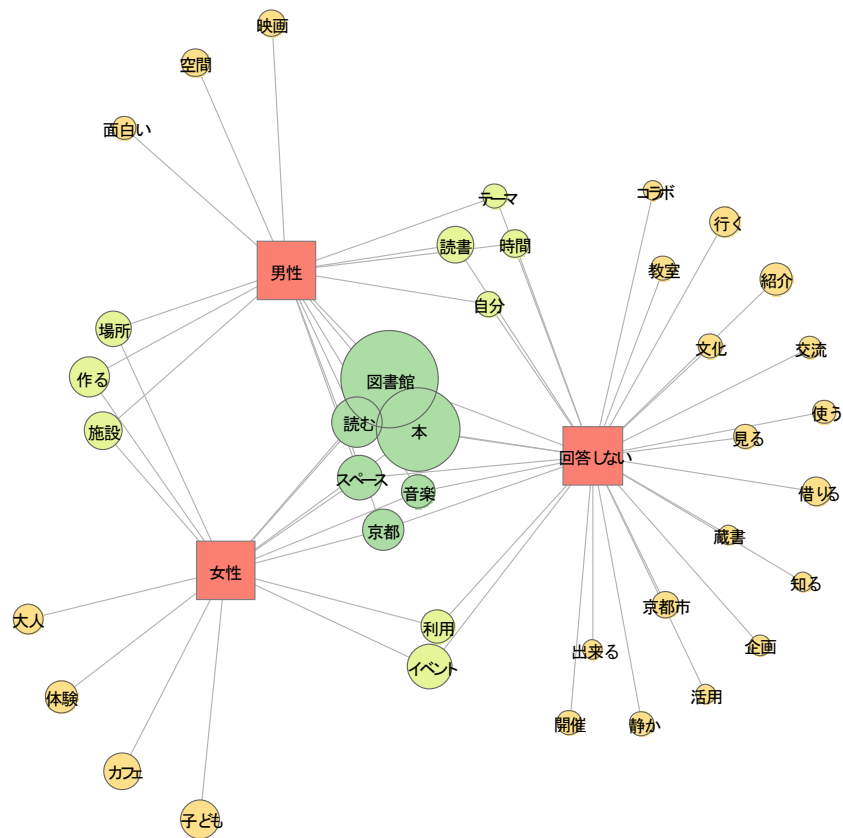


- 京都市図書館でやってみたいことでは、大人・子どもを対象とした読書会などのイベントの開催や作家さんの講演会の開催、テーマを絞った小説等の展示や市民による展示コーナーの設置などの多様な意見がみられました。また、これまでの図書館機能以外の部分では、カフェ併設などによる飲食スペースの設置や映画上映、伝統文化体験、料理教室などの意見もみられました。

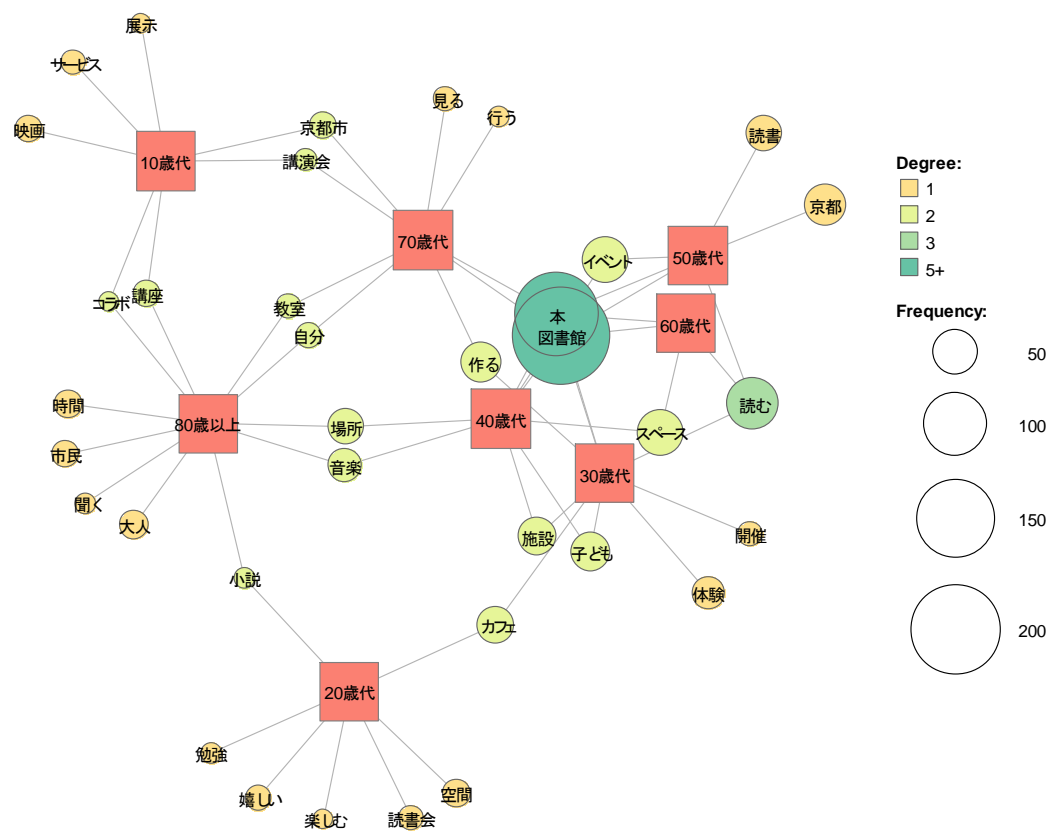
問27 京都市図書館でやってみたいこと

《テキストマイニング分析》

【性別】



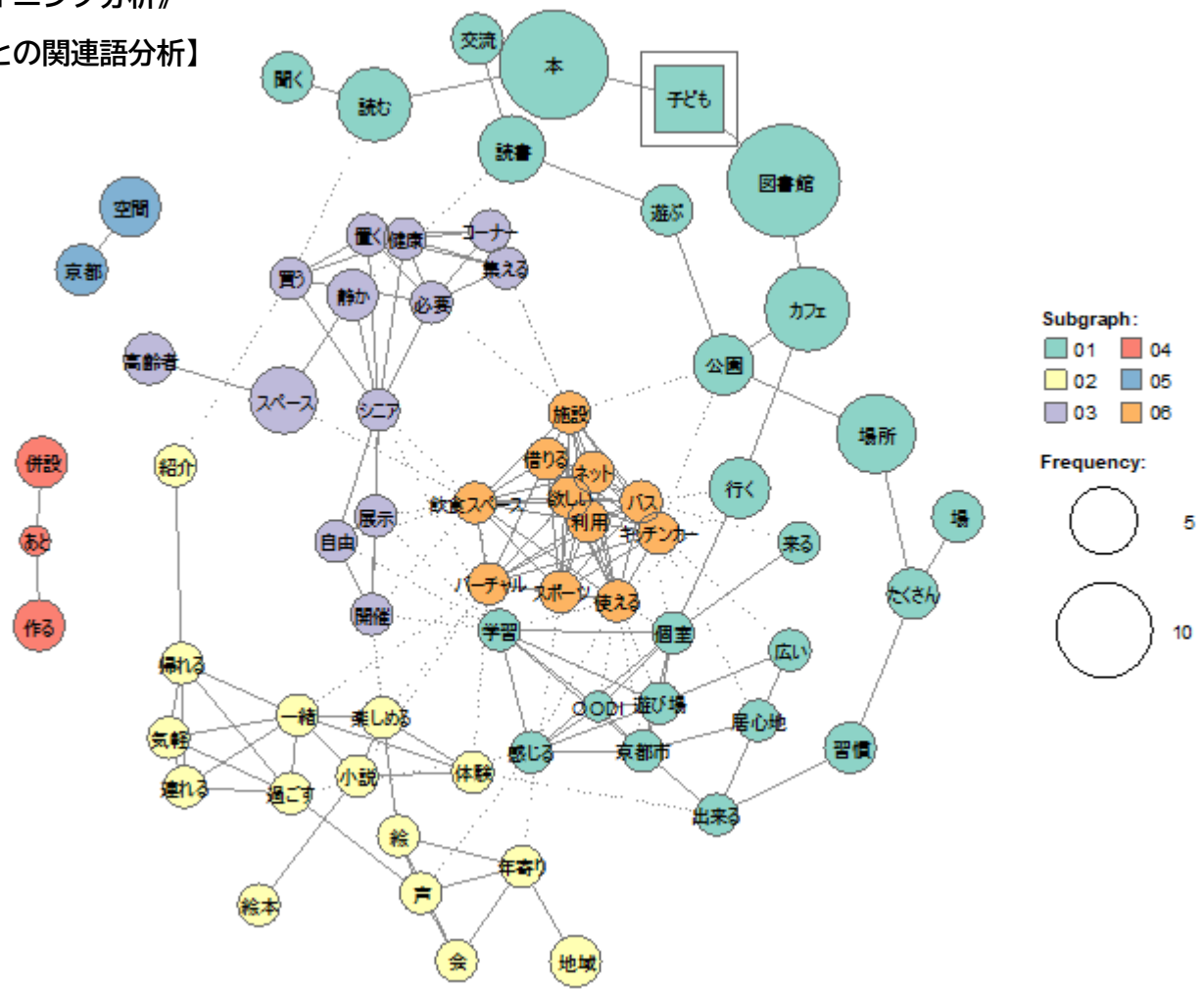
【年代別】



- 性別にみると、男性では「映画」「面白い」、女性では「子ども」「体験」「カフェ」などの語句が特徴的にみられ、男性では映画鑑賞などでの活用、女性ではカフェ併設などの飲食ができることや子どもと一緒に体験活動ができる場としての活用に対する回答がみられます。
- 年代別にみると、10歳代では講演会や講座、映画鑑賞など、20歳代では読書会や勉強の場としての活用、30歳代では子どもと一緒に楽しめる体験活動等の開催、40歳代では音楽を楽しむ場としての活用、70歳以上では講演会や教室の開催などの回答がみられます。

問27 京都市図書館でやってみたいこと

《テキストマイニング分析》
【“子ども”との関連語分析】



【係り受けランキング】

意見の中で「子ども」の語句と強いつながりを持つ語句をランキングに示したものの

	抽出語	品詞	全体	共起
1	図書館	名詞	154 (0.313)	14 (0.389)
2	本	名詞C	121 (0.246)	13 (0.361)
3	読む	動詞	52 (0.106)	6 (0.167)
4	イベント	名詞	48 (0.098)	8 (0.222)
5	スペース	名詞	41 (0.083)	5 (0.139)
6	カフェ	名詞	31 (0.063)	8 (0.222)
7	場所	名詞	28 (0.057)	7 (0.194)
8	読書	サ変名詞	27 (0.055)	5 (0.139)
9	大人	名詞	19 (0.039)	9 (0.250)
10	行く	動詞	18 (0.037)	4 (0.111)
11	空間	名詞	17 (0.035)	4 (0.111)
12	併設	サ変名詞	17 (0.035)	3 (0.083)
13	交流	サ変名詞	13 (0.026)	3 (0.083)
13	静か	形容動詞	13 (0.026)	3 (0.083)
15	場	名詞C	12 (0.024)	3 (0.083)
16	楽しい	形容詞	9 (0.018)	3 (0.083)
16	地域	名詞	9 (0.018)	3 (0.083)
16	聞く	動詞	9 (0.018)	3 (0.083)
19	子育て	サ変名詞	8 (0.016)	3 (0.083)
20	公園	名詞	7 (0.014)	4 (0.111)
20	近く	副詞可能	7 (0.014)	3 (0.083)
20	たくさん	副詞可能	7 (0.014)	3 (0.083)
23	高齢者	タグ	5 (0.010)	3 (0.083)
23	遊べる	動詞	5 (0.010)	3 (0.083)
23	小さい	形容詞	5 (0.010)	3 (0.083)
26	習慣	名詞	3 (0.006)	3 (0.083)
26	遊ぶ	動詞	3 (0.006)	3 (0.083)
28	帰れる	動詞	2 (0.004)	2 (0.056)
28	年寄り	名詞	2 (0.004)	2 (0.056)
28	一緒	サ変名詞	2 (0.004)	2 (0.056)

➤ “子ども”の語句をピックアップして関連語の分析をすると、カフェやキッチンカーやなどの飲食スペースやスポーツや公園、交流などの空間に関する要望が高い一方で、静かに過ごすスペースや声などの意見もみられ、子どもと一緒に居心地よく過ごすスペースが必要と感じている人がいる一方で、子どもの声が気になるという意見もみられます。

Ⅲ アンケート調査結果 2. 現在の京都市図書館について

問27 京都市図書館でやってみたいこと

《主な意見（抜粋）》

①本に関連する企画

- 読んだ本のシェア
- AIを使って予約した資料に関連した本（すぐに借りられるもの）をおすすめしてくれる機能
- アニメやマンガ、その作画などの講習会。新人さんの自作品販売会。
- 京都市図書館のラジオ番組の配信。各館の司書が交代でおすすめ本を紹介したり、図書館の使い方を紹介。
- ブックカフェ
- みんなが作ったZINEを置いて借りれるようにしてほしい。
- 本から読み解く「郷土料理教室」「伝統工芸体験」
- 書店が併設されていて、気に入った本を買えるシステム。あと、子どもや大人も手作りの本が作れて、自費出版できるイベントなど。
- 利用者による掲示板・メッセージボードで、おすすめ本の紹介。利用者同士のコミュニケーション。

②音楽に関連する企画

- 音楽に溢れた図書館。例えば、図書館でオーケストラコンサート、演劇、コンサートホールに図書館を併設などなど。
- ピアノを設置して、駅ピアノならぬ図書館ピアノを。
- フェス

③交流・体験活動に関連する企画

- マルシェ
- フリーマーケット
- 盆踊り大会
- 京ことばや京都の伝統芸能の実技イベント
- 図書館で婚活パーティー（本好き集まれ！）
- 図書館バックヤードツアー
- 夜の図書館お化け屋敷
- プラネタリウム
- 読書以外にも人が繋がれるような仕組みが欲しい！

④飲食・宿泊に関連する企画

- 図書館でアルコールが飲めるところがあってもいいのでは。
- カフェ、キッチンカー
- 図書館キャンプ
- ブックホテル
- ナイトカフェ図書館

⑤図書館の在り方に関するご意見

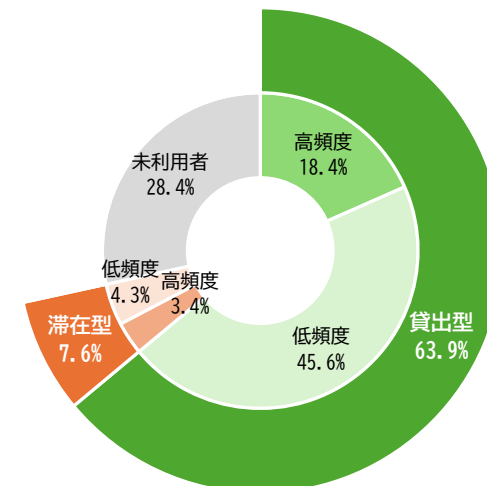
- コーヒーなど自由に飲みながら、楽しく本を選び、映像や音楽も楽しみながら1日中いられる図書館なら行ってみたい！
- 市民の文化芸術活動を促進する、誰でも始められるチャンスがある取組を図書館中心でやって欲しい。
- ニューヨーク市図書館のようなビジネスインキュベーション機能の実践
- ドイツの都市では、図書館に公園とカルチャーセンターのような施設が付随しており、ダンスや音楽絵画などの文化芸術、スポーツなどの市民レッスン、自主練習などができる施設があり、小さな発表会も開かれていました。
- ヘルシンキ中央図書館OODIでは、カフェ、子どもの遊び場、音楽スタジオ、学習や仕事に使える個室などもあり、ものづくり講座など開催されていた。建物の美しさとソフトの楽しさが両立した素敵な図書館です。
- 子どもが楽しく過ごせる遊び場のような図書館。子どもがしゃべっても、泣いても大丈夫な環境で、子育て中の方が気兼ねなく訪れられる図書館に。
- 様々な座席を用意し、色んな自習スペースがあって、みんなが自由に勉強できるようにしてほしい。
- 静かに読書というだけでなく、ゆったりのびのびと笑顔で過ごすことのできる憩いのスペースの傍らに本がある雰囲気が良いと思いました。子どもの声や会話する声があっても良いし、それを前提とした空間づくりも良いかと思います。京都らしい風土や伝統、芸術文化が肌で感じられる空間になるとより良いと思います。

1. 利用者層分類についての考え方

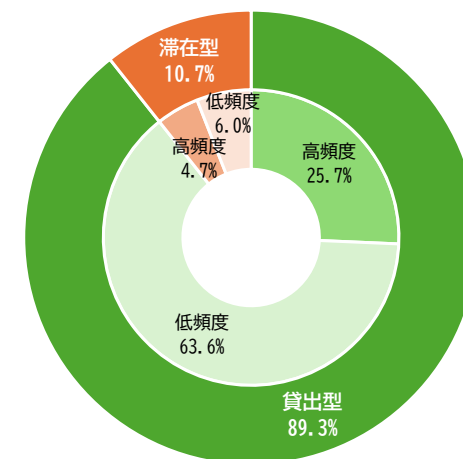
	10分未満	10分～30分程度	30分～1時間程度	2時間～3時間程度	4時間以上
ほぼ毎日		貸出型		滞在型	
週に3～5回程度		(高頻度)		(高頻度)	
週に1～2回程度					
月に1～2回程度					
2～3か月に1回程度					
半年に1回程度		(低頻度)		(低頻度)	
1年に1回程度					
2～3年に1回程度					
5年間は図書館を利用していない			(未利用者)		

利用頻度及び滞在時間から、下記の5つの分類を行いました。

- ・ 図書館の利用のされ方の傾向から、2時間を境として、主に本の貸出・返却で利用する「**貸出型**」、読書や調べものをする「**滞在型**」に分類
- ・ 利用頻度から、週1回以上の利用を「高頻度」、週1回未満の利用を「低頻度」に分類
- ・ 上記に、5年間での図書館の利用が無い人を「未利用者」として設定



利用者だけでみると…

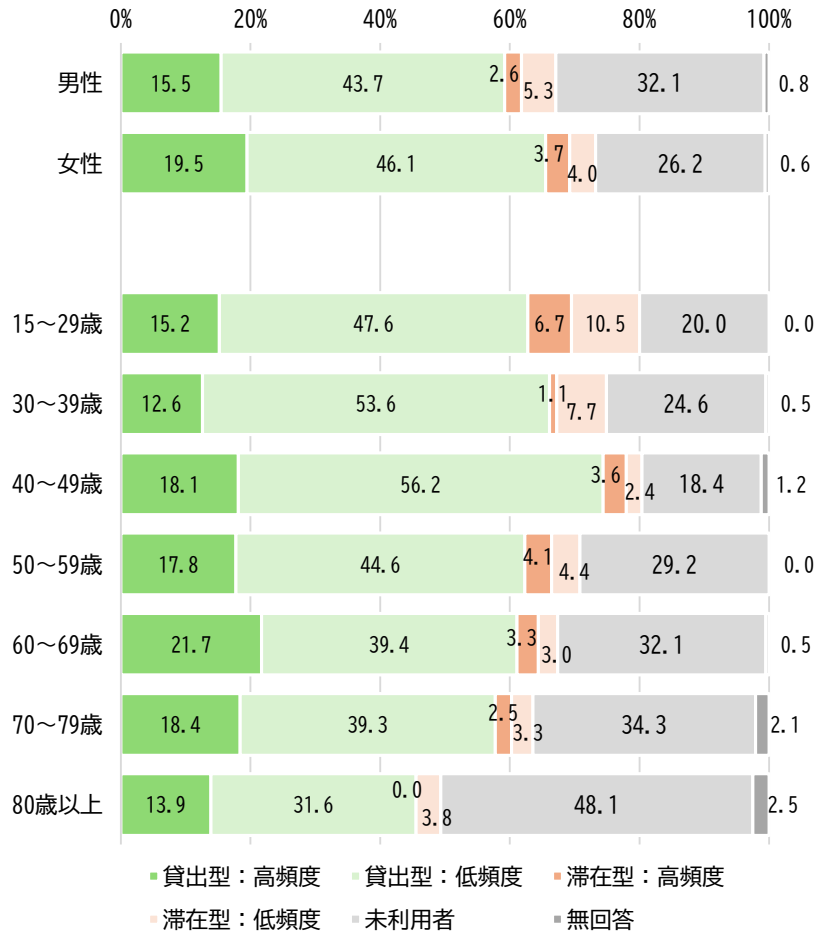


➤ 利用者の約9割が「貸出型」、約1割が「滞在型」となっています。

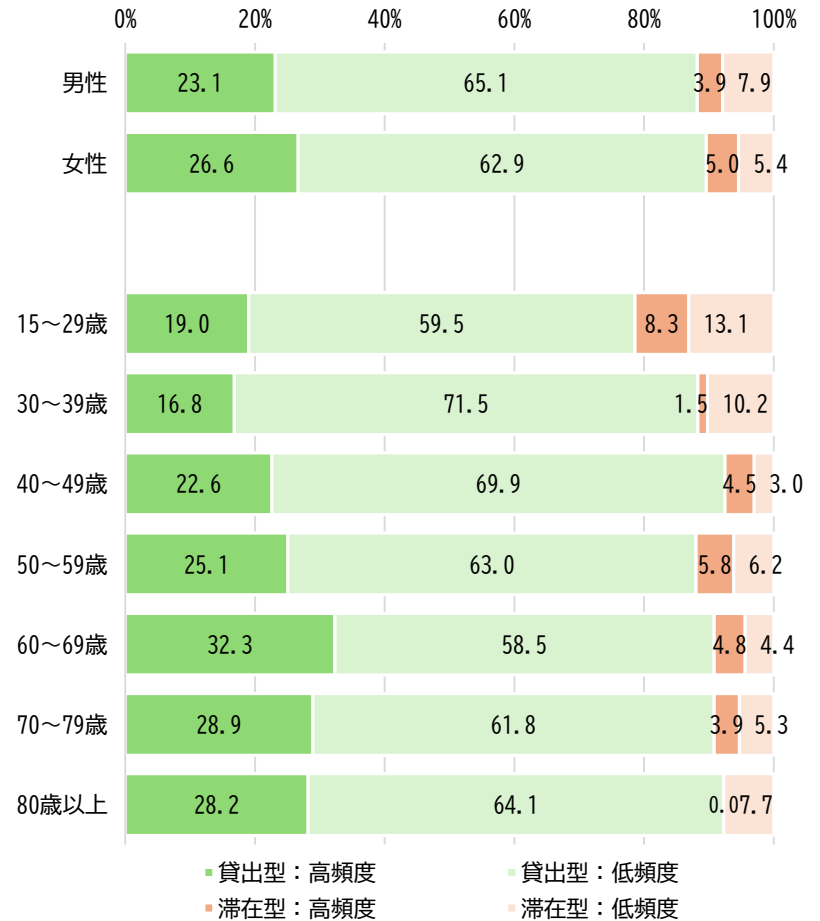
IV ターゲット分析

2. 利用者層別に見るアンケート結果の特徴

《性別・年代別に見る利用者層の構成割合》



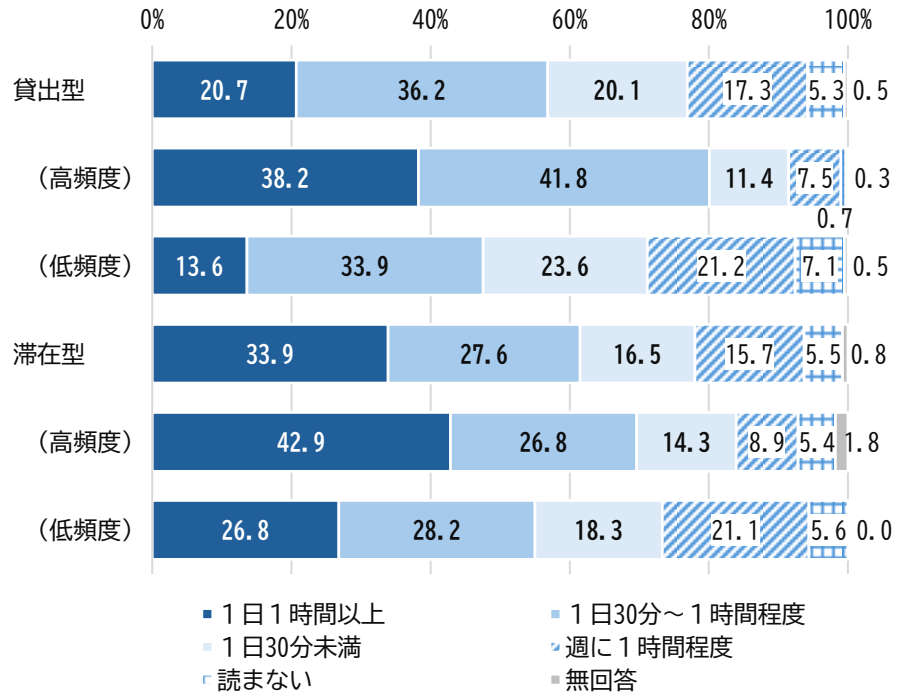
利用者だけで見ると...



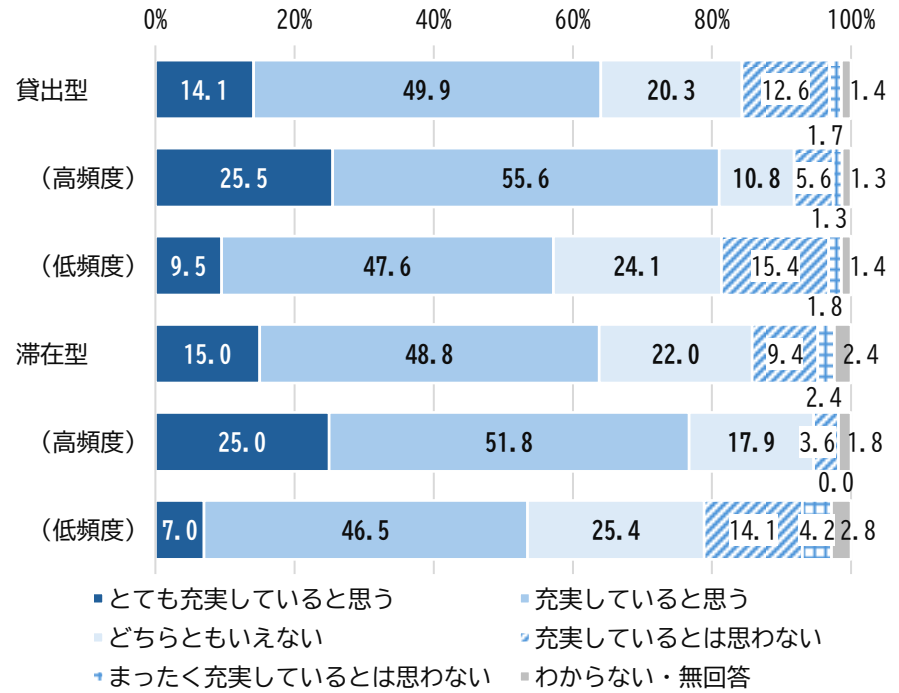
- 性別で見ると、男性に比べて女性の利用が多く、特に貸出型での利用が最も多くなっています。利用者に絞ってみると、大きな差異はありません。
- 年代別に見ると、40歳代までは約8割の利用があり、それ以降は年代が上がるほど利用が少なくなっています。利用者に絞ってみると、15~29歳で最も滞在型が多く、約2割が滞在型となっており、以降、概ね年代が上がるほど貸出型が増える傾向がみられます。

2. 利用者層別に見るアンケート結果の特徴

《読書時間》



《読書環境の充足度》

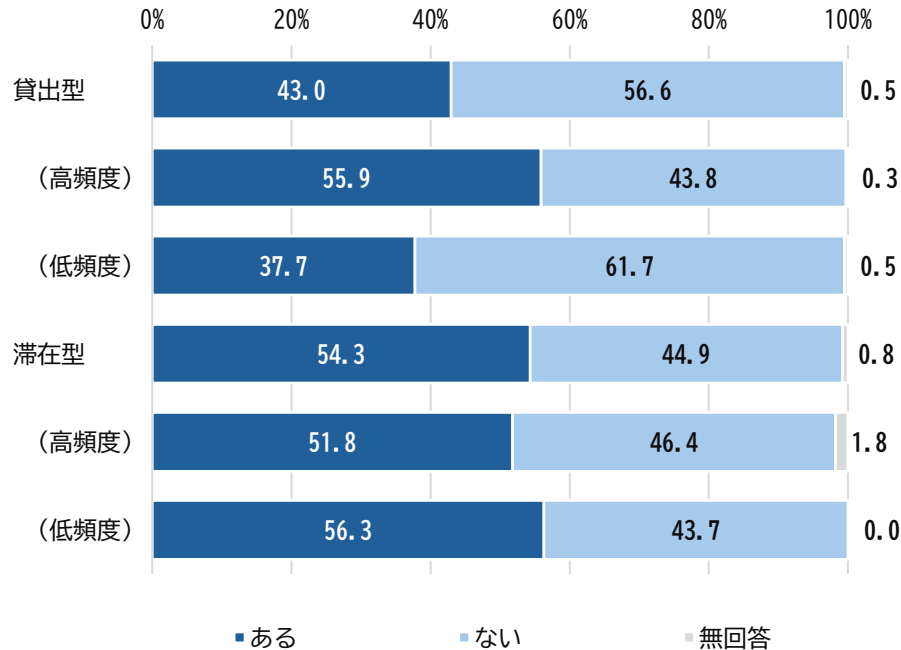


- 読書時間については、滞在型・貸出型で比較すると、滞在型で貸出型に比べて読書時間が長く、1日1時間以上読書している方が3割を超えています。
- 4分類でみると、1日1時間以上読書している人は、滞在型（高頻度）が4割を超えて最も高くなっているものの、総合的には、貸出型（高頻度）が1日あたりの読書時間が最も長くなっています。

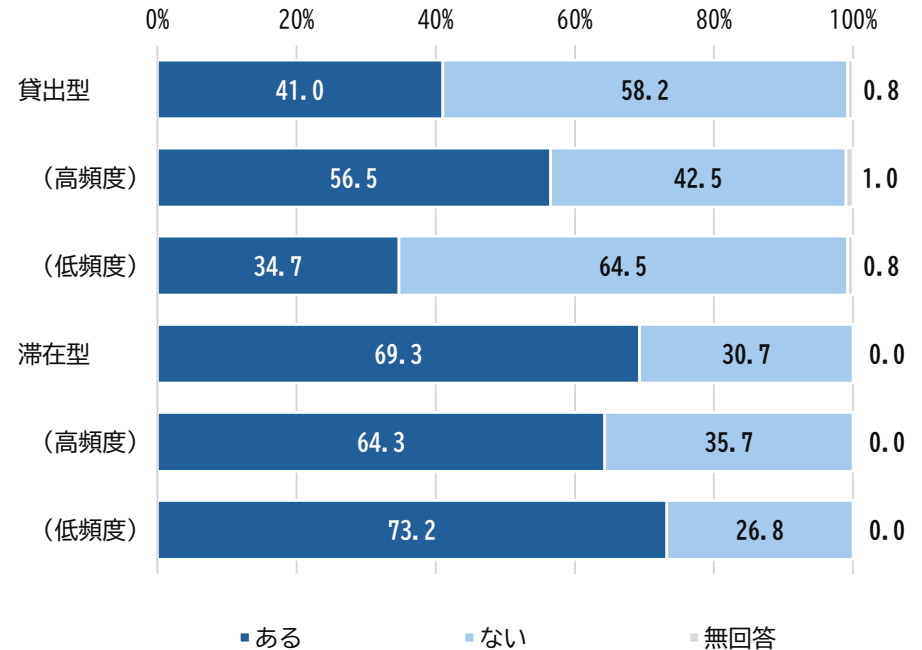
- 読書環境の充足度については、貸出型・滞在型での大きな差はみられません。
- 4分類でみると、貸出型（高頻度）で最も充足度が高くなっています。

2. 利用者層別に見るアンケート結果の特徴

《サードプレイスの有無》



《図書館をサードプレイスと感じることの有無》

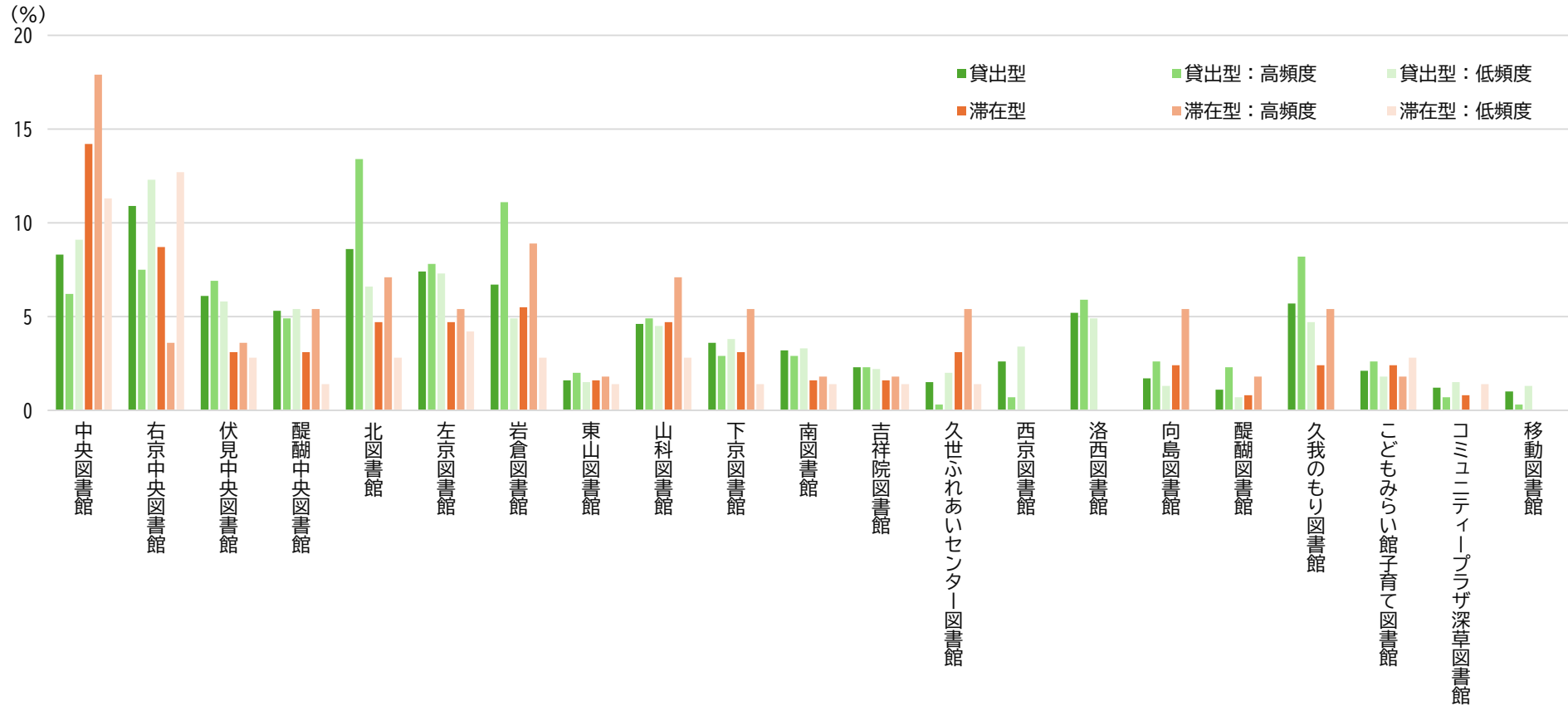


- サードプレイスの有無では、滞在型・貸出型で比較すると、滞在型で貸出型に比べて「ある」の割合が高くなっています。
- 4分類でみると、貸出型（低頻度）でサードプレイスが「ない」人が6割を超え、その他の分類に比べて高くなっています。

- 図書館をサードプレイスと感じることについては、滞在型・貸出型で比較すると、滞在型では「ある」が約7割を占め、貸出型に比べて大きく上回っています。
- 4分類でみると、貸出型（低頻度）で図書館をサードプレイスとして感じる人が「ない」人が6割を超え、その他の分類に比べて高くなっています。
- 滞在型では頻度に関わらず「ある」が7割程度となっているのに対し、貸出型では利用頻度による大きな差がみられます。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

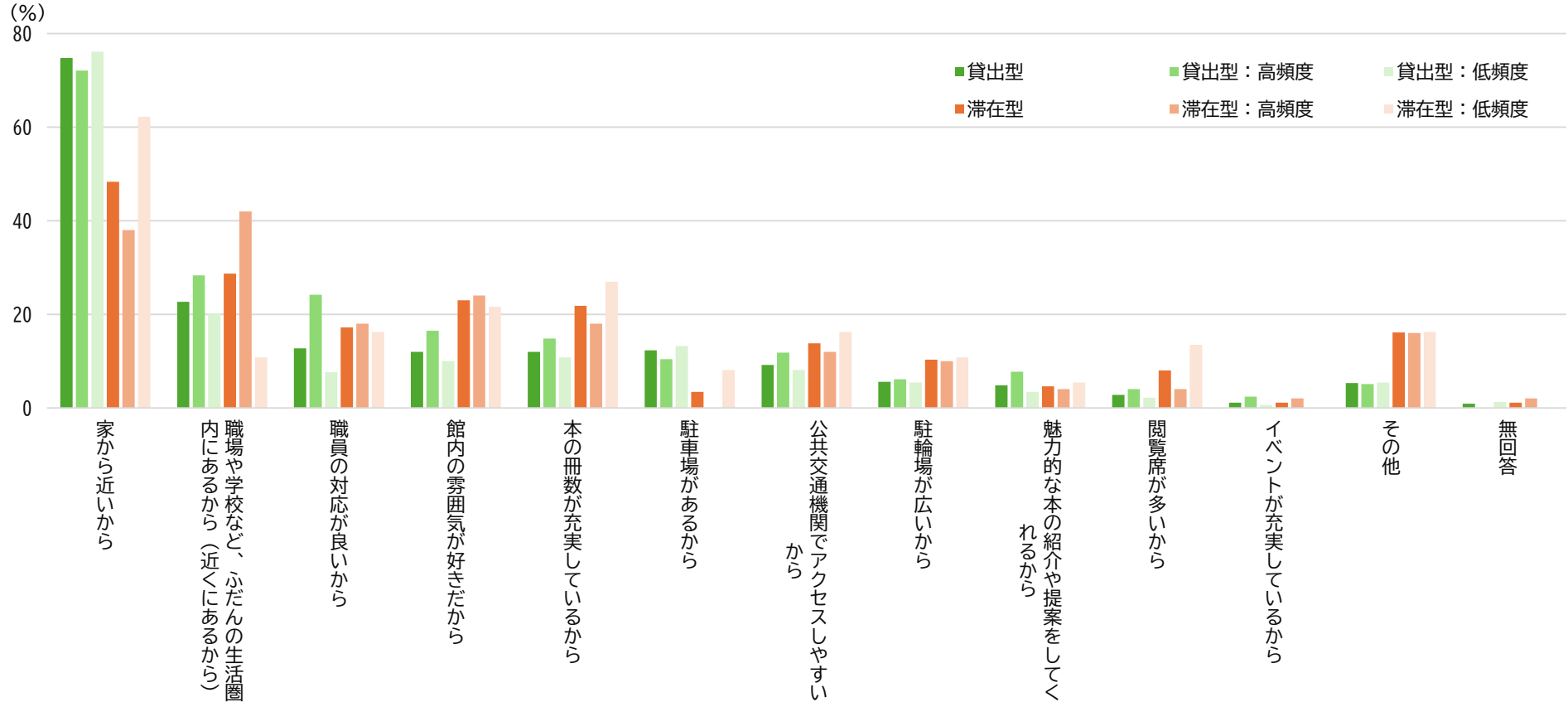
《利用している図書館（京都市図書館のみ）》



- 利用者層別に京都市図書館の利用状況をみると、右京中央図書館、伏見中央図書館、醍醐中央図書館、北図書館、左京図書館、南図書館、西京図書館、洛西図書館、久我のもり図書館では「貸出型」が「滞在型」に比べて多く、中央図書館、久世ふれあいセンター図書館、向島図書館では「滞在型」が「貸出型」に比べて多くなっています。
- 岩倉図書館、東山図書館、山科図書館、下京図書館、こどもみらい館子育て図書館では、「貸出型」と「滞在型」が同程度となっています。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

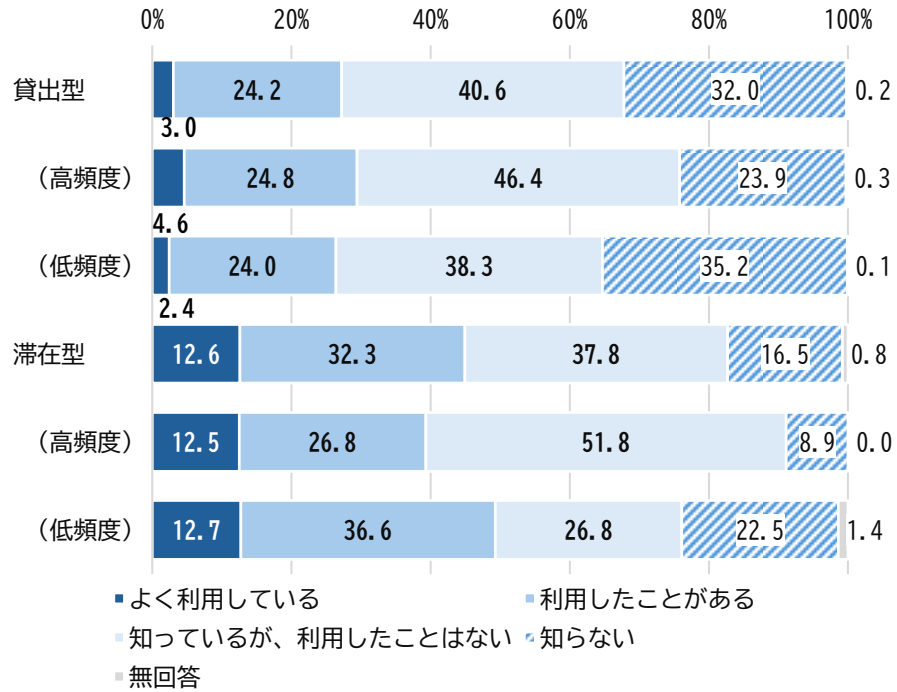
《図書館をよく利用する理由》



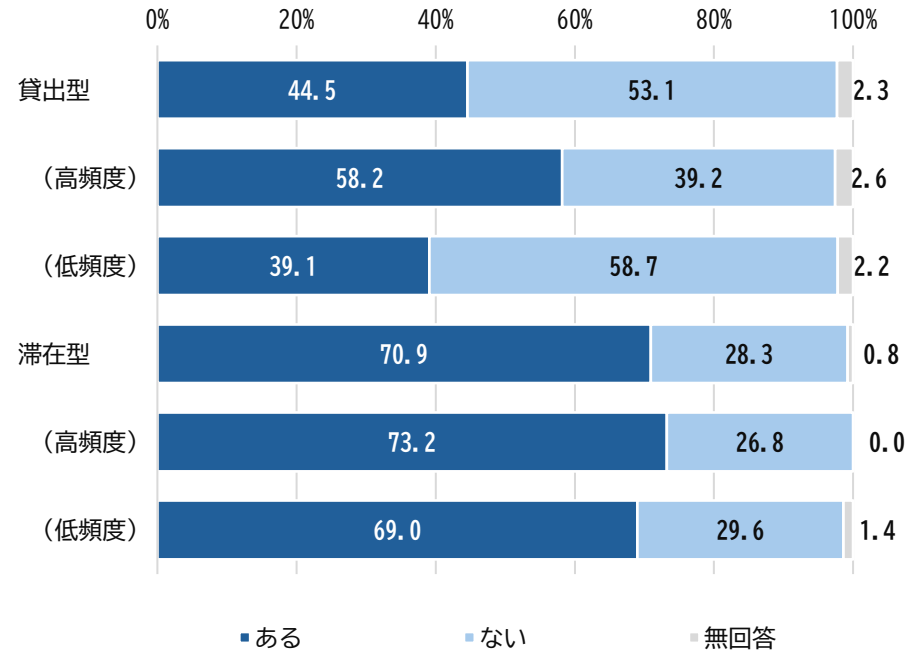
- 利用者層別に図書館を利用する理由をみると、貸出型では「家が近いから」や「駐車場があるから」などが滞在型に比べて高く、滞在型では「館内の雰囲気が好きだから」や「本の冊数が充実しているから」「閲覧席が多いから」などが貸出型に比べて高くなっています。
- また、交通手段等でみると、「駐車場があるから」では貸出型が滞在型に比べて高いのに対し、「公共交通機関でアクセスしやすいから」や「駐輪場が広いから」では滞在型が貸出型に比べて高くなっています。
- 「魅力的な本の紹介や提案をしてくれる」や「イベントが充実している」では貸出型・滞在型での大きな差はみられません。

2. 利用者層別に見るアンケート結果の特徴

《私設図書館の利用状況》



《居心地が良い図書館の有無》

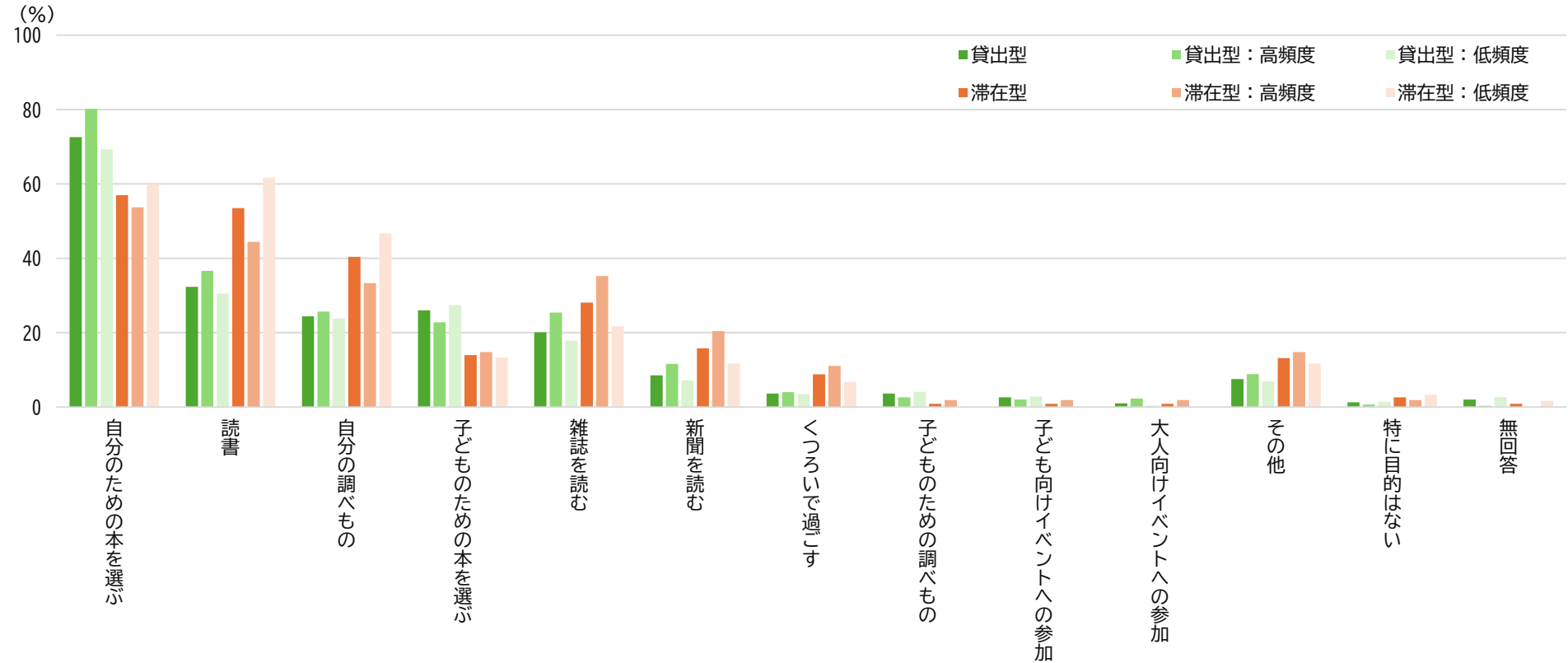


- 私設図書館の利用状況では、滞在型・貸出型で比較すると、滞在型では利用している人の割合が4割を超えているのに対し、貸出型では3割未満となっています。

- 居心地が良い図書館の有無については、滞在型・貸出型で比較すると、滞在型では「ある」が約7割を占め、貸出型に比べて大きく上回っています。
- 4分類でみると、貸出型（低頻度）で居心地が良い図書館が「ない」人が6割近くを占め、その他の分類に比べて高くなっています。
- 滞在型では頻度に関わらず「ある」が7割程度となっているのに対し、貸出型では利用頻度による大きな差がみられます。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

《京都市図書館の利用内容》



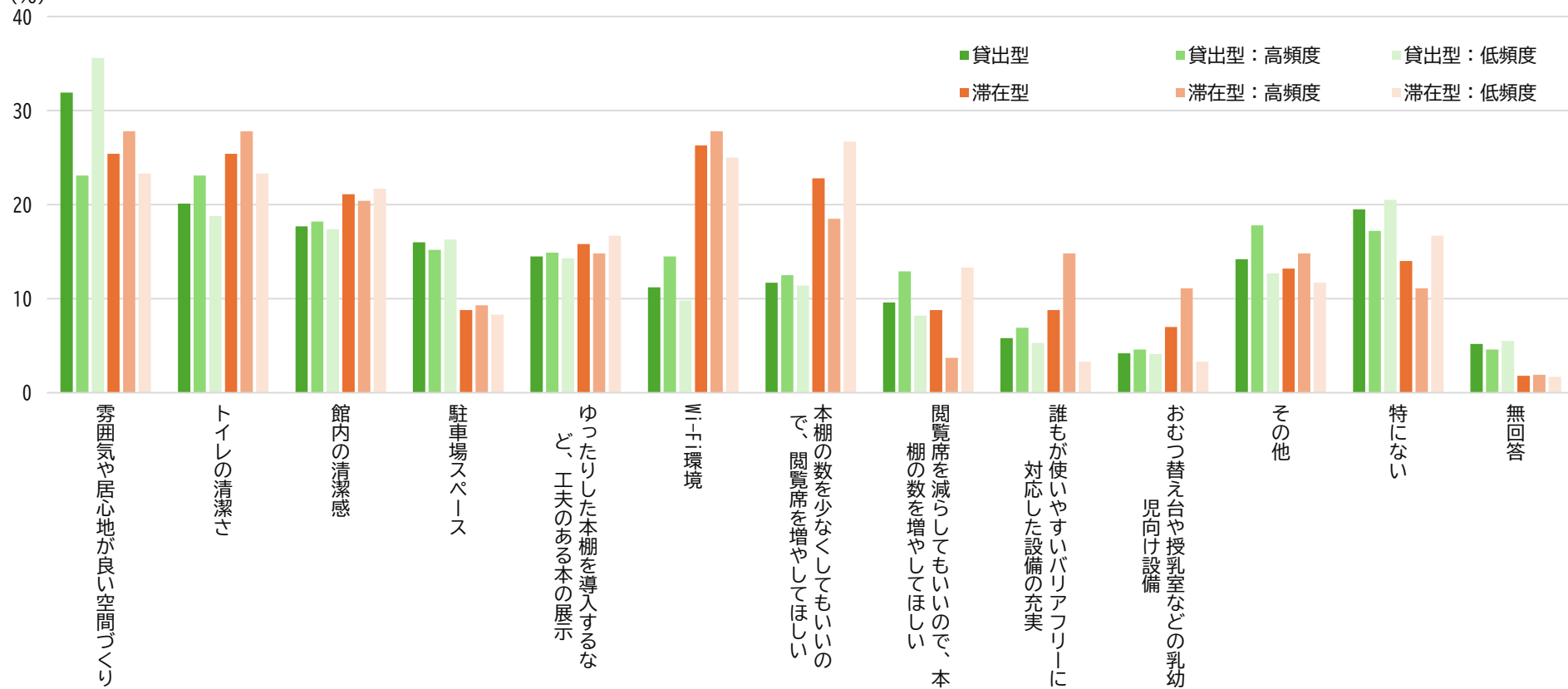
- 利用者層別に京都市図書館の利用内容をみると、貸出型では「自分のための本を選ぶ」や「子どものための本を選ぶ」などの“本を選ぶ”ことに関する項目が滞在型に比べて高く、滞在型では「読書」や「自分の調べもの」「雑誌を読む」「新聞を読む」「くつろいで過ごす」などの“(図書館内で)読む”“調べる”ことに関する項目が貸出型に比べて高くなっています。

IV ターゲット分析

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

《京都市図書館の設備で優先して改善してほしいこと》

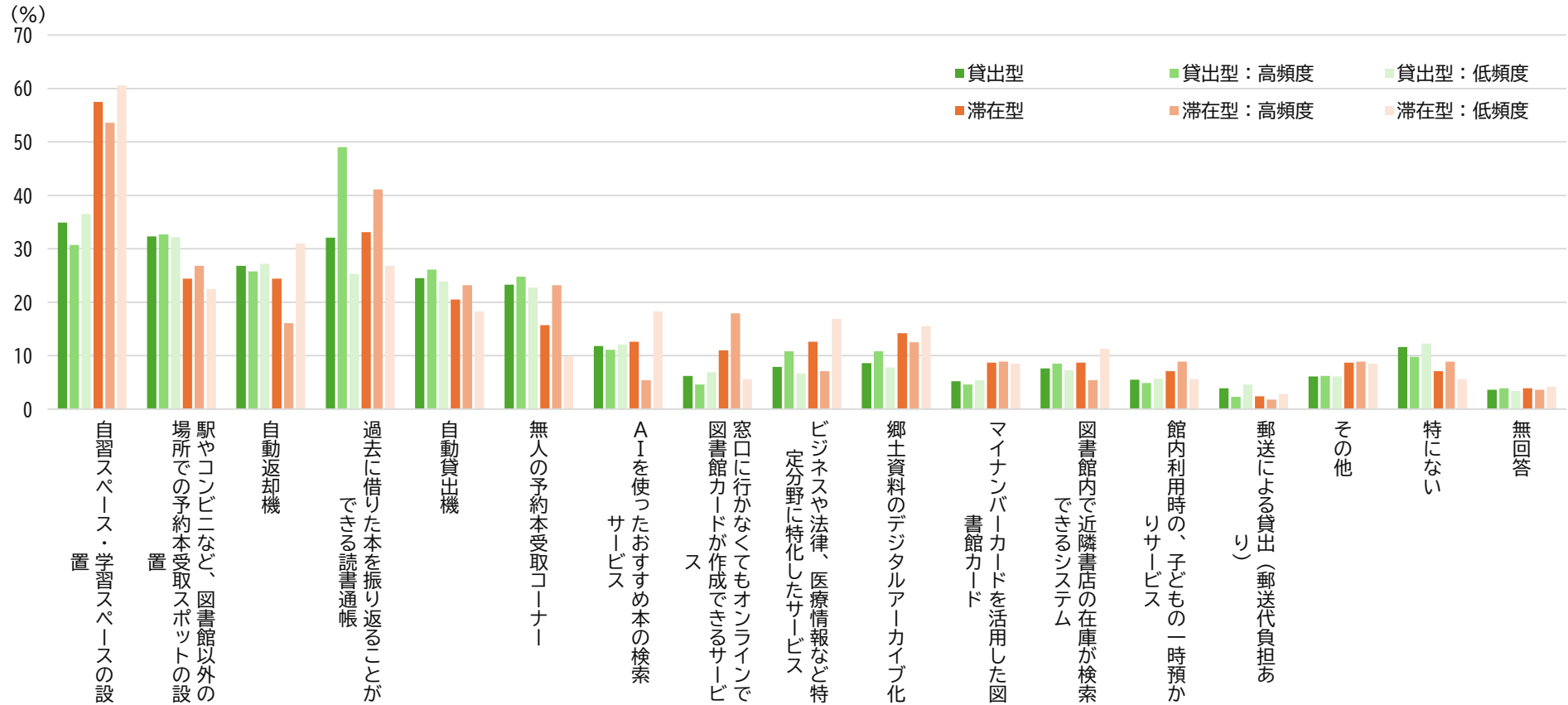
(%)



- 利用者層別に京都市図書館の設備で優先して改善してほしいことをみると、貸出型では「雰囲気や居心地が良い空間づくり」や「駐車場スペース」などの項目が滞在型に比べて高く、滞在型では「トイレの清潔さ」や「Wi-Fi環境」「本棚の数を少なくしてもいいので、閲覧席を増やしてほしい」などの項目が貸出型に比べて高くなっています。
- 「館内の清潔感」や「ゆったりした本棚を導入するなど、工夫のある本の展示」などでは、貸出型・滞在型ともに高くなっています。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

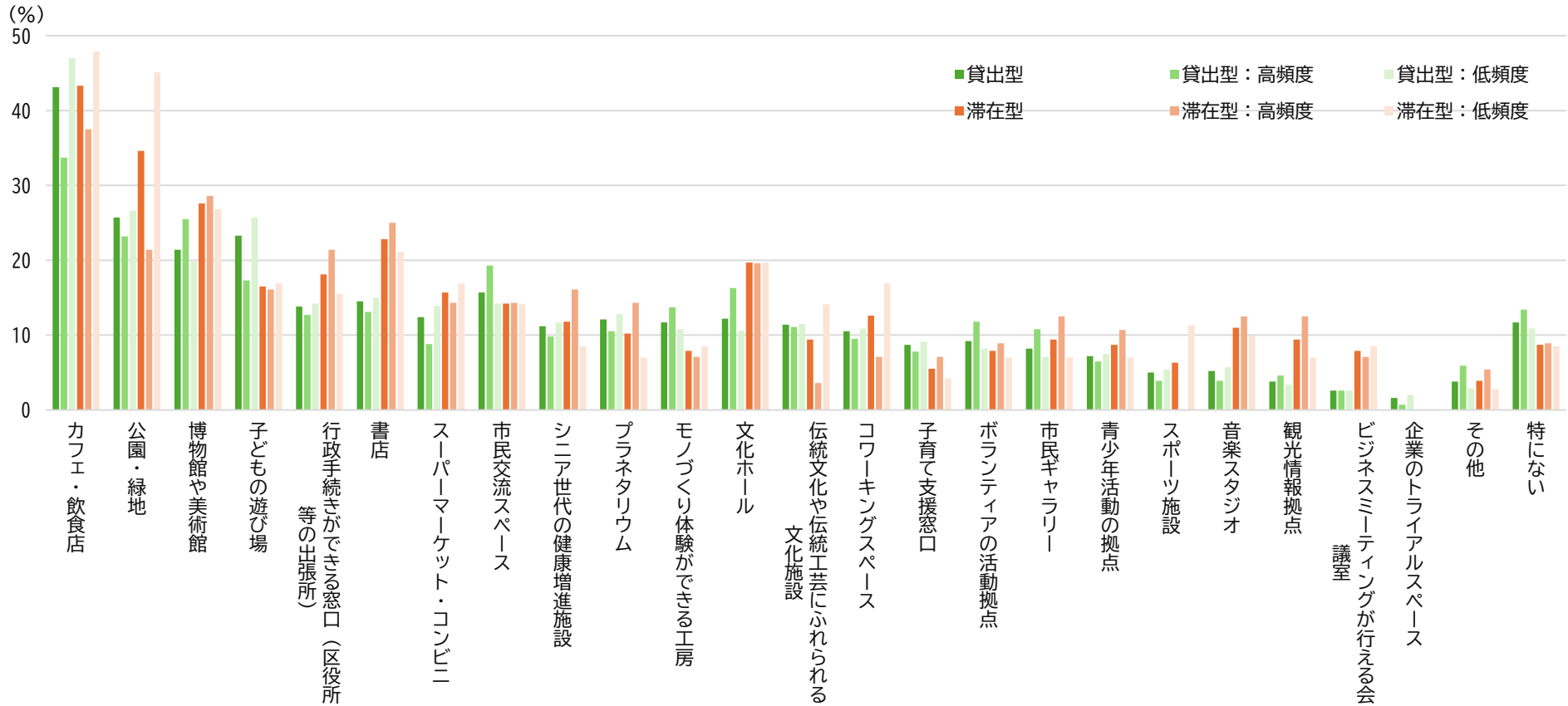
《図書館に新たに導入を検討してほしいサービス》



- 利用者層別に図書館に新たに導入を検討してほしいサービスをみると、貸出型では「駅やコンビニなど、図書館以外の場所での予約本受取スポットの設置」や「無人の予約本受取コーナー」などの予約本の受取に関する項目が滞在型に比べて高く、滞在型では「自習スペース・学習スペースの設置」が貸出型に比べて高くなっています。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

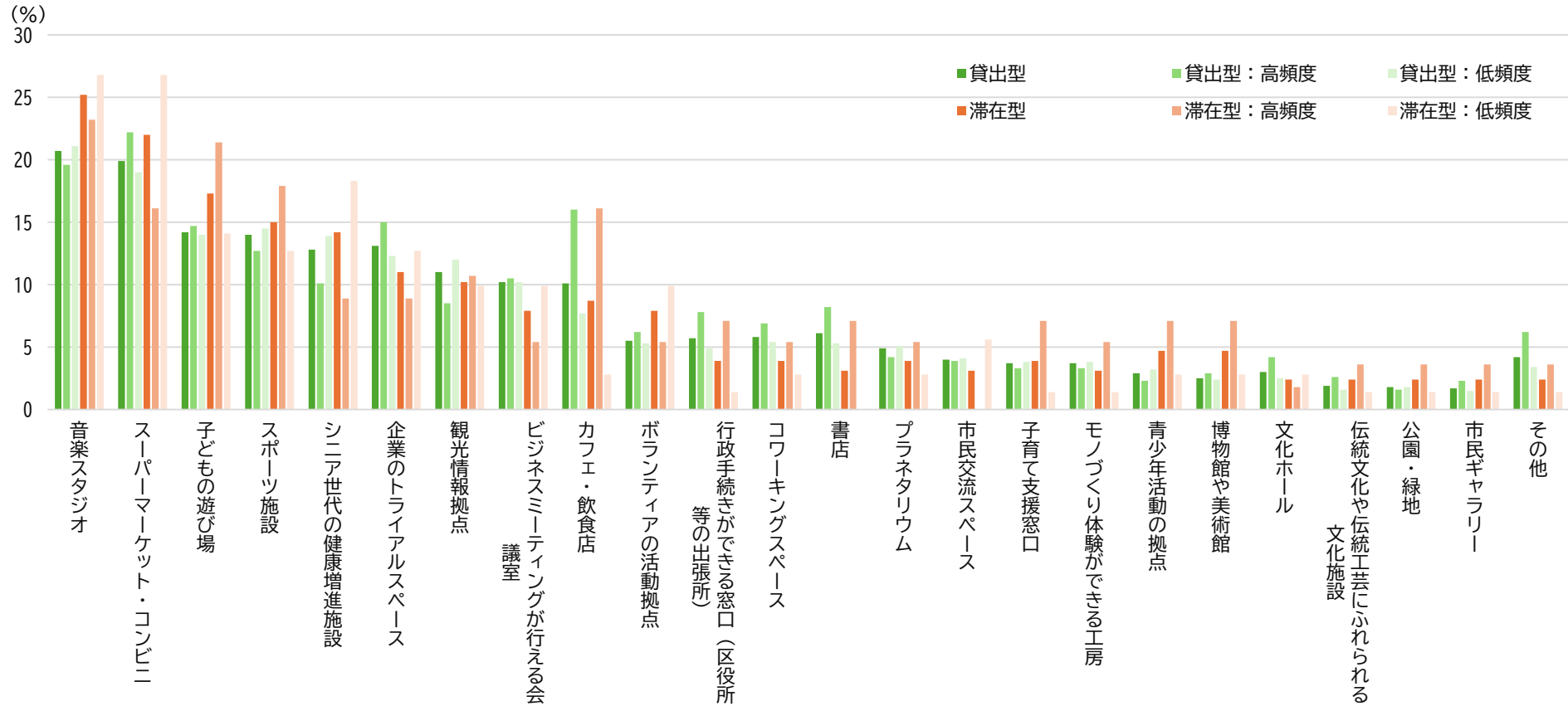
《複合化してほしい機能や施設》



- ▶ 利用者層別に複合化してほしい機能や施設をみると、貸出型では「子どもの遊び場」や「モノづくり体験ができる工房」などの項目が滞在型に比べて高く、滞在型では「公園・緑地」や「博物館や美術館」「行政手続きができる窓口（区役所等の出張所）」「書店」「文化ホール」などの項目が貸出型に比べて高くなっています。

2. 利用者層別にみるアンケート結果の特徴

《複合化してほしくない機能や施設》



- ▶ 利用者層別に複合化してほしくない機能や施設をみると、貸出型では「企業のトライアルスペース」や「ビジネスミーティングが行える会議室」「コワーキングスペース」「書店」などの項目が滞在型に比べて高く、滞在型では「音楽スタジオ」や「スーパーマーケット・コンビニ」「子どもの遊び場」「ボランティアの活動拠点」「青少年活動の拠点」などの項目が貸出型に比べて高くなっています。

1. 図書館利用について

- 若者の活字離れと言われていますが、図書館の利用頻度として若者の利用が少ないということはみられませんでした。若者の利用図書館は大学図書館等が多く、むしろ、調べものや自習など、若者の図書館利用者は滞在時間を長く利用している人が多い傾向がみられます。
- 図書館の利用頻度が多い人ほど、長い時間過ごしている傾向がみられます。新聞や雑誌を読むことを日課にしている人が多いことも推察されます。
- 一方で、40～50歳代では借り（返し）に行く目的での利用者が多く、滞在時間は短い傾向がみられます。特に、子どものための本を借り（返し）に行く目的の人は滞在時間が短く、子どもと一緒に本を探したり試し読みをしたりする人が少ないことが推察されます。
- 「家から近い」から利用する人が多く、特に滞在時間が長い人はその傾向が強くなっているものの、利用頻度が多い人では「学校や職場から近い」から利用している人も多くみられました。図書館が自身の生活圏にあることが、利用につながっていることが示されています。
- 市民の図書館の使い方として「本を選ぶ」「読書」など、従来の利用に留まっており、「くつろいで過ごす」利用は少ない状況です。また図書館をだれもが居心地が良い空間とするためには「敷居の低さが必要」「気軽に入ることができる雰囲気づくりが大切」といった声は、現状の図書館は、すべての人が気軽に入れる施設になっていない状況を示唆しており、「雰囲気が好きだから」「閲覧席が多いから」など、居心地の良さから図書館を利用する、居場所とする（頻繁に利用する）理由は少ない状況となっています。

2. 今後望まれる機能・サービス

(1) 既存利用者にとってのさらなる充実に向けて

- 図書館利用者には郷土資料のアーカイブや読書通帳など、本や資料により親しむためのサービスや、予約本の受取スポットの設置や自動貸出機などデジタル化による利便性向上が望まれています。
- 行ってみたい図書館像として「席がたくさんある」「目的がなく気軽に立ち寄れる」など現在の図書館で満たせていないニーズがどの年代でも高いです。その他、自習や飲食に関するニーズは、若い世代ほど高く、とりわけ「自習環境」は30～40代でもニーズが高く、市内における「学びの場」が不足していることが伺えます。
- その他、博物館や美術館、文化ホール、市民ギャラリーとの複合化を希望するなど、“知るこゝろ”への欲求が満たされる機能の追加が希望されています。
- 図書館設備で改善してほしいこととして、雰囲気や居心地の良い空間づくりやトイレ・館内の清潔さを望む声が多く、若い世代や現役世代のニーズが高くなっています。
- 加えて、図書館外での予約本受取スポットの設置や自動返却機、自動貸出機など、デジタル技術、最先端テクノロジーを活用した図書館サービスに対する市民ニーズも高いです。

(2) 新規利用者の獲得に向けて

- 図書館を利用しない理由として「貸出や返却が面倒だから」が上位になっており、また、図書館以外での予約本の受取や自動返却機が望まれています。定期的に再訪すること（しないといけないこと）、強制的に一定期間内に図書館利用をしていない要件ができることへの億劫さが結果からみられました。一定期間の期限付きでの再訪が必要な事柄に対する対応策が求められます。
- 行ってみたい図書館像として、「特に目的がなくてもふらっと気軽に立ち寄れる」が最も高く、次いで「席がたくさんあり、ゆったりくつろげる」「コーヒーなど飲食しながら本が読める」が続き、「サードプレイス的なニーズ」が上位を占めています。
- 図書館への複合機能を付ける場合、カフェ・飲食店や公園・緑地などを希望する人が多く、また子育て世代では子どもの遊び場との複合化を希望する人が多くみられました。図書館を“本を読む”や“調べる”だけでなく、図書館で“過ごすこと”への欲求が満たされる機能の追加を希望する人が多くみられます。
- また、日ごろから本に親しんでいる人が少ないことから、おすすめ本の検索・紹介サービスなども望まれています。
- 年代が低いほど、自習・学習スペースが望まれ、本の貸出・返却への簡易化・自動化が望まれます。とりわけ「学生や若者が気軽集える」に関しては「15歳～29歳」などの学生を中心とする層でニーズが高いです。

V アンケート調査結果からみられること

3. サードプレイスとしての図書館

- 図書館別にみると、滞在時間が長い人が多い図書館ほど、サードプレイスと感じている人も多い傾向がみられました。
- また、好きな図書館の傾向をみると、蔵書が多いことは前提として、開放感があることや閲覧席数が多いこと、自習スペースがあること、カフェとの併設、イベント等の充実などが共通している一方で、静かに過ごせることについても多く意見がみられました。
- 現在の図書館に対する評価では、「全体的にきれいな印象である」「館内の雰囲気や居心地が良い」「トイレが清潔である」「本棚がゆったりしている」の順にそう思わないのポイントが高くなっており、特に、閲覧席の数について否定的な印象を持っている回答が顕著に出ています。多くの市民にとって「座ってくつろげる居場所」になり得ていないという評価となっています。
- 優先して改善してほしいこととして、「雰囲気や居心地が良い空間づくり」「トイレの清潔さ」「館内の清潔感」といった「居住空間の改善」が上位に挙がっており、とりわけ、ティーンズから現役世代のニーズが高くなっています。また、「閲覧席を増やしてほしい」「Wi-Fi環境」の若い世代のニーズが高く、図書館を居場所として利用したいニーズが伺えます。
- 自由意見からは、好きな図書館として選ばれた理由として「広々としている」「開放感がある」などの物理的な広さや「雰囲気がある」などの建物としての歴史や雰囲気が好きなものと、カフェの併設などの複合施設が充実していることといった意見がみられました。また、子どもと一緒に楽しく過ごす場やイベントの充実がある一方で、自習室の設置や静かに過ごしたい人のための「サイレントルーム」があることなどの意見もあがりました。
- 複合化してほしい又はしてほしくない機能や設備では、「子どもの遊び場」「スーパーマーケット・コンビニ」はニーズが相反しており、“便利になる”“子どもを遊ばせたい”思いと“騒がしくなる”思いが、利用ニーズにより異なることを示しており、図書館の複合化における「音のゾーニング」は非常に重要です。
- “京都ならではの”の図書館については、郷土資料の充実や伝統文化に関する体験活動などを望む声も多い一方で、必要ないと感じている人も一定数みられました。

4. 今後の方向性

- 子どもの声が気になる人もいる一方で、子育て世代では子どもと一緒に本を探す・読むことを望む人が多くみられました。また子どもの本は子どもの目線での配置を望む人も多くみられます。
- また、大学生や働き盛りの年代では、自習・学習スペースの設置や専門書等の蔵書の増加を望まれる人も多く、合わせて、各サービスの自動化が望まれています。
- 蔵書の分野別に部屋を分けることは難しいものの、エリアを分けて書架の配置を変えるなどの工夫が必要です。
- 「読書離れ（本を読む機会や量の減少）」が進んでいると言われていますが、読書環境が充足していないと感じている人が多い結果となりました。図書館の利用は生活圏にあることが第一となっているものの、雰囲気や居心地が良い空間づくりへの改善要望が高く、また、複合してほしい施設ではカフェ・飲食店、公園・緑地など、これからの図書館へは“居心地よく過ごす”ことのための整備が望まれる結果となっています。これまでの利用者の“知る”欲求が満たせるスペースと、これからの利用者の“過ごす”欲求が満たせるスペースとが包含された図書館整備が望まれます。